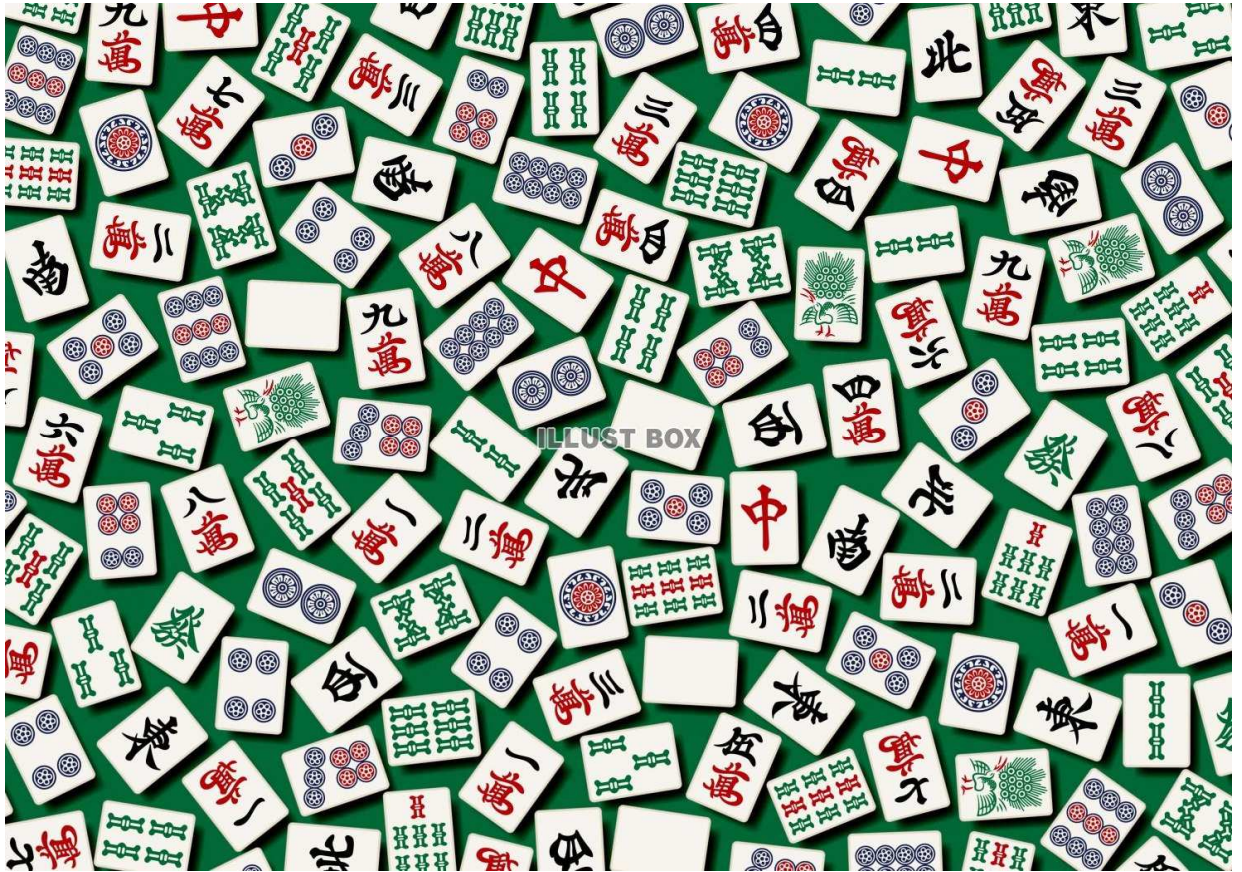


健康麻雀に参加して三年

2017. 9～2020. 8



島町麻雀倶楽部 岡村昭則

★健康麻雀はここから始まる

(H29. 9. 15)

2017年5月に病み上がりの妻が我が家の断捨離を行った。天袋から40数年も使っていない麻雀牌が出てきたので捨てることにした。そのまま捨てるのはもったいないので、2週間前に配布された「島町自治会だより」に「大丈夫ですか？記憶力、簡単な暗算、指先の動きなど・麻雀で、脳活トレーニング、認知症予防！！」という見出しで部員大募集（「大丈夫ですか？記憶力、簡単な暗算、指先の動きなど・麻雀で、脳活トレーニング！！」という見出しで部員大募集（会費月500円、毎週金曜午後1時～5時、自治会館2階和室、規約は①掛けない②禁煙③禁酒です。）の案内記事が掲載されていたことを思い出し、自治会の麻雀クラブに寄付することにした。

5月末の活動日の自治会館に麻雀パイを持っていくと、喜んで受け取ってくれた。これで無駄なく使われることになったので私もほっとした。麻雀は20代から60歳定年退職まで時々楽しんできたので、試しにと誘われた時は後期高齢者になっても昔の牌の切り方が蘇ってくる。私の牌の切り方は相手に振り込まないことをモットーにしている基本的な麻雀の打ち方である。終わってみれば、プラスで終わった。その時に部長から会員になってと誘われてしまったものの、活動日の金曜日は外の行事と重なることが多く、返事を曖昧にしていたら8月中旬に3卓囲むには一人足りないのでは会員になってほしいと、催促の電話があったので9月から参加することにしますと返事をして、退職後、久しぶりに麻雀をすることになった。これが私の健康麻雀参加の原点である。

●9/1、初めての活動日に会費と入会金を払い会員になって、正式に皆さんと一緒に麻雀を打ち出した。参加するにあたって、ボケ防止の健康麻雀なので参加するには何か楽しい目標を立てなくてはと思い、楽しみながら役満を出すことを目標に掲げてカメラを持って参加し、役満が出たら写真に撮り、エッセイの一本でも書けたらと決め込んでいた。

しかし、役満はそう簡単に出るものではない。役満の種類と出現割合を調べても、これまで経験したことのないものばかり。①四暗刻＝出現割合 0.05%②国士無双＝出現割合 0.043%③大三元＝出現割合 0.039%④四喜和＝出現割合 0.012%⑤字一色＝出現割合 0.008%⑥清老頭＝出現割合 0.0018%⑦地和＝出現割合 0.00158%⑧緑一色＝出現割合 0.0011%⑨九蓮宝燈＝出現割合 0.00045%⑩天和＝出現割合 0.000325%（33万回に一回）⑪四槓子＝出現割合 0.000234%。その他ローカル役満⑫四連刻⑬人和⑭十三不搭⑮大車輪等があり、巡りあわせの運と自分の判断力でどの役満が出来るのか楽しみながら挑戦することや、1/500以上の役作り＝Wリーチ1/526、小三元1/666、混老頭1/1250、三色同刻1/2000、二盃口1/2000、チャンカン/2000等にも年に何回出来るのか挑戦することにしていった。健康麻雀なので役作りをして楽しむことを心掛けるようにして参加が始った。

ましてや島町自治会麻雀クラブの会員は、初心者はおらず、それぞれの方が定年退職するまで会社等で楽しんできた人が多く、上手な人ばかりで手ごわい仲間である。いざ麻雀卓に着けば、配牌の流れを読み取りながら、自分が上がるためにいろいろと頭を使い、3人の相手はどんな上がりを考えているのかを読みとらなくてはならないので、判断力と決断力が問われる。ここがボケ防止に繋がっていくのであろう。最近では頭の右脳を使うから

島町麻雀倶楽部の決めごと

1、目的及び名称

当倶楽部は平成27年7月4日、結成され会員相互の親睦及び脳活性化トレーニングを図ることを目的に、名称を「島町麻雀倶楽部」とする。倶楽部の活動は、「賭けない、飲まない、吸わない」を大原則とし、さいたま市の長寿応援活動の一環として島町自治会館で行う。併せて自治会館使用規則を厳守する。

2、会員

- ①島町及び周辺自治会会員であることとする。
- ②入会は会員の3分の2以上の承諾を得ることとする。
- ③原則65歳以上の者であることとする。但し、60歳以上の場合でも会員の賛成があれば可とする。
- ④退会及び長期休暇者は会長に申告することとする。

3、会費

- ①会費は月500円、入会金500円とし、中途入会は翌月から徴収する。納入後の会費は返金しないものとする。
- ②会費の納入は、4月、7月、10月、1月の第一金曜日に3ヶ月分1500円を会計に納入する。
- ③会員が長期休暇の場合は会費を免除する。
- ④役満達成者は1回につき会費1ヶ月分免除する。

4、倶楽部に次の役員を置く。

- ①会長1名、庶務2名、会計1名、書紀1名
- ②役員任期は、2年とし、再任を妨げない。
- ③役員選任は3分の2以上の賛成を得ることとする。

5、役員職務

- ①会長は、全体総括。
- ②庶務は、全体企画運営、名簿作成、会場の確保、長寿応援シール配布。
- ③会計は、金銭の出納、決算書の作成。
- ④書記は、会議の議事録作成、大会記録等の集計

6、活動

倶楽部の活動を楽しくするための運営は、下記の通りとする。

- ①活動日は、毎週金曜日とし、活動時間は13:00~17:00までとする（集合時間は12時10分）。ゲームは、16:30時点で進行せずに打ち切りとする。
- ②活動予定日に参加できない場合及び、不参加予定がある場合は、必ず事前に庶務に連絡すること。
- ③当日の組合せは、公平に割振りし、平均的に参加できるようにする。
- ④研修大会を年4回（6月、9月、12月、3月の末日の金曜日）開催する。但し、状況によって変更することもある。
- ⑤大会は平均得点の高い順に優勝、2位、3位、ブービー賞を設ける。
- ⑥年4回の研修大会の平均最高得点者を最優秀者として記念品を贈る。但し、平均最

高得点期間は、パソコンで記録しだした、平成29年9月を起点に翌年の6月までの4回大会を一括りとしているので、以後、それに準じて扱う。

⑦次回の研修大会の開催準備は、前大会の2位と3位が行う。

7、会計年度

①クラブの会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。会計報告及び承認、役員推薦、決め事の改正については、4月の総会で行う。

②総会は4月の第2金曜日に行い、議長は会長が務める。

③その他、必要（会員3分の2以上の要請）に応じて臨時総会を行うことができる。

8、その他

①会場の設営及び後片づけは全員で行い、使用後は元通りに整理整頓する。

②会場使用には防災に努め、終了後には電気の消灯、水道の止め栓、窓、ドアの施錠を確認する。

附則

この決め事は、平成27年7月4日から施行する。

この決め事は、平成29年7月14日から一部改正施行する。

この決め事は、令和1年8月1日から全部改正施行する。

★島町麻雀倶楽部のルールの決めごと

- 1、島町麻雀倶楽部では、完全先付けの喰いタンなし、中・後付けなしを採用しています。先付けとは、先に役を確定させることです。面前の場合は役がなくても積もれば上がれます。 2、振聴リーチはなしで気が付かずリーチした場合やリーチ後の見逃しは上がりません。（流局時にチョンボの満貫払い。但し外の人が上がれば見逃すこととなります。）その他のチョンボも満貫払いです。
- 3、流局時の聴牌は、面前は役なしでも、フリテンでもOK。チーの場合は役付きに限る。
- 4、他に役がない偶然役（リンシャンカイホウ・ハイテイツモ・ホウテイロン・チャンカン）の面前の場合は上がります。チーの場合は役付きに限る。
- 5、1回戦45分時間制の東風戦のみです。
- 6、三万点持ちの三万点返しです。
- 7、上がりには2翻つきます。（例ピンフデンデン、タイヤオデンデン）
- 8、親は3本積で終了し、次者へ回します。
- 9、全員がノーテンの場合は流れますが、オーラスの場合は流れない。
- 10、流れ3本積で親が積もると、最初の1本積に戻ります。親が積れない場合は下手に3本積で移動します。
- 11、オーラスの全員ノーテンで時間切れは、残ったリーチ棒はトップの人に加算します。
- 12、満貫の数え方、●満貫は6～7翻 ●跳満は8～9翻 ●倍満は10翻
●3倍満は12翻 ●役満・4倍満は13翻以上



例 1 2

3筒で平和一盃口。6筒の場合は七対子と二盃口のどちらにも取れる。一盃口が確定しているので AもBも和了可。

● **喰いタンなしの例外、島町自治会麻雀クラブ** (現在も考え方が錯綜している)

これまでも三色同順、トイトイ、三色同刻、清一色がチーして聴牌した場合にタイヤオだったら **1 翻加算される。**

例 1 三色同順 = 島町自治会麻雀クラブ



カン待ち。この例では三色は確定で完全先付の和了は **可**、役は三色のみの食下がり 1 翻。 **タイヤオ加算なし。**

例 2 トイトイ = 島町自治会麻雀クラブ



4満単騎で、トイトイが確定しているので完全先付の和了は **可**。役はトイトイ 2 翻。 **タイヤオ加算なし。**

例 3 三色同刻 = 島町自治会麻雀クラブ



待ちで三色同刻が確定しているので完全先付の和了は **可**。 **タイヤオ加算なし。**

例 4 清一色 = 島町自治会麻雀クラブ



待ちの清一色で確定。完全先付の和了は **可**。

● **振聴リーチ・リーチ後の見逃し不可** (流局時にチョンボ) **島町自治会麻雀クラブ**

● 流局時の聴牌は、**面前は役なしでも、フリテンでもOK**。副露の場合は役付きに限る。
島町自治会麻雀クラブ

● 他に役がない偶然役 (嶺上開花・海底摸月・河底撈魚・槍槓) のみのAは和了不可。

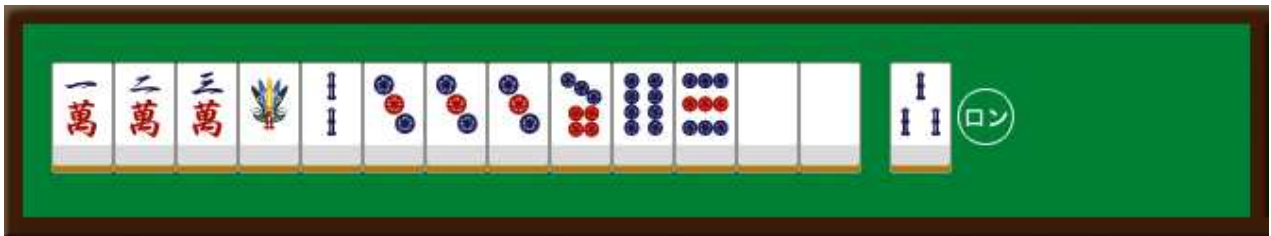
★3、河底撈魚（ホウテイロン）

- 1局の最後の捨て牌（ホウテイ牌）でロンアガリ（※1）するアガリ役です。
- 最後に捨てられた牌であれば、ハイテイ牌のツモ切り（※2）である必要はありません。
- メンツの組み合わせは何でも OK。
- アタマは、字牌でも数牌でも OK。
- ポン、チー、カン（ミンカン）していても OK。
- 待ちの形は何でも OK。

※1 ロンアガリ：ほかの人が捨てた牌でアガリになること。

※2 ツモ切り：ツモってきた牌をそのまま捨てること。

★4、槍槓（チャンカン）



- ほかの人が、ポンしていたパイの残りの一枚を持ってきてミンカンをしたときに（「追加のカン」または「小ミンカン」という）、その牌が自分のアガリ牌だった場合にロンアガリ（※1）するアガリ役です。
- メンツの組み合わせは何でも OK。
- アタマは、字牌でも数牌でも OK。
- ポン、チー、カン（ミンカン）していても OK。
- 待ちの形は何でも OK。

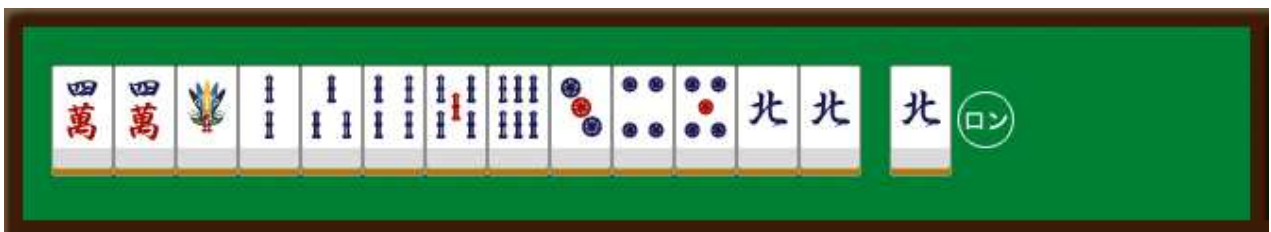
※1 ロンアガリ：ほかの人が捨てた牌でアガリになること。

責任払い包（パオ）について





Wikipedia

責任払いとは、麻雀における細目ルールのひとつで、ある特定の役の和了が発生した時に、その役を確定させる副露を許したプレイヤーに対して課される罰則（点の支払い）である。原則として包は大三元、大四喜、四槓子に適用される。島町自治会健康麻雀クラブで考えられるのは**★1 大三元の確定**、**★2 大四喜の確定**





★1、大三元の確定



二つの三元牌を晒している（ポン、槓（暗槓も含む））相手に対して残り一種の三元牌を捨て、その三元牌もポンされた場合。

(例)    の相手に対し  を捨て、それをポンされる。ポンではなく 大明槓 された場合も包となる。

役満の包が成立した場合の支払い


大三元の包・大四喜の包					
ツモ和了の場合			ロン和了の場合		
	支払い免除 0			傍観者 0	
包者 -32000		支払い免除 0	包者 -16000		放銃者 -16000
	和了者 (子) +32000			和了者 (子) +32000	
(中捨てが包による特殊な支払い)					
					
(東捨てが包の分の支払い)					
					

副露によりこれらの役満が確定してしまった場合、その役が和了に至ったときには、

- ツモ和了の場合、確定する副露を発生させた者が全額を支払う。
- ロン和了の場合、確定する副露を発生させた者と振り込んだ者が半分ずつ支払う。

★ 2、大四喜の確定

三つの風牌を晒している（ポン、槓（暗槓含む））相手に対し残り一種の風牌を捨て、ポンされた場合。

(例)     の相手に対し  を捨て、それをポンされる。上と同じく、ポンではなく 大明槓 された場合も包となる。

島町健康麻雀クラブ初めての三連刻完成 (岡村)



三連刻 (麻雀クラブ採用) 『フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』』

●三連刻 (さんれんこー) とは、出現率 2500 回に 1 回、麻雀におけるローカル役のひとつ。333・444・555 など、同色で 3 つ連続した刻子を作ることにより成立する。2 翻。喰い下がりはない。

比較的広く知られているローカル役だが、現在の一般的なルールでは採用しない場合が多い。

●牌の構成がよく似た役として、345・345・345 のように同一順子を 3 つ揃えた一色三順という役がある。例えば手牌中に 333444555 とある時、333・444・555 と取るなら三連刻になるが、345・345・345 と取るなら一色三順になる。三連刻と同じく一色三順もローカル役だが、三連刻も一色三順も両方採用する場合、どちらにとるかで得点が変わってくることもある。333444555 が手の内で完成していれば、三暗刻が複合することにより三連刻に取ったほうが高くなる。しかし、33344455 から 5 を出あがりした場合や、ジュンチャンが絡む場合は、三連刻に取るよりも一色三順に取ったほうが高くなる。いずれにせよ、得点がより高くなるほうを選択することになる (高点法)。下の牌姿例も参照のこと



で三連刻になる。 なら対々和のみである。

(例) メンゼンのケース

待ちは の変則三面張、高且の五萬で三連刻になった形。ツモ和了の場合はタンヅモ三暗刻三連刻で跳満、ロン和了の場合はタンヤオ三連刻で子 5200 点である。一色三順を採用するなら、ロン和了でタンピン一色三順の切り上げ満貫になる。したがって一色三順ありの場合のロン和了は、三連刻に取るより一色三順に取ったほうが高くなる。一方ツモ和了の場合は、タンピンツモ一色三順となるが満貫止まり。三連刻に取って跳満とするほうが高い。このように三連刻と一色三順はそれぞれを採用するしないで得点計算が煩雑になる。とはいえ、一般的には三連刻も一色三順も採用しない場合がほとんどである。その場合は (つまり一般的なルールの場合は)



三連刻 2 翻+三暗刻 2 翻+対々和 2 翻と解釈しても、一色三順 3 翻+純チャン 3 翻と解釈しても 6 翻となる。符は前者の方が高いがどちらに計算しても跳満であり結局同じ点数になる。ツモれば上の例と同じく四暗刻が成立して役満。

三連刻か三順子か？

三連刻部分を一組もポンせず完成させた場合、それは同じ三つの順子と見なす事も出来ます。

しかし、三連刻は刻子三組となるため、三つの順子と見なす事で得られる役と三連刻の双方を認める事は出来ません。

このような場合は、高点法の原則に従い、高くなる方を採ります。

多くの場合三連刻にした方が高くなりますが、必ずしもそうなるとは限りません。

例えば、以下の手で考えてみましょう。



●この形の場合、一万・二万・三万の三連刻と取れば、三暗刻(両翻)・三連刻(両翻)の四翻となります。

●三連刻なしのルールでも、三暗刻があるので両翻となります。ですが、この時一万・二万・三

万の三連刻を三つの順子に見立てれば、



●平和(一翻)・純全帯幺(三翻)・一盃口(一翻)で五翻となり、三連刻と見るより一翻多くなりま
す。

●一色三順(門前両翻)ありのルールであれば、六翻にもなります。
このように、必ずしも三連刻と取るのが得策ではない場合もあります

島町麻雀倶楽部麻雀大会

(2017. 9~2018. 6)

不参加	20.9.15		20.12.15		30.3.23		30.6.15	順位
宮崎	399	添田	459	片柳	486	円田	695	優勝
岡村	241	山崎	372	添田	266	岡部	366	2
添田	180	柴田	352	岡村	197	柴田	306	3
柴田	111	岡部	198	柴田	135	飯泉	144	4
片柳	69	堀内	118	須藤	58	宮崎	71	5
須藤	18	飯泉	80	円田	4	阿部	-77	6
堀内	-132	岡村	47	阿部	-14	平田	-72	7
岡部	-136	宮崎	34	山崎	-60	片柳	-80	8
円田	-137	片柳	27	平田	-113	山崎	-104	9
飯泉	-152	円田	-10	飯泉	-132	須藤	-135	10
遠藤	-166	遠藤	-269	宮崎	-174	堀内	-147	11
山崎	-305	阿部	-360	遠藤	-293	岡村	-362	12
平田		平田	-388	岡部	-360	添田	-605	13
阿部		須藤	-427	堀内		遠藤		14

優勝	20.9.15	20.12.15	30.3.23	30.6.15		計	順位
柴田	111	352	135	306		904	1
円田	-137	-10	4	695		552	2
片柳	69	27	486	-80		502	3
宮崎	399	34	-174	71		330	4
添田	180	459	266	-605		300	5
岡村	241	47	197	-362		123	6
岡部	-136	198	-360	366		68	7
飯泉	-152	80	-132	144		-60	8
山崎	-305	372	-60	-104		-97	9
堀内	-132	118		-147		-161	10
阿部		-360	-14	-77		-451	11
須藤	18	-427	58	-135		-486	12
平田		-388	-113	-72		-573	13
遠藤	-166	-269	-293			-728	14

島町麻雀倶楽部麻雀大会

(2018. 9～2019. 7)

2018年9月～2019年6月までの四大会順位と得点順位

各大会成績順位表(平均順位による)

回数	30. 9. 28	回数	30. 12. 21	回数	31. 3. 22	回数	R1. 7. 12	順位	
片桐4	333	添田5	369	円田4	236	円田5	457	優勝	昨年の優勝者
宮崎5	260	岡部5	344	平田4	192	山崎5	403	2	29. 9. 15宮崎399
添田4	195	柴田5	342	添田5	130	岡村5	277	3	29. 12. 1添田459
堀内5	167	岡村4	100	宮崎5	66	平田5	170	4	30. 3. 23片柳486
遠藤5	152	円田5	112	堀内5	36	片柳5	80	5	30. 6. 15円田695
円田4	110	宮崎5	88	岡村4	11	添田5	-54	6	昨年の準優勝
岡部5	90	堀内4	39	片柳4	-31	宮崎5	-119	7	29. 9岡村241
岡村5	45	山崎4	-47	柴田4	-69	須藤5	-153	8	29. 12山崎372
平田4	-58	片柳5	-91	阿部5	-97	岡部5	-206	9	30. 3添田266
柴田5	-232	須藤4	-120	遠藤4	-129	柴田5	-229	10	30. 6岡部366
阿部4	-241	遠藤5	-159	岡部4	-345	阿部5	-279	11	昨年の合計得点順位
山崎5	-358	阿部5	-331			堀内5	-347	12	1位柴田904
須藤5	-463	平田4	-646					13	2位円田552
	0		0		0		0		3位片柳502

各大会合計得点順位表(平均順位による)

回数	30. 9. 28	30. 12. 21	31. 3. 22	R1. 7. 12	計	大会平均	回平均	勝敗	勝率%	順位
円田18	110	112	236	457	915	228. 75	50. 83	13勝5敗	72	1
添田19	195	369	130	-54	640	160	33. 68	13勝6敗	68	2
岡村18	45	100	11	277	433	108. 25	24. 05	10勝8敗	56	3
宮崎20	260	88	66	-119	295	73. 75	14. 75	9勝11敗	45	4
片柳18	333	-91	-31	80	291	72. 75	16. 17	10勝8敗	56	5
山崎14	-358	-47		403	-2	-0. 6667	-0. 14	8勝6敗	57	6
堀内19	167	39	36	-347	-105	-26. 25	-5. 53	9勝10敗	47	7
岡部19	90	344	-345	-206	-117	-29. 25	-6. 16	9勝10敗	47	8
遠藤14	152	-159	-129		-136	-45. 333	-9. 71	7勝7敗	50	9
柴田19	-232	342	-69	-229	-188	-47	-9. 89	9勝10敗	47	10
平田17	-58	-646	192	170	-342	-85. 5	-20. 7	7勝10敗	44	11
阿部19	-241	-331	-97	-279	-948	-237	-49. 9	5勝14敗	26	12
須藤14	-463	-120		-153	-736	-245. 33	-52. 57	4勝10敗	29	13
	0	0	0	0	0					

島町麻雀倶楽部麻雀大会

(2019.9~2018.12)

第10回島町自治会健康麻雀クラブ大会] (R1.9.20)									
氏名	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	計	平均	順位	
岡部	195	39	170	215	119	738	147.6	優勝	5勝0敗
近藤	85	36	96	229	-184	262	52.4	2	4勝1敗
山崎	25	70	-90	-56	179	128	25.6	3	3勝2敗
堀内	148	-53	-50	142	-98	89	17.8	4	2勝3敗
岡村	15	-82	138	-50	50	71	14.2	5	3勝2敗
片柳	-76	-1	-102	50	172	43	8.6	6	2勝3敗
阿部	76	65	33	-193	58	39	7.8	7	4勝1敗
円田	-140	80	74	-123	53	-56	-11.2	8	3勝2敗
添田	73	-38	-30	-117	37	-75	-15	9	2勝3敗
柴田	-183	61	-57	107	-131	-203	-40.6	10	2勝3敗
平田	-70	-59	-110	-56	-214	-509	-101.8	ブビー賞	0勝5敗
須藤	-148	-118	-72	-148	-41	-527	-105.4	12	0勝5敗

★ゲームを楽しむためのマナー

- 1、先ツモをしないこと。
- 2、捨て牌1段6枚とし、2段は7枚目~12枚目、3段は13枚目~18枚目を置く。
- 3、投了後は、聴牌の人は開示して全員に確認してもらうこと。外の人には自分の配牌を伏せるだけにすること（投げ出さない）。
- 4、見学者は黙って見ただけで口出ししないこと。
- 5、高齢者なので動作が遅いこともあるが、大らかな気持ちで見守ってあげること。
- 6、お互いに麻雀して時を楽しむことに心掛けましょう。

第 11 回島町自治会健康麻雀クラブ大会 (R1.12.20)

休み	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	計	平均	順位	勝敗
岡部	120	27	-37	65	128	303	60.6	優勝	4勝1敗
柴田	31	151	-25	17	100	274	54.8	2	4勝1敗
片柳	59	0	94	-27	146	272	54.4	3	4勝1敗
宮崎	38	-9	-134	198		93	23.25	4	2勝2敗
山崎	-18	49		-45	65	51	12.75	5	2勝2敗
添田	-13	13	119	10	-69	60	12	6	3勝2敗
円田	130	12	5	-43	-73	31	6.2	7	4勝1敗
平田	-163	79	90		7	13	3.25	8	3勝1敗
大橋	-7		51	-100	22	-34	-8.5	9	2勝2敗
阿部	-43	72	-17	-108	32	-64	-12.8	10	2勝3敗
岡村	-118	-142	40	-55	44	-231	-46.2	11	2勝3敗
近藤		-134	-146	184	-96	-192	-48	ブービー賞	1勝3敗
須藤	-16	-118	-40	-96	-306	-576	-115.2	13	0勝5敗
	0	0	0	0	0	0			

氏名/回	R19.20	氏名/ 回	R12.20	順位	
岡部 5	738	岡部 5	303	1	昨年の優勝者
近藤 5	262	柴田 5	274	2	31.9.20 片柳 333
山崎 5	128	片柳 5	272	3	30.12.21 添田 369
堀内 5	89	宮崎 4	93	4	31.3.22 円田 236
岡村 5	71	山崎 4	51	5	R1.7.21 円田 457
片柳 5	43	添田 5	60	6	昨年の準優勝
阿部 5	39	円田 5	31	7	31.9.20 宮崎 260
円田 5	-56	平田 4	13	8	30.12.21 岡部 344
添田 5	-75	大橋 4	-34	9	31.3.22 平田 192
柴田 5	-203	阿部 5	-64	10	R1.7.21 山崎 403
平田 5	-509	岡村 5	-231	11	昨年の合計得点順位
須藤 5	-527	近藤 4	-192	12	1位 円田 915
		須藤 5	-576	13	2位 添田 640
				14	3位 岡村 443
	0		0		

麻雀表計算基本

選択	並べ替えとフィルターを選択★ユーザー設定の並べ替え★優先されるは計か平均を選択 ★値を選択★降順を選択（計＝Σの合計、平均＝Σの平均）
----	--

第5回麻雀大会順位表(H30.6.15＝平均点)

	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	計	平均	順位
円田	137	190	107	236	25	695	139	1
岡部	-103	92	91	137	149	366	73.2	2
柴田	27	170	60	116	-67	306	61.2	3
飯泉	224	-26		-69	15	144	36	4
宮崎	172	-10	5	-175	79	71	14.2	5
阿部	-152	-43	269	-45	-106	-77	-15.4	6
平田	-28	-20	-8	-16		-72	-18	7
片柳		64	-129	-16	1	-80	-20	8
山崎	-68		-3	-151	118	-104	-26	9
須藤	-42	-34	-112	-27	80	-135	-27	10
堀内	31	-123	55	-44	-66	-147	-29.4	11
岡村	43	-159	-88	54	-212	-362	-72.4	12
添田	-241	-101	-247		-16	-605	-151.25	13
	0	0	0	0	0	0		

↑

範囲指定 ⇒

	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	計	平均
阿部	-152	-43	269	-45	-106	-77	-15.4
平田	-28	-20	-8	-16		-72	-18
片柳		64	-129	-16	1	-80	-20
山崎	-68		-3	-151	118	-104	-26
須藤	-42	-34	-112	-27	80	-135	-27
堀内	31	-123	55	-44	-66	-147	-29.4
岡村	43	-159	-88	54	-212	-362	-72.4
添田	-241	-101	-247		-16	-605	-151.25
円田	137	190	107	236	25	695	139
岡部	-103	92	91	137	149	366	73.2
柴田	27	170	60	116	-67	306	61.2
飯泉	224	-26		-69	15	144	36
宮崎	172	-10	5	-175	79	71	14.2

←ベースなる基本表

↑

並べ替え

レベルの追加(A)
 レベルの削除(D)
 レベルのコピー(C)
 オプション(O)...
 先頭行をデータの見出しとして使用する(H)

列	並べ替えのキー	順序
最優先されるキー	平均	降順

阿部さん 四暗刻達成！

2019. 8. 23 土日の島町自治会主催夏祭りも終わり、どこか落ち着いて麻雀が出来る。参加者が12名の予定で3卓であるからフル運転で、毎回の組合せがなかなか読みにくい。

★全体としては、今日の私にとっては、最終トータルでは**6試合29ゲーム+76**に終わった。その中で一番は、阿部さんが四暗刻を積み上がったおめでたいことである。東卓で岡村、堀内、柴田、阿部各氏の4人で囲み、柴田さんが親の時に阿部さんが白と6索のシャボンで白を積って四暗刻を完成させた。この時に私もピンフの6・9索（ドラ）のダマ聴牌で待っていたが、阿部さんが役満を目指しているとは夢にも思わなかった。一枚ずれていたら私が白を振込みトイトイ・白・三暗刻の満貫を振り込むところだった。ラス親の阿部さんにこの運量が続き、我々は逃げる以外になかった。四暗刻を積もった時の阿部さんの笑顔が素晴らしかった。この笑顔は柴田さんが四暗刻を積った時と同じである。

今回、柴田さんが親で四倍の16000点を払ったが、柴田さんも以前に四暗刻を積み上がった人なので人の痛みを一番よく知っていることから、その痛みを親として引き受けて大きく沈み、痛いところぼしていた。終わってみれば、**岡村-41、堀内-199、柴田-185、阿部+425**と阿部さんの独り勝ちある。その中で私は阿部さん8000点払う前までは+40と善戦していたことになる。

東風戦の短期決戦の中で役満のみならず手創り役を目指した阿部さんには感動してしまう。現代は、手役よりも組み合わせをうまく作って、和了しやすい待ちで立直をかけて和了するというのが主流である。しかし、**島町自治会健康麻雀クラブは「飲まない、吸わない、賭けない」の三原則**があるので、ここでは手役を狙うことに非常に大きな意味があり、自分が目指すところ、夢と希望に向かって進んでいくことがポイントである。狙っている手役で和了する状態へ持っていくには、チャンスが来たら和了しなくても狙っていくことを積み重ね、努力していれば必ず実を結ぶことを私は信じている。

島町自治会健康麻雀クラブの三原則をベースに、私は手役を育てるということに力点を置いている。目先の和了に目を奪われてしまう中で、配牌を見て悪いと最初から何で行くか決めてかかる。ヤオチュウ牌が8種もあると、あと4種で国士無双がテンパイするので、結末はどうあれ必ず挑戦している。今年も何回も挑戦したが、皆さんに警戒されてしまい、風牌が無くなってしまうことも何回かあった。結末はどうあれ、決めたら最後まで押し通して振り込まないようにしている。最近の高い三色同順が出来やすいので、最初から捨て牌には注意しながら狙ってそれなりに実績を出している。チャンスを生かすも殺すも自分次第なので志高く打つことに心掛けている。

私も島町自治会健康麻雀クラブに参加して2年にならんとしているが、参加するには頭を使うことにして、**当初から目指しているのは500回に一回の出現率以上の役を何回達成できるかに挑戦し続けている。**当初の1年間は2325回に一回の役満「国士無双」を2回、666回に一回の小三元1回、526回に一回のダブルリーチ2回等と和了している。

2年目の今年も役満を目指すも配牌も引き牌も運量にも恵まれず、2000回に一回の出現率の三色同刻2回、二盃口2回の和了で終わっている。今日の阿部さんを見ていると、**配牌も良し、引き杯も良し、捨て牌の腕も良し**で三拍子そろったことから達成できたことに拍手を送ります。今日の例会に出掛ける前に今年も役満も達成していないので、残り2

日間で何とか役満を達成したいと思っていた矢先だったので、一緒に入った阿部さんが役満を達成したことは感激の一言に尽きる例会であった。

今日の主だった感想は次の通り。

一番目は、地域の仲間と楽しむ麻雀なので、私は常に「場を平たくする」するという観点を心がけて打ってきた。今日は子で満貫の和了を重ね、振込もダマ聴牌-1500の一回に終わったことから、阿部さんの役満に8000点払ったものの、+76で投了することができた。

二番目は、鳴きタンヤオ3色同順を積って和了したことが印象に残る。これも親落としのために一鳴き聴牌してカンチャンの5筒待ちで積もったが、島町健康麻雀クラブルールでは鳴いたらタンヤオは加点されないことになったので1000点であった。東風戦では小刻みに和了することが大事であり、運量のある親落としを狙うのはダマ聴牌が一番。

三番目は、これまでも字牌・風牌のドラの時に、見落としをしまい、うっかりミスで振り込むことが何回あったが、今日はその失敗を繰り返すことはなかった。というのは、ドラが北、雀頭が發で789万、789筒、34索、789索で3色同順に残りの6枚目でこぎつけたのでリーチ掛けるか迷ったが、運の強い親なのでダマ聴牌にした。一巡目にドラの北を持ってきたのでローリングして雀頭の發を切り落としした。二順目にまた北を引いたので雀頭を入れ替えて聴牌して終わった。

★今日の試合結果

振込み1回(-1500)。

6回戦でトップ1回、3勝3敗+76に終わる。

1回戦5ゲーム+79 振込み0 トップ

2回戦5ゲーム-36 振込み1回(-1500)

3回戦5ゲーム+12 振込み0

4回戦5ゲーム-12 振込み0

5回戦5ゲーム-41 振込み0 (子の阿部さんが四暗刻を積もる-8000)

6回戦4ゲーム+74 振込み0

今日の反省点は

- 一番残念だったのは、配牌が四個筒メンツなし、四個索メンツなし、残り字・風牌なのでホンイツにすることを狙ったが、筒(2・3・8・9)と索(4・6・6・7)のいずれかの選択に索を選んだが失敗で、それから引き牌がなく、筒ばかりであったことから最後まで聴牌出来なかった。筒を選べば端牌が上家から出ていることもあり、捨て牌を見ると聴牌していたので、選択は難しいが真ん中の牌は皆さんが使うことを考えると、端牌の方が聴牌出来ない時を考えるとベタかなと教えられた一場面だった。
- 他家がリーチの時は、東風戦では自分打点と上がりやすさを考えて決断する。下りる時はベタオリが鉄則で我慢の子。
- 最初から上がり手の構成が出来ないほど悪い場面も何回かあった。中牌をどんどん捨てて字牌や一九牌を残して相手に振り込まないように心掛けてきた。
- 最後まで聴牌に持って行く努力しながら下りることを心掛けてきた。

阿部さん 大三元達成！

2019.9.6 私も麻雀例会に参加して今日から3周年目に入る。これまでも1年間ごとのそれなりの数値的なまとめを表にして会員に配ってきた。反応もまちまちで中にはあんたの記録には興味ないわと、声を大にして返してくれた人もいた。麻雀の楽しみ方には麻雀をするだけでなくこういう楽しみ方もあると、これも私のこだわりで披瀝したに過ぎないが。といのは、**島町自治会健康麻雀クラブは「飲まない、吸わない、賭けない」の三原則**があるので、たった12時15分から17時までの時間帯の中で、如何に自分の麻雀を楽しむかの目標を掲げて臨むことが更なる脳の活性化つながるのではと思っている。

2年間もお付き合いして来ると、様々な考えの持ち主がいることも判って来る。中でも大病した人、認知症気味の人、老齢者の方等はここで好きな麻雀が出来る時間の幸せを感じている人もいる。また、自分の手作りに挑戦している人もいる。大方はここで唯、楽しく過ごせば「良」という人が殆である。阿部さんは自分の考え方を持って麻雀を楽しんでいる一人である。島町自治会麻雀クラブの東風戦の短期決戦の中で役満のみならず手創り役を目指した阿部さんには感動してしまう。阿部さんは**8/23に四暗刻**を和了したばかりなのに、驚くなかれ、それから僅か二週間しか経っていないのに**9/6には大三元**を和了した。今回は一緒に卓を囲んだわけではないが、何しろ凄いの他人の手を借りずに役満を自分で引き寄せて和了したことである。

目先の和了に目を奪われてしまうことの多い中で、**手牌を育て**ということが麻雀の本質だと私は思っている。今回の大三元も白、三万四万のリヤメン待ちに三万を引いたので「小三元」でもよいと思ったらしいが、**目先の聴牌ではなく、志を高く持つ打ち方**を選び三万と白のシャボンにして、白を積もりあげて**大三元**を和了したとのことだ。これには感動した。この考え方を取れるのは、和了できるかどうかの問題ではなく創造力、創り出す力を働かせたことです。麻雀は自分の中に隠された可能性、能力を引き出すことでチャンスがある手牌は失敗を恐れずにどこまでも追いかけていきたいものです。

★阿部さんの聴牌に近い良い例が見つかりました



このような形に近かったと思います。**役満はめったにできるものではないので、チャンスの時は狙いましょう。**阿部さんに次回は何の役満を狙いますかと問えば、「緑一色」（9万回に1回出現率）と応えてくれた。私も一度挑戦してイシャテンで終わったことがある。お互いに**目先の聴牌ではなく、志を高く持つ打ち方**をしたいものです。



緑一色（リユーイーソー）とは？

- アタマもメンツも、ソーズの赤い色が入っていない、緑色の牌だけでそろえます。
- **メンツの組み合わせは順子(※1)でも刻子(※2)でも槓子(※3)でもOKです。**
- ポン、チー、カン（ミンカン）をしてもOK。
- 待ちの形は何でもOKです。

★**全体としては**、今日は3卓だが、途中で添田さんの出入りがあり、途中で3人余りの2卓に変わり、最後は添田さんが戻り3卓になるという変則であったが、私は運よく6試合を消化できた。最終トータルでは**6試合34ゲーム+276**に終わった。

今日の主だった感想は次の通り。

一番目は、東風戦の中で、今日も「**場を平たくする**」する観点を心がけて打ってきた。5回戦までは振込みもなく終わったが、最終回に落とし穴があった。親の東々の鳴きで一色と思っていたら全然違うドラ待ち聴牌-12000振込み、その分を取り返したが他家のツモ上がりが多くついに-90に終わった。

二番目は、東風戦なので、最初の配牌を見て何ができるのか、点のみであったら何を指すのか、多少なりとも線があったら何を指すのか、早く決めて掛かるようになった。手役が出来ない場合は、役牌をなるべく早く揃えて一鳴き聴牌して親落としを狙うようになった。**運量のある親落としを狙うのは簡単な手が一番。**

三番目は、手役作りとして3色同順と一盃口の聴牌のみに終わったが、途中8索と5索を切り間違えて元に戻すのに苦労した。運の強い親なのでダマ聴牌にした。

★今日の試合結果

振込みも1回。(12000)

6回戦でトップ3回、5勝1敗+276に終わる。

- 1回戦6ゲーム+70 振込み0 トップ
- 2回戦5ゲーム+4 振込み0
- 3回戦5ゲーム+25 振込み0
- 4回戦6ゲーム+200 振込み0 トップ
- 5回戦6ゲーム+67 振込み0 トップ
- 6回戦6ゲーム-90 振込み1 -12000

今日の反省点は

- 一番残念だったのは、添田さんに以前にもやれた、親の時に東々の鳴きで一色に見せか外のドラで待っている落とし穴にはまってしまった。今回は私が3・6・9索と三面待ちなのでリーチしたら運悪くドラを持ってきたので振り込んだ。仕方なし。相手が親の時はやはりダマ聴牌とローリングか。
- 他家がリーチの時は、東風戦では自分打点と上がりやすさを考えて決断する。下りる時はベタオリが鉄則で我慢の子。
- 最初から上がり手の構成が出来ないほど悪い場面も何回かあった。純チャン三色が二回イシャテンで終わった。字牌や一九牌を残して相手に振り込まないように心掛けてきた。
- 最後まで聴牌に持って行く努力しながら下りることを心掛けてきた。

島町麻雀倶楽部の私の麻雀記録

島町自治会健康麻雀クラブの仲間に感謝！

2017年9月から1年間健康麻雀を楽しんできた私の数値記録

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
麻雀回数	17	4	5	9	9	8	20	15	22	22	20	21	172
勝数	9	3	2	5	4	3	13	9	13	12	9	15	97
トップ数	6	2	0	2	2	3	6	6	7	9	3	8	54
負数	8	1	3	4	5	5	7	6	9	10	11	6	75
参加日数	4	1	1	2	2	2	4	3	4	5	4	5	37
勝日数	4	1	0	2	2	2	2	2	4	3	2	4	28
負日数	0	0	1	0	0	0	2	1	0	2	2	1	9

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
勝点数	974	273	90	490	646	807	353	832	1285	1284	513	1215	8762
負点数	-289	-40	-481	-121	-386	-412	-285	-425	-483	-930	-761	-291	-4904
差引	685	233	-391	369	260	395	68	407	802	354	-248	924	3858

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
回数勝率	53%	75	40	56	44	38	65	55%	59	55	45	71	56%
回数負率	47%	25	60	44	56	62	35	45%	41	45	55	29	44%
回数トップ率	35%	50	0	22	22	36	30	31%	31	41	15	38	31%
勝数トップ率	67%	67	0	40	50	100	46	56%	54	75	33	53	56%
勝点数比率	77%	87	16	80	63	66	55	66%	73	65	40	81	64%
負点数比率	23%	13	84	20	37	34	45	33%	27	35	60	19	36%
勝日数率	100%	100%	0%	100%	100%	100%	50%	67%	100%	60%	50	80	76%

★役満聴牌を目指せ(●和了)

四暗刻	●国士無双2回
大三元	四喜和(大小)
字一色	清老頭
緑一色	九蓮宝燈
四槓子	地和(子)
	天和(親)

★これまでに和了した役満

第一回目	H29.9.8	国士無双	北振込Hさん	
第二回目	H30.4.20	国士無双	發振込Oさん	

★役満を目指したが役満に至らず和了したもの

第一回目	H30.2.16	積り四暗刻	北を振込み満貫Oさん
第二回目	H30.3.23	大三元・字一色崩れ小三元	發を振込み跳満Yさん

★役満を聴牌していたが和了できなかったもの

第一回目	H30.8.10	国士無双 西待ち	
------	----------	----------	--

★珍しい記録(役満の地和と思しやダブルリーチに終わる)

●ダブルリーチ	H30.7.20	H30.8.31

★一・四・七索三面の単騎待ち、ドラなし

★カン八万待ち、ドラ東二枚の頭

★結果=3巡目四索ツモ@3,900

★結果=5順目八万振込み満貫 Mさん

★健康マージャンは楽しい！！

- 楽しみながら、自分の目標としている役満を出すように心掛けている
- 手牌を膨らませてより高い役を目指している。
- 相手あつての麻雀だが相手に手を貸さないことにしている。(反省多き)
- ボケ防止に脳をフル活動させることにしている。
- 老いの時間を楽しみながら大らかな麻雀を目指している。

一年間のまとめ=場の風を感じながら打つにしても難しいのが麻雀で、手牌を育てる麻雀をと思っているが、相手がいるのでそうはいかないところが現実の麻雀。健康麻雀なので目の和了に目を奪われずに創造力を働かせて、チャンスの少ない役満や高めの役

この一年、二千回に一回出現率の役を4回和了しました

2018.9~2019.8 私の島町麻雀クラブ記録

	試合数A	ゲーム数B	振込数C	振込率D	勝敗数E	勝率%F	得点数G	トップ数H	トップ率%I
9月計	19回	108	6	0.055	10勝9敗	53	572	8	42(80)
10月計	11回	65	6	0.092	8勝3敗	73	660	4	36(50)
11月計	24回	148	8	0.054	15勝9敗	63	1008	7	29(7)
12月計	13回	75	4	0.053	9勝4敗	69	321	3	23(33)
1月計	11回	62	5	0.081	7勝4敗	64	340	6	45(86)
2月計	21回	109	7	0.064	12勝9敗	57	264	6	29(50)
3月計	25回	133	15	0.113	11勝14敗	44	423	6	24(55)
4月計	14回	76	6	0.079	5勝9敗	36	-251	5	36(100)
5月計	20回	121	11	0.091	12勝8敗	60	172	9	45(75)
6月計	19回	97	9	0.092	12勝7敗	63	467	7	37(58)
7月計	22回	125	6	0.048	11勝11敗	50	506	4	18(26)
8月計	28回	115	8	0.07	16勝12敗	52	667	10	36(63)
合計	227回	1260	92	0.073	128勝99敗	56	5149	75	33(59)

D 振込み率=C÷B、F 勝率=E 勝÷A、I トップ率=H÷A (勝数÷トップ率=H÷E 勝数)、

トップ	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	計	勝敗	振込み率	トップ	
6月7日	8=0+82	6=1-154	5=0-5	5=0-36	5=1-104	4=0+80	93=2-137	2勝4敗	0.0606	2
6月14日	6=2-175	4=1-122					10=3-297	0勝2敗	0.3	
6月21日	5=0+188	6=0+120	4=0-80	5=1+116	5=0+69		25=1+433	4勝1敗	0.04	3
6月28日	3=0+95	5=1+118	7=1+198	5=0+19	4=1+32	5=0+6	29=3+466	6勝0敗	0.1034	2
6月計	1123	-656	467				97=9+467	12勝7敗	0.0927	7

振込み内容と結果							
	振込み1	振込み2	振込み3	合計	結果	累計	振込み内容
6月7日	-8,000	-12,000		-20,000	-137	-137	先制リーチも後リーチの子・親満貫振込
6月14日	-7,700	-12,000	-8,000	-27,700	-287	-434	サービス振込み2回で打切
6月21日	-12,000			-12,000	433	-1	ダマ聴牌に振込
6月28日	-1,300	-1,500	-8,000	-10,800	468	467	リーチのみに2回、役付チーに子満振込
6月計9回	-29,000	-25,500	-16,000	-70,500			平均-7,833点

振込回数と内訳										
	振込0-	振込0+	振込1-	振込1+	振込2-	振込2+	振込3-	振込3+	振込計	回/ゲーム
6月分	3	8	3	4	1				9	19(97)
7月分	8	9	2	2	1				6	22(125)

出現確率500回/1以上の役の達成回数表		
	1	2
Wリーチ	526回/1	h30/7/20ツモ h30/8/31宮崎
小三元	666回/1	h30/3/29L時
混老頭	1250回/1	
三色同刻	2000回/1	h31/4/2柴田 R1/7/5柴田
二盃口	2000回/1	R1/6/7ツモ R1/8/9ツモ
チャンカ	2000回/1	
四暗刻	2040回/1	
国士無双	2325回/1	h29/9/8平田 h30/4/20岡部
大三元	2564回/1	
四喜和	3333回/1	

Handwritten Mahjong records including:

- H29.9.8 平田さん北振込み 国士無双
- H30.4.20 岡部さん南振込み 国士無双
- H30.3.23 山崎さん南振込み 跳満小三元
- H30.7.20 ダブルリーチ
- H30.8.31
- 2019/6/7 種もる4筒で満貫二盃口
- 2019/6/9 種もる5索親満貫二盃口
- 2019/4/2 柴田さん八筒振込みで満貫三色同刻
- 2019/7/5 柴田さん九筒振込みで満貫三色同刻

- 岡村の目標の
- 1、場を平たくすることは、勝率 56%であるように達成されています。
 - 2、出現率 500 回/1 以上の役に当初から挑戦し、2 年目も 4 回達成されました。

2019.9~2020.8 私の島町麻雀クラブ記録

	試合数A	ゲーム数B	振込数C	振込率D	勝敗数E	勝率%F	得点数G	トップH	トップ%I	勝数トップ率
9月計	20	114	6	0.053	15勝5敗	0.75	608	7	0.35	0.47
10月計	18	95	12	0.126	9勝9敗	0.5	336	6	0.33	0.67
11月計	19	94	12	0.128	14勝5敗	0.74	982	6	0.32	0.43
12月計	19	94	12	0.128	6勝13敗	0.32	-730	4	0.21	0.67
1月計	23	117	9	0.077	15勝8敗	0.65	641	13	0.57	0.86
2月計	20	94	2	0.021	14勝6敗	0.7	1370	11	0.55	0.79
3月計	19	119	15	0.126	10勝9敗	0.53	-518	3	0.16	0.3
7月計	23	112	18	0.16	14勝9敗	0.64	741	12	0.52	0.86
8月計	17	111	12	0.108	8勝9敗	0.47	68	4	0.24	0.5
合計	178	950	98	0.103	105勝73敗	0.59	3498	66	0.37	0.63

D振込み率=C÷B、F勝率=E勝÷A、Iトップ率=H÷A、勝数トップ率=H÷E勝数

振込回数と内訳

敗数=勝数	振込0-	振込0+	振込1-	振込1+	振込2-	振込2+	振込3-	振込3+	振込計	回/ゲーム
9月5=15	1	13	4	2					6	20(114)
10月9=9	5	6	1	2	2	1	1		12	18(95)
11月5=14		10	3	4	1		1		12	19(94)
12月13=6	4	4	8	2	1				12	19(94)
1月8=15	4	11	3	4	1				9	23(117)
2月6=14	4	14	2						2	20(94)
3月9=10	2	6	5	3	2		1		15	19(119)
7月9=14	2	6	4	8	3				18	23(112)
8月9=8	4	6	3	1	1		1	1	12	17(111)
計73=105	26	76	33	26	11	1	4	1	98	178(950)

満貫上がり・振込み回数

	9	10	11	12	1	2	3	7	8	合計
役満			1							1
親跳満			1							1
親満	1	2	2		3	5	2	5	1	21
子跳満	1	2	1	3			1	1	2	11
子満	2	1	3	1	7	8	5	11	6	44
合計	4	5	8	4	10	13	8	17	9	78
振込親満	1	2			2		4		1	10
振込子倍満		1		2						3
振込子跳満					1					1
振込子満		1	2	4	1		1	2	3	14
合計	1	4	2	6	4	0	5	2	4	28

出現確率500回/1以上の役の達成回数表

	1	2	3
Wリーチ	h30/7/20ツモ	h30/8/31宮崎	R2/7/31ツモ
小三元	h30/3/23山崎		
混老頭	1250回/1		
三色同刻	h31/4/2柴田	R1/7/5柴田	
二盃口	R1/6/7ツモ	R1/8/9ツモ	
チャンカン	R1/10/18宮崎		
三連刻	R1/10/18宮崎		
四暗刻	2040回/1		
国士無双	h29/9/8平田	h30/4/20岡部	R1/11/22大橋
大三元	2564回/1		
四喜和	8333回/1		
字一色	12500回/1		

2019.9~2020.8出現確率500回/1以上の達成役

2019.9~2020.8出現確率500回/1以上の達成役

2019/10/18タナヤオ・三連刻・三暗刻・チャンカン・ドラ1=跳満 ★宮崎6栄加積

2019/11/22 国士無双 大橋さん振込み

2020/7/31出現率1/5280ダブルリーチ ツモ上がり=子の満貫

▲麻雀打つ人の指タコ春炬燵

(ボケ防止のゲーム)

つい最近、久しぶりに麻雀を楽しんだ。これまで私が覚えたゲームの中で一番面白いと思っているのは麻雀である。最近は頭の右の脳を使うことら痴呆症に掛かりにくいとかで各地の区市町村が高齢者を対象に麻雀教室を事業として実施するようになった。初めて麻雀と接するようになったのは、東京都に就職した時の出先の職場である。勤務終了後、お歳暮や中元で貰ったお酒を飲みながら、毎日遅くまで先輩たちは麻雀をして帰るのが常だった。遊びとは言っても賭けないと面白くないので、千点五円だった。大学に登校しない日はいつも横で見ながら手ほどきを受けた。まずは上がれる形にもっていくことが第一で、それが何通りもあり、その変化はやる度に違うので覚え込むまで時間が掛かったことは言うまでもない。また、勝ち負けの点数をやり取りするために、点数の数え方を覚えなければならない。これは九九の倍々を利用するだけのことから簡単に覚えられた。

初めて四人の仲間に入れて貰い実際に麻雀を打ってみると、牌を持って来てもどれをどう組み合わせるのか一瞬の判断がつかず、要らない牌を捨てるにも時間が掛かり相手に迷惑をかけっぱなし。それでも先輩たちは酒を飲みながら大らかに黙って待ってくれたので勉強しながらうてた。次第にも判って来ると、本当に面白くなりめり込むようになり、最初は負けてばかりいたが、千点五円では給料日の精算もたいしたことなく、みんな小遣の範囲内で収まっていた。土日は宿直室で徹夜麻雀を何回やったことか。その度に先輩の奥さんに電話するのは私の役目だった。そんな昔が懐かしい。当時は麻雀の最盛期だったから、スキーに行っても夜は麻雀一筋だった。「指にタコ」が出来るほど、麻雀は私を夢中にさせてくれた。

東京都から港区に転勤してからは、配属が選挙管理委員会事務局で若者の集団で会ったことから、中村、小菅、金子、高野、椎名、関根、藤本、竹山さん達と麻雀クラブを作り、優勝カップを揃えて、争奪戦を企画したり、毎月清算の一割りをカットして大会経費に当てたりしながら楽しんだが、その後、「登山とスキー」を続けるために麻雀から遠のいてしまった。麻雀の面白さは実力もさることながら、運、場の流れ、瞬間的な状況判断、相手の手の内を推理し、落とし穴の仕掛け等を総合判断して、その場に応じたベストの役作りを行ったり、逃げたりしながら結果を出していくからだと思う。

(定年退職前にして百句で綴る職場日記より 退職者会 岡村昭則)



15年ぶりに麻雀を楽しむ！

(H29. 5. 27)

我が家では、4年前から体調を崩したが、昨年、妻は大手術をして元気になった。子供達に迷惑を掛けたくないで元気なうちに断捨離を行いますと宣言して、5月に入ってから次から次へと使わないものを塵として捨て始めた。その断捨離も妻が自分の物や妻が担当している部分を行うのは一向に構わないのだが、私の物まで意見も聞かずに、単純に使われていないという理由だけですべてを塵として扱いだしたので衝突することもしばしは。その中の一つに40年近く使われていない麻雀パイを私に断りなしに、妻が勝手に塵として東ねていた。それに気が付いた私は、良質の麻雀パイなので単純に捨てるのはもったいないと瞬間的に思った。その時に2週間前に配布された町の「自治会だより」に「大丈夫ですか？記憶力、簡単な暗算、指先の動きなど・麻雀で、脳活トレーニング！！」という見出しで部員大募集（会費月500円、毎週金曜午後1時～5時、自治会館2階和室、規約は①掛けない②禁煙③禁酒です。）の案内記事が掲載されていたことを思い出し、自治会の麻雀倶楽部で使ってもらえるかどうか確認し、要らないということであれば塵として捨てることにしようとしたのである。

人づてに自治会麻雀倶楽部の責任者は、私の知っている体育指導員であることを知ったので、5月末の活動日の自治会館に麻雀パイを持っていくと喜んで受け取ってくれた。これで無駄なく使われることになったので私もほっとした。参加しているみなさんを見てビックリしたのは私の知っている人も2名ほど参加しているではないか。現在会員は14名で、ゲームは一回東だけで終わり、2位抜け、持ち分三万点で三万点返し、一ハンしぱりで、東京から大阪までの五十三次でトップに立てば一次進めることにしてゲームを楽しんでおり、会費でコーヒーかお茶は用意しているという。

麻雀の面白いのは136枚の麻雀パイの無限大ともいえる組み合わせによる知的ゲームであり、毎回、組み立ての局面が違う展開となることや、外の3人の手の内も捨てパイか

ら読み取ることや、持ってくるパイの流れを読み取りながら、自分が上がるためにいろいろと頭を使い判断力を問われているゲームでもある。認知症の増加と共に老化防止として、手や指の運動と脳を活性化することから健康麻雀として認知され各地で展開されるようになった経緯がある。自治会でもその趣旨を踏まえて、**認知症予防を兼ねて脳活トレーニング**として実施しているという。責任者から私にも会員になってとの誘いも受けたので考えて置きますと即答を避けたら今日も参加してと、ゲームが終わったところで仲間に入れてもらったが、みなさん強者ばかりで素人はいない。15年ぶりの私はどうなることやらと思っていたら、すぐに昔の自分流のパイの切り方の感覚が蘇ってきた。振り込まないことを優先させたので、その卓ではトップで終わった。振り返れば、私も大学に入ってから覚えた。社会人になって立山の春スキーに行った時などは、麻雀パイも担ぎ上げて、雪が腐ってくる昼間は滑れないので麻雀をした覚えもあるし、スキー場でも吹雪く日は部屋で麻雀に明暮たり、職場で麻雀旅行に行き温泉にも入らず徹夜でやったことなどが蘇ってくる。(岡村)



★15年ぶりに国士無双です！

(H29. 9. 15)

2017年5月に病み上がりの妻が我が家の断捨離を行った。天袋から40数年も使っていない麻雀牌が出てきたので捨てることにした。そのまま捨てるのはもったいないので、2週間前に配布された「島町自治会だより」に「大丈夫ですか？記憶力、簡単な暗算、指先の動きなど・麻雀で、脳活トレーニング、認知症予防！！」という見出しで部員大募集（「大丈夫ですか？記憶力、簡単な暗算、指先の動きなど・麻雀で、脳活トレーニング！！」という見出しで部員大募集（会費月500円、毎週金曜午後1時～5時、自治会館2階和室、規約は①掛けない②禁煙③禁酒です。）の案内記事が掲載されていたことを思い出し、自治会の麻雀クラブに寄付することにした。

5月末の活動日の自治会館に麻雀パイを持っていくと、喜んで受け取ってくれた。これで無駄なく使われることになったので私もほっとした。麻雀は20代から60歳定年退職まで時々楽しんできたので、試しにと誘われた時は後期高齢者になっても昔の牌の切り方が蘇ってくる。私の牌の切り方は相手に振り込まないことをモットーにしている基本的な麻雀の打ち方である。終わってみれば、プラスで終わった。その時にSさんから会員になってと誘われてしまったものの、活動日の金曜日は外の行事と重なることが多く、返事を曖昧にしていたら8月中旬に3卓囲むには一人足りないのでは会員になってほしいと、催促の電話があったので9月から参加することにしますと返事をして、退職後、久しぶりに麻雀をすることになった。これが私の健康麻雀参加の原点である。

●9/1、初めての活動日に会費と入会金を払い会員になって、正式に皆さんと一緒に麻雀を打ち出した。参加するにあたって、ボケ防止の健康麻雀なので参加するには何か楽しい目標を立てなくてはと思い、楽しみながら役満を出すことを目標に掲げてカメラを持って参加し、役満が出たら写真に撮り、エッセイの一本でも書けたらと決め込んでいた。

しかし、役満はそう簡単に出るものではない。役満の種類と出現割合を調べても、これまで経験したことのないものばかり。①四暗刻＝出現割合 0.05%②国士無双＝出現割合 0.043%③大三元＝出現割合 0.039%④四喜和＝出現割合 0.012%⑤字一色＝出現割合 0.008%⑥清老頭＝出現割合 0.0018%⑦地和＝出現割合 0.00158%⑧緑一色＝出現割合 0.0011%⑨九蓮宝燈＝出現割合 0.00045%⑩天和＝出現割合 0.000325%（33万回に一回）⑪四槓子＝出現割合 0.000234%。その他ローカル役満⑫四連刻⑬人和⑭十三不搭⑮大車輪等があり、巡りあわせの運と自分の判断力でどの役満が出来るのか楽しみながら挑戦することや、1/500以上の役作り＝Wリーチ1/526、小三元1/666、混老頭1/1250、三色同刻1/2000、二盃口1/2000、チャンカン/2000等にも年に何回出来るのか挑戦することになっていた。健康麻雀なので役作りをして楽しむことを心掛けるようにして参加が始った。

ましてや島町自治会麻雀クラブの会員は、初心者はおらず、それぞれの方が定年退職するまで会社等で楽しんできた人が多く、上手な人ばかりで手ごわい仲間である。いざ麻雀卓に着けば、配牌の流れを読み取りながら、自分が上がるためにいろいろと頭を使い、3人の相手はどんな上がりを考えているのかを読みとらなくてはならないので、判断力と決断力が問われる。ここがボケ防止に繋がっていくのであろう。最近では頭の右脳を使うから

認知症に罹りにくいとかで、各地の区市町村が高齢者対象に麻雀教室事業として実施するようになった。島町自治会麻雀クラブもその趣旨を踏まえて、**認知症予防を兼ねて脳活トレ沿って一ニング**として実施しているので、私も勝ち負けに関係なく、仲間と楽しみながら、自分の目標としている役満を出すように心掛けて臨むことにしている。初日の結果は一度もマイナスすることなく終わった。

●9/8は、二回目の活動日である。麻雀は136枚の麻雀の無限大ともいえる組み合わせによる「知能ゲーム」として、毎回違う局面での展開があり、運がかなり加味され、その上自分の判断力と決断力で最終的な上がり牌の配列となる。私は単純だから最初の配牌の配列を見てどの役で行くか、すぐ決めてかかり、みなさんが欲しいような牌が自分に必要ないと思うと、なるべく真ん中の牌からどんどん捨てていく。途中で牌の流れの変化や捨て牌の失敗から、上がり放棄もしばしば。ましてや麻雀は振り込まなくても最終的にマイナスになることもあることを忘れてはいない。

今日うれしいことがあった。一、九牌等が8枚あったので、物は試しと思って、国士無双を狙ったら、引き牌がよく次から次に入ってくるので要らない牌はどんどん捨てていく。しかし、外の3人は新人の私が国士無双を狙っているとは多分読んでもいないだろうし、私も上がれないと思っているので最後に一ピンが頭になって、「北」待ちで聴牌した時に、捨て牌の場を見れば二枚出ており、残り一枚では無理だと思っていたのでハラハラドキドキすることも無かった。**国士無双の出現割合 0.043% (430回に1回) で確率は高い方である**。ところが、私の読みがあたったのか、国士無双を狙っていることを誰も疑わず、一、九牌や風牌を捨ててくれる。ここでまさかの最後の牌「北」を左の人が振り込んでくれた。この時は興奮してしまい、手の内の牌を開いてみなさんに見てもらった。間違いなく国士無双で上がったことが判った時は皆さんも驚いていたが、私は思いも寄らず早く役満の写真を撮れたことの方が嬉しかったことは言うまでもない。

の聴牌で北上家の平田さん振込

★麻雀や国士無双上がり秋深む

9/15、第3回目の活動日である。**今日は麻雀大会というので、外の行事を断って参加した**。大会は50分時間切りで、三卓で4回戦を行うことにした。2回戦からはトップの勝者同志をぶつけあって勝者の平均化を図った。1回戦、2回戦は私も鳴かず飛ばずの少々のマイナスであったが、3回戦に盛り返しトップとなり、最終回のトップ戦は全員がプラスの勝者なのでここで最終勝者が確定する。ここでは振り込まないことを徹底して手の内で高い役を狙い、外の3人内誰かがリーチをかけると無理せず上がり放棄をしてしまい、ノー聴牌で罰金を何回か払ったこともあったものの、手の内で高い役を狙いながら、リーチを掛けなくても上がれるように心掛けてきた。その甲斐あってここではトップに終わった。4回戦の総トータル点数を合計して張り出されたところ、私が第2位の成績であったことには自分ながら驚いた。**前回は役満を出すし、今回は第2位であることから実力を認めてくれたのか**、私を麻雀クラブに誘ってくれた先輩達も別れ際に「次回も教えてね」になってしまった。とにかく麻雀は運が8分で牌の捨て方の技術が2分であると思っているから、振り込まないことに徹底することで基本であり、手の内で高い役作りに心掛けてダメだったら諦めて上がり放棄することが第一であると思っている。

健康マージャンは楽しい！

見沼区島町自治会麻雀クラブ・健康麻雀で知ったこと

(H30. 3. 31)

昨年5月に我が家も断捨離を行い、40数年も使っていない麻雀牌を捨てることになったが、そのまま捨てるのはもったいないので、私が会員である見沼区島町自治会の麻雀クラブに寄付することにした。ここは老人のボケ防止の健康麻雀で①掛けない②禁煙③禁酒の三原則を題目に会員を募り町会の交流の場として自治会会館で毎週金曜日の午後4時間開かれている。3卓囲むには一人足りないので会員になってほしいと、催促の電話があったので9月から参加することにして、7ヶ月が経過した。

当初知っている会員は5人だけだった。会員は、初心者はおらず、それぞれの方が定年退職するまで会社等で楽しんできた人が多く、上手な人ばかりで手ごわい人達ばかりである。いざ麻雀卓に着けば、配牌の流れを読み取りながら、自分が上がるためにいろいろと頭を使い、3人の相手はどんな上がりを考えているのかを読みとらなくてはならないので、判断力と決断力が問われる。ここがボケ防止に繋がっていくのであろう。最近では頭の右脳を使うから認知症に罹りにくいとかで、各地の区市町村が高齢者対象に麻雀教室事業として実施するようになった所以でもある。

私は老いの時間を楽しむための大らかな麻雀を目指して、参加するからには一つの考え方を持っ

て参加した。ゲームだけでなく、そこから派生する楽しみも作って楽しむことにして参加させてもらっている。

●私は勝ち負けに関係なく、仲間と楽しみながら、自分の目標としている役満を出すように心掛けて臨むこと。

●麻雀というゲームを本格的に勉強もしたこともないので、インターネットを開き、「役の一覧」、「点数の数え方」、「麻雀役の出現確率」、「麻雀の格言」等を知ること。

●ただ麻雀してその場限りで終わり、すべてを忘れては脳の活動も蓄積されないので、必ずゲームが終わり帰って、自分の失敗を日記として記録していくこと。

●自分の得意とするパソコンで大会のある場合は記録し、結果一覧を作り分析を試みていくこと。

以上の4項目を掲げて月2回の参加でも、それなりに脳の活性化していることは間違いない。7ヶ月間の参加で島町自治会麻雀クラブの思いを書き綴りたいと思う。

健康麻雀はどうなっている。

1、①掛けない②禁煙③禁酒の三原則⇒守られている。

2、老いの時を楽しむための大らかな麻雀か⇒そうとは言えない。

●チョンボしないように申し合わせているが、忘れる人もいる。

●先ツモしないように申し合わせているのに忘れる人もいる。

●高齢者なので行動が遅くれる場合もある。それを急かす言動や、余計なひと言を付け加える人もいる。ゲーム展開は一定のリズムもあるが、ゲームを楽しむことを忘れて、勝負に拘るのか、何も言わずに待つという大らかさが不足している。

●一番嫌な風景は、他人が上がりを宣言すると自分の牌を直ぐに崩してしまう人を何

人も見掛ける。職場の賭けマージャンではないのだから、地域の交流麻雀なのだからおおらかさが欠けている。

●ゲームだからどんな組立で上がろうとも構わないのだが、あまりにも勝負に拘っている人もいる。時には上がる、上がらない別にして手作りを楽しんでと思う事もしばしば。

3、健康麻雀という名の下に「大丈夫ですか？記憶力、簡単な暗算、指先の動きなど・麻雀で、脳活トレーニング！！」という見出しで部員大募集しているが、実態は麻雀同好会で初心者が入る余地なしである。

4、私は老いの時間を楽しむための大らかな麻雀を目指して、参加する時は一つの考え方を持って参加し、ゲームだけでなく、そこから派生する楽しみも作って楽しんでいるので、参加する度に楽しさが増えていく。

●私は勝ち負けに関係なく、仲間と楽しみながら、自分の目標としている役満を出すように心掛けて臨むことにしている。

●参加したゲーム振り返って、今日の自分のゲームの反省点はなにか。

- 1、まずは13牌の配牌で頭の中でどの手作りするかイメージを作る。
- 2、配牌で何を狙うか、ピンズ、ソーズ、マンズ、風、役牌等の数を見極める。
- 3、引き牌でどんどんイメージ変化させる。
- 4、相手を上がらせないために意地悪をしながら自分の手作りする。
- 5、サービス打ち込み麻雀は止める。
- 6、まず振り込まないことに徹する。振り込まなくても負けるのが麻雀。

5、参加して7ヶ月間の実践してきたまとめは次の通り。

①これまでの私が参加した大会の記録を紹介します。

三大会の合計得点順位表

	20.9.15	20.12.15	30.3.23	計	順位
添田 78 歳	③180	①459	②266	905	1
柴田 82 歳	111	③352	135	598	2
片柳 87 歳	69	27	①486	582	3
岡村 78 歳	②241	47	③197	485	4
宮崎 68 歳	①399	34	-174	259	5
山崎 77 歳	-305	②372	-60	7	6
堀内 75 歳	-132	118	●	-14	7
円田 71 歳	-137	-10	4	-143	8
飯泉 84 歳	-152	80	-132	-204	9
岡部 80 歳	-136	198	-360	-298	10
須藤 85 歳	18	-427	58	-351	11
阿部 78 歳	●	-360	-14	-374	12
平田 76 歳	●	-388	-113	-501	13
遠藤 76 歳	-166	-269	-293	-728	14

②7ヶ月間の中で反省点

- 1種類が多い場合はチンイツかホンイツ、役牌・風牌は残す。ポン、チーで組み立てる部分が多いので場の捨て牌を見落とさない。これまで何回も見落とししたので聴牌できなかったことが何回もある。
- それぞれ両面の繋がる牌が多い場合は無難に平凡な手作りを進める。役牌・風牌は安全牌として活用する。
- 親がリーチを掛けたら一発は避ける。親に対してダマテンで上がれるように手作りに心掛ける。自分の上がり点数を計算して勝負するか、しないか決める。



- チートイツの流れが来ている場合は逆らうことは止める。ポンしてトイトイにすると聴牌が送れる。暗刻が出来るようだったらポン一回で聴牌程度、悪くても2つ以上のポンは避ける。
- 国士無双をも狙う場合は、配牌で8枚程度は必要。引き牌によってチャンタ、ジュンチャンに変化することも出来る。
H29.9.8 国士無双 北ローン
- 中付なしルールなので、役牌や風牌はチンイツ、ホンイツ、チャンタ、ジュンチャンを目指す場合は早めにポン・チーする。それ以外は状況を見て最終的に役牌ポンで聴牌となるように組み立てる。
- 三色同刻は出現率1/2000で食い下がりなし2リャンハンなので最初からポンしていく。これまで1回も見落とししたことでそれ以来チャンスがこない。
- 最後に聴牌していないと罰金を払うことになるので、何でもよいから役付きの聴牌をするように心掛けて置く。
- 小三元は実質的に満貫なので大三元は狙わない。H30.3.23 大三元・字一色崩れの小三元 發の振込みいただき跳満で上がった。
- 積り四暗刻聴牌も振込み満貫なのでダマテンで行く。H30.2.16 積り四暗刻聴牌でシャボン待ちの北を振込みいただき満貫で上がった。
- 明槓はせず、暗槓の場合は聴牌するなら場を見て行い、相手にドラを増やさないように心掛ける。
- 自分の聴牌の点数が高くても、相手がリーチを掛けたら振りこまないことが基本。自分の手作りに溺れないこと。H30.3.23 ジュンチャン、三色同順の辺張三ソで聴牌し、ダマテンで待っていたが、最後の方で親がリーチして、すぐにドラを引きとなった。後二回のみ引き牌なので下りる。最後まで辺張三ソが場に出なかったことから正解だった。相手はドラ筋で待っていた。

★インネットで調べて勉強になったこと

出現確率順の麻雀役の一覧

● 面前ツモしやすい役は？

- 1位ピンフ 出現割合 42% (2回に1回)
- 2位チートイ 出現割合 11.7% (8回に1回)
- 3位タイヤオ 出現割合 7.2% (13回に1回)
- 4位一盃口 出現割合 3.4% (29回に1回)
- 5位三色同順 出現割合 1.7% (58回に1回)

● 出現確率順の麻雀役の一覧 役満

役	出現割合%	何回に一回	役	出現割合%	何回に一回
リーチ 1	41.6-1	2回/1	ダブルリーチ 2	0.19-20	526回/1
役牌 1	40.0-2	2.5回/1	小三元 2	0.15-21	666回/1
タンヤオ 1	21.4-3	4回/1	混老頭 2	0.08-22	1,250回/1
ピンフ 1	19.9-4	5回/1	三色同刻 2	●0.05-23	2,000回/1
メンゼンツモ 1	17.6-5	6回/1	二盃口 3	▲0.05-24	2,000回/1
一発 1	10.2-6	10回/1	チャンカン 1	0.05-25	2,000回/1
ホンイツ 3・2	6.31-7	15回/1	四暗刻	0.049-26	2,040回/1
一盃口 1	▲4.75-8	21回/1	国士無双	0.043-27	2,325回/1
トイトイ 2	3.92-9	25回/1	大三元	0.039-28	2,564回/1
三色同順 2・1	●3.46-10	29回/1	四喜和(大小)	0.012-29	8,333回/1
チートイツ 2	2.52-11	39回/1	字一色	0.008-30	12,500回/1
一气通貫 2・1	1.75-12	57回/1	三槓子 2	◆0.005-31	20,000回/1
チャンタ 2・1	1.24-13	80回/1	清老頭	0.00181-32	55,248回/1
チンイツ 6・5	0.94-14	106回/1	地和	0.00158-33	63,290回/1
三暗刻 2	0.76-15	131回/1	緑一色	0.0011-34	90,909回/1
ハイテイロン 1	0.63-16	158回/1	九蓮宝燈	0.00045-35	222,222回/1
純チャン 3・2	0.38-17	263回/1	天和	0.0003025-36	330,578回/1
ハイテイツモ 1	0.31-18	322回/1	四槓子	◆0.000234-37	427,350回/1
嶺上開花 1	0.28-19	357回/1			



33 地和(子) 36 天和(親)

「点数の数え方」

親	1 翻	2 翻	3 翻	4 翻
20符 (ツモビンフ)	-	700オール	1300オール	2600オール
25符 (チートイツ)	-	2400	4800 1600	9600 3200
30符	1500 500	2900 1000	5800 2000	11600 3900
40符	2000 700	3900 1300	7700 2600	満貫
50符	2400 800	4800 1600	9600 3200	満貫
60符	2900 1000	5800 2000	11600 3900	満貫
70符	3400 1200	6800 2300	満貫	満貫
80符	3900 1300	7700 2600	満貫	満貫
90符	4400 1500	8700 2900	満貫	満貫
100符	4800 1600	9600 3200	満貫	満貫
110符	5300 -	10600 3600	満貫	満貫

子	1 翻	2 翻	3 翻	4 翻
20符 (ツモビンフ)	-	400/700	700/1300	1300/2600
25符 (チートイツ)	-	1600	3200 800/1600	6400 1600/3200
30符	1000 300/500	2000 500/100	3900 1000/2000	7700 2000/3900
40符	1300 400/600	2600 700/1300	5200 1300/2600	満貫
50符	1600 400/800	3200 800/1600	6400 1600/3200	満貫
60符	2000 500/100	3900 1000/2000	7700 2000/3900	満貫
70符	2300 600/1200	4500 1200/2300	満貫	満貫
80符	2600 700/1300	5200 1300/2600	満貫	満貫
90符	2900 800/1500	5800 1500/2900	満貫	満貫
100符	3200 800/1600	6400 1600/3200	満貫	満貫
110符	3600 -	7100 1800/3600	満貫	満貫

符計算

① 基本符	20符 副底 (フーテイ)	
② アガリ方	10符 メンゼンロン	2符 ツモ
③ 各メンツ	順子 0符	2~8 刻子 槓子 明刻(ミンコ) 2符 暗刻(アンコ) 4符 明槓(ミンカン) 8符 暗槓(アンカン) 16符
	1・9・字牌 刻子 槓子 明刻(ミンコ) 4符 暗刻(アンコ) 8符 明槓(ミンカン) 16符 暗槓(アンカン) 32符	
④ アタマ	2符 役牌 (ヤクハイ)	
⑤ 待ちの形	2符 ペンチャン・カンチャン・タンキ・ノベタン	
①+②+③+④+⑤ = 合計符		
※符は、1の位を10の位に切り上げる。42符であれば50符となる。		
例外	一律20符 ピンアツモ	一律25符 チートイツ

符計算早見表

①《刻子・槓子の点数》 [0符]			②《雀頭の点数》 [0符]				
種類	○中張牌	点数	●ヤオチュウ牌	点数	種類	雀頭	点数
明刻 (ポン)	四萬 四萬 四萬	2符	一萬 一萬 一萬	4符	翻牌	白 白	2符
暗刻	五萬 五萬 五萬	4符	九萬 九萬 九萬	8符	連風	東 東	4符
明槓	六萬 明槓 六萬	8符	南 明槓 南	16符	中張牌は数牌の二~八 ヤオチュウ牌は数牌の 一、九と字牌		
暗槓	七萬 暗槓 七萬	16符	発 暗槓 発	32符	①	48	
③《待ちの点数》 [0符]			④《アガリの点数》			②	2
種類	待ちメンツ	点数	ツモアガリ 2符			③	2
間張	一萬 二萬 三萬	2符	ロンアガリ 0符			④	2
辺張	一萬 三萬 三萬	2符	⑤《面前加符の点数》			⑤	0
単騎	一萬 一萬	2符	面前ロン 10符			⑥	20
			その他 0符			合計	74
			⑥《副底の点数》 20符			<input type="button" value="閉じる"/>	

雀格言

●親の連荘南家の責任 <正論>

親が一番和がりやすく、次が南家、3番目が西家、4番目が北家である。これは自摸がその順番だからという理由による。副露がない状態では親（東家）と南家の自摸数は18牌で、西家と北家の17牌よりも1枚多い。

この格言は、親が連荘するのは、南家が親の和了の邪魔をしないことが原因であると言っている。親の和了の邪魔をするというのは、南家自身が和了することだけではなく、上家である親の手を止めるような、立直・副露・染め手などをすることを指す。

●北家は鳴くな <正論>

親の連荘阻止は子3人の共通意識である。北家が鳴くと親の自摸数が増えるため、北家は鳴くなと言われる。最悪なのは北家が親（下家）からポンすること。すぐに親に自摸が回る。次が、北家が南家（対面）からポンすること、である。北家が西家（上家）からするポンやチーは親だけの自摸が増えることにはならない。

●鳴いて飛び出る当たり牌 <正論>

特にポンの場合には放銃が多い。ポンをする牌は安牌であるが、それをポンすることによって手牌の2枚の安牌をなくしてしまうからである。鳴く前に、鳴いたら何を切れるのか、その場限りではなくその先も含めて安牌があるのか、勝負すべき手なのかをよく考えて鳴くべきであるという教えでもある。他家が立直した後にポンポン鳴く人はたいがい放銃する。

●下りポンは見逃せ <正論>

下りポンとは、上家が捨てた牌をポンすること。ポンは自分の手牌の進行のみならず、他家の自摸を飛ばすというメリットがあるのだが、上家から鳴く場合には、他家の自摸を飛ばせない。特に序盤においては、さらに中張牌においては、上家からポンするよりも、自分の自摸で手牌を進行させる方がよいという教え。

●手を見ずに場を見よ <正論>

初心者によく言われる格言。自分の手作りばかりに夢中になっており場（他家の捨て牌や副露牌）を見ていないことを戒める格言である。捨て牌や副露牌など見えてくる牌により、自分の手作りを変えていかなければならない。また、他家の役読みや聴牌読みなどを行い、病牌を事前に察知しておかなければならない。

●金持ち喧嘩せず <正論>

金持ちとはトップのこと。トップ目は、リスクを冒した賭けに出ないで、降りて場をやりすごす方がいいという格言。

●慌てる乞食はもらいが少ない <正論>

序盤から副露し和がり急ぐことにより、手を安くしてしまうこと。さらに副露数が多いと他家に対する防御も弱くなり、放銃しやすくなる。一般に序盤で中張牌・客風（オタカゼ）の1鳴きポンをする雀士はタコである。

●名人に名手なし <正論>

名人には印象に残るようないい手はない、ということ。奇抜な役や高い手はないが、優

れた方針により淡々と地味に手作りするという意味。

●運七技三 <正論>

麻雀の勝ち負けは、運7割技3割で決まるということ。それだけ運によって勝敗は多く左右するということ。

●ドラは出世の妨げ <やや正論>

ドラを持っていると目指すべき役作りに邪魔になり、高い手を作れないということ。

しかし、本来、ドラが何かによって目指す役を決める方がセオリーであり、ドラを邪魔者扱いすることはよくないことである。

●ドラを切る馬鹿切らぬ馬鹿 <正論>

ドラを安易に切るのはドラの翻数効率から考えてもつたいないことである。しかし、面子構成に使えないドラをずっと持っていて聴牌や和了を逃すことももつたいないことである。ドラの扱いに関しては難しいという格言。

●副々求和、敗可立見 <正論>

中国の格言。毎局和がろうとするものは負ける、と言う意味。降りるべき時には降りよということ。

●敵手三家 <正論>

中国の格言。敵は3人いる、という意味。

●順時勿喜、逆時勿愁 <正論>

中国の格言。順調の時に喜ぶな、不調の時に愁えるな、と言う意味。

●好牌先打 <正論>

中国の格言。好い牌は先に打て、と言う意味。不要な浮き牌や不要な搭子は、中寄りから捨てて、危険牌を後に残さない方が、守りの面で有利ということ。

●三軍、発すべからず <正論>

中国の格言。三軍とは三元牌のこと。配牌時に白發中が1枚ずつある時にはそれを保持した方がよいということ。

●折刻求和 <やや正論>

中国の格言。暗刻から1枚落として雀頭とし、和がりを求めよ、と言う意味。両面待ちになり、平和が付く場合に、暗刻を崩す打ち方はある。しかし、和がりやすさや和了点の高さだけを考えているのはよくない。暗刻を切るということは危険な行為である。

●双石並不如一嵌 <やや誤論>

中国の格言。双ポン待ちよりも嵌張待ちの方が勝っているという意味。

二四四55と持っていて、二萬を切れば双ポン待ち、四萬を切れば嵌張待ちになる。双ポン待ちになる牌が端寄りや字牌ならば、嵌張より双ポン待ちの方が有利であるし、また、中寄りであっても、その後両面待ちに変わる可能性を考慮すると、双ポン待ちで仮聴（かりてん）に採っておいて方がいい場合が多い。

●見和即和 <誤論>

中国の格言。和がれる時に和がっておけ、という意味。和了可能状態から和了すべきかどうかは、和了判断基準に従うべきであり、和がれる時にはすべて和がるというのは誤っている。

●打熟不打生 <正論>

中国の格言。生牌を切らず、熟牌を切れ。場に1枚も出ていない牌、生牌（ションパイ）を切るのは危険であり、場に何枚か出ている熟牌（シューパイ）を切れ、という教え。

●平和に始まり、平和に終わる <まあ正論でいいや>

麻雀の基本は平和形である、ということ。

●対々に筋なし <正論>

明刻を副露して対々和を目指しているならば、筋読みは意味がないということ。これは確かに正論。しかし事例をよく観察すると、対々和は筋待ち（つまり筋ひっかけ）になっている場合が多い。むしろ表筋が危ない。七対子においてはなおさら表筋が危ない。

●ドラ切り立直に側聴無し <正論>

ドラを2枚持っているならば待ちが悪くともドラを2枚とも使った待ちにするのがセオリーであるため、ドラを切って立直するような場合には、ドラそばの待ちはないということ。

●ドラ近捨てにドラ入り手あり <正論>

ドラが1枚もない状態ではドラの受け入れを考えてドラそばの浮き牌や搭子を持つ。もしドラが入った場合にはドラそばが捨てられることがある。またドラが2枚、または3枚になった時には、ドラを雀頭または暗刻として固定させるため、ドラそばの牌が捨てられることになる。

●二鳴き聴牌 <正論>

二副露めをしたら、聴牌していると思えという教え。二副露めをした時に切られた牌が二副露めの傍の牌ならその近辺の待ちは薄く、二副露めの傍でない牌なら、その切られた牌の傍の待ちが危ない。

●暗刻筋は危険 <正論>

暗刻（特に中張牌の中寄り）を持っているということは他家が必要としている牌を抑えてしまっているということであり、その暗刻およびその暗刻の筋となる牌は危険牌である。同様に暗刻でなくとも筋で3枚、4枚と持っている場合には危険牌である。

●字牌立直は3巡戻し <やや正論>

字牌切り立直は、その3巡前にヒントがあるという意味。昭和40年代の「五味マージャン教室」に出てくる言葉である。

●序盤の裏筋、中盤以降の跨ぎ筋 <正論>

序盤に出ている牌の裏筋が危険で、中盤～終盤に出ている牌の跨ぎ筋が危険という意味。乱暴ではあるが、ほぼ正論。

●序盤の七三捨てに端牌の待ちなし <正論>

序盤に233や133から3は捨てない。よって、序盤に3が捨てられているなら、1や2の待ちはない、ということ。

●七五捨てに三六の落とし穴 <何とも言えない>

7と5が捨てられていると、6が通りそうに見えるかもしれないが、4557から7→5の順に落とすと、36待ちになる。よって、7→5と捨てられている場合には36待ちも注意せよということ。

●伸ばすは外、かけるは内切り <正論>

6 8 9から手を伸ばす時は9切り、立直をかける時は6切りをせよということ。手を伸ばす時には6 8 9から9を切って6 8の嵌搭とし、5の自摸によって5 6の両搭への変化を目指す。また、立直をかける場合には、9を切って嵌7待ちよりも、6を切って辺7待ちの方が出和がりやすくなる。

●二嵌（りゃんかん）の渡りを残せ <正論>

手作りにおいて間三軒（差が4つ）の2と6を持っている場合に、2を残せということ。これは4を自摸った時に2 4 6の二嵌形になるためである。特に4がドラの場合などによく使われる。

●飛び対子は間を落とせ <正論>

1つおきの対子が3つある場合、間の対子を1枚落とせということ。2 2 4 4 6 6持ちの場合には4を1枚切れということである。2を切った場合は、3か4か6（3種8牌）を引いた時に1面子1雀頭が完成する。4を切った場合は、2か3か5か6（4種16牌）を引いた時に1面子1雀頭が完成する。6を切った場合は、2を切った場合と同様3種8牌である。4を切ることは2や6を切るよりも牌数にして2倍も効率がよいことになる。

●端寄り牌で雀頭作れ <正論>

断么九などが見えなければ、雀頭は端寄り牌や字牌（平和見込みなら客風牌）の方がよいということ。回すことを考えると、構成できている面子は崩したくないので、搭子か雀頭を切ることになる。両搭などに比べて、雀頭なら一度崩しても再起可能なので、安牌持ちの意識の一貫として、雀頭を端寄りの牌で作ろうと心がけることは戦術として正しい。

●配牌見たら三色探せ <やや正論>

阿佐田哲也の言葉。配牌時点で、どこで三色同順を作れるかを考えて打牌選択せよという教え。三色同順を見込むのはよいことであると思うが、あまりに強く三色同順を意識しすぎると、牌効率を落としてしまうことになるので、こだわりすぎない方がよい。

●親は聴牌が攻め時 <やや正論>

攻め時とは立直のことである。親は門前で聴牌したら立直をかけた方がいいと言っている。一般に子よりも親の方が立直を多用した方がいいので、やや正論であるが、他の条件を考えずに単純に聴牌即立直がいい訳ではない。

●ハル・フルの法則 <要検証>

聴牌した時の捨て牌で他家に放銃してしまうという法則。聴牌した時の捨て牌と、それ以前、それ以降の捨て牌を統計的に比較しないと答えは出ない。「聴牌した時に放銃した」という印象が強いだけの気もするが、しかし聴牌した時には、聴牌を崩したくないが故の危険牌切りが多いということも言えるであろう。

●人の嫌がる三面張 <正論>

和了牌が多い方が、和了確率が高く、他家から嫌がられるということ。

●かどかどに満貫あり <正論>

かどかどとは、牌山の端のこと。手積みの麻雀において、山の牌を覚えておくというイカサマがある。山の牌を覚える上においては山の端寄りの方が覚えやすい。覚えた牌を狙って一発自摸などが可能なので、かどかどで、満貫発生率が高まる。

●単騎は西で待て <正論>

単騎待ちをするならば数牌よりも字牌、字牌の中でも三元牌や場風牌・門風牌ではない客風がよい。東場・南場と回る半荘戦が主流であり、西と北が客風になる可能性が高い。西と北では西の方が手残り率がわずかに低く、**西がすべての種類の中で最も捨てられやすい牌なのである。よって、単騎を西で待つことは戦術上正しい。**

●降りれば負ける。降りなければ、もっと負ける。 <正論>

専守防衛では勝ちはないが、攻撃は最大の防御とばかり攻めていても麻雀には勝てない。降りて守ることができない人はトータルでは負けることになる。

●麻雀は和がった人が勝つのではなく、振った人が負けるゲームである <正論>

格言にしてはちょっと長いが、ひいい創作格言。自分が和がることばかりを考えて、自分の和了を優先し守りを疎かにする人は多い。しかし、和がったから勝つという因果よりも、振ったから負けるという因果の方が強いのである。麻雀巧者は、守りがうまい。

●和了は偶然、放銃は必然 ひいい創作格言。

「和了は偶然、放銃は必然」

和がれるのは、偶然のなせる業、たまたまなのであり、和がる人がうまいのではない、それに比べて、放銃は必然であり、放銃するのは下手の証明、うまい人は放銃はしない、ということ。

うまい人であっても不調時にはなかなか和がれないもの、それでも、放銃を少なく抑えるのが、強さの裏返しである。トップ率が高い人を見ると、みな放銃が少ない。

「立直かけていたんだから放銃しても仕方ない」なんて考えの人は、よくよく考え直した方がいい。立直というのは放銃を覚悟の上の防御力を最小化する戦略である。

本当にうまい人は目立った大きな和了はなく、放銃が少なく、そつなく、打ち回せる人である。例えば2人立直がかかった場で、さしたる危険牌を切らずに回してのみ手でさっくり和がるような人を見ると、「おおおっ」と思う。

●序盤の裏筋、中盤以降の跨ぎ筋 <正論>

序盤に出ている牌の裏筋が危険で、中盤～終盤に出ている牌の跨ぎ筋が危険という意味。乱暴ではあるが、ほぼ正論。

●序盤の裏筋、中盤以降の跨ぎ筋

「序盤の裏筋、中盤以降の跨ぎ筋」という格言があります。これは、序盤に出ている牌の**裏スジ**が危険で、中盤～終盤に出ている牌の**跨ぎスジ**が危険ということの意味しているのですが、牌を集めていく過程で、**序盤は「134」と持っていたら、「1」を捨てて「1」の裏スジである、「2・5」が危険で、メンツ材料が豊富になりだす中盤以降は、「556」などと、中張牌が重なってくる為、「556」から「5」を1枚切って「56」を跨ぐスジが危険**となりやすいことを格言としています。裏スジとは、捨てられた牌に対して、最も危険度が高い牌スジです。

裏スジのパターン 序盤に出ている牌の**裏スジ**が危険

【捨て牌】 【裏スジ】

1 → 2・5 = 1 3 4
 2 → 3・6 = 2 4 5
 3 → 4・7 = 3 5 6
 4 → 5・8 = 4 6 7
 5 → 6・9 = 5 7 8、1・4 = 2 3 5

【捨て牌】 【裏スジ】

6 → 2・5 = 3 4 6
 7 → 3・6 = 4 5 7
 8 → 4・7 = 5 6 8
 9 → 5・8 = 6 7 9

5以外は、捨て牌に対して、内側のスジが裏スジとなっています。裏筋表

捨て牌1	2	3	4	5	6	7	8	9
2、5	3、6	4、7	5、8	1、4、6、 9	2、5	3、6	4、7	5、8
捨てた2枚	1&6		2&7		3&8		4&9	
4ケン	2、5	3、6	4、7	5、8				

裏スジとは、捨てられた牌に対して、最も危険度が高い牌スジです。これはリャンメン待ちを作る過程で捨てられる牌から読む技術で、1・3とあるところに4をツモってきたなら1を捨てます。すると、3・4の形が残り、2・5待ちの形が残ります。その為、捨て牌1に対して、2・5が裏スジといます。

●またぎスジは、手牌を進めている内に、メンツ材料が豊富になり「2 2 3や4 4 5…exc」などの形から「2や4」を1枚切ってリャンメンターツにすることによって、「2 3や4 5」をまたぎ、「1・4待ち、3・6待ち」になるメカニズムを逆手に取った、読みの技術です。序盤では、牌の受け入れをなるべく広げるために、取っておくことが多いのですが、中盤以降になると中張牌は危険牌となるため、切られることが多いです。

またぎスジのパターン 中盤～終盤に出ている牌の跨ぎスジが危険

【捨て牌】

【跨ぎスジ】

2 → 1・4 = 2 2 3
 3 → 1・4 = 2 3 3、 2・5 = 3 3 4
 4 → 2・5 = 3 4 4、 3・6 = 4 4 5
 5 → 3・6 = 4 5 5、 4・7 = 5 5 6
 6 → 4・7 = 5 6 6、 5・8 = 6 6 7
 7 → 5・8 = 6 7 7、 6・9 = 7 7 8
 8 → 6・9 = 7 8 8

※3～7が切られた場合は、2種類の跨ぎスジが存在します。

【例】「2 3 3・3 3 4」

疝気筋 疝気筋（せんきすじ）といえばゲームの世界では筋違いの筋と言うほどの意味で使われる。麻雀では「裏筋の裏筋」を意味する。この筋は前半においてかなり危険度が高く、後半では比較的安全といえる筋。具体的に云うと、序盤、つまり6、7枚目ぐらいまでに3とか4、あるいは6とか7という牌が捨てられていた場合、その牌の裏筋はもちろん危険なのであるが、その裏筋の裏筋、つまり3捨ての場合であれば5・8、4捨ての場合は6・9、6捨ての場合は1・4、7捨ての場合は2・5という筋も裏筋と同じくらい危険ということである。その関係は次のようになる。

相手の捨て牌	1	2	3	4	5	6	7	8	9
+1、-1 裏筋	2・ 5	3・ 6	4・ 7	5・ 8	14/ 69	2・ 5	3・ 6	4・ 7	5・ 8
+2、-2 疝気筋	3・ 6	4・ 7	5・ 8	6・ 9	* * *	1・ 4	2・ 5	3・ 6	4・ 7

※5以外の数牌は、それぞれ裏筋1本、疝気筋1本があるが、5には裏筋が2本ある代わりに疝気筋はない。

★表示のように、5以外の数牌には理屈の上ではすべて疝気筋が存在する。しかし1・2・8・9の牌は手牌がどうこうと云う事に関係なく早捨てされる傾向が強い。したがって疝気筋うんぬんのメカニズムもあまり通用しない。実際に疝気筋のメカニズムが強く表れるのは、やはり中張牌である3・4・6・7の早捨てに対してである。

3・4・6・7などが1枚しかない時、1枚だからといって早捨てされる事はあまりない。くっつきによる面子作製はもとより、126とか489などとあれば、断幺（断ヤ）への移行も考えて6を残して12を、4を残してとか89の端面子が処理されることだってある。そこでたとえば序盤で3と6の単張を持っていて、どちらかへのくっつきを期待しているとき、3に2とか4がくっつけば、特に事情がない限り早めに6が処理される。すると残った面子は23か34であるから、23であれば待ち疝気筋の1・4、34であれば裏筋の2・5という事になる。逆に36と有るところに5または7がくっつけば、3が早めに処理される。もちろん5がくっつけば待ちは3の裏筋の4・7、7がくっつけば待ちは疝気筋の5・8となる。

●1とか9の端牌、あるいは28の牌は疝気筋発生メカニズムとは関係なく捨てられる事が多いので、19早捨てに関しては疝気筋うんぬんの理屈はあまり通用しない。いずれにせよこのような単張の整理というか面子作製の作業も、前半でほぼ終了する。当然、後半の捨て牌には、疝気筋が発生する度合いは低くなる。

●そこで前半での立直に対して疝気筋を打ちだすのは避けた方がよく（どうせ打つなら跨ぎ筋を）、逆に後半の立直に対してベタ降りしたいのに安全牌が1枚も無いという場合、同じ無筋でも相手の捨て牌の疝気筋を打ちだした方がなんぼかマシかも知れないと云うことになる。

健康麻雀に参加して一年半が経ちました！

(H31. 3. 11)

●我が家も要介護2の妻が脳腫瘍（良性）を手術して、身体機能が回復するや平成29年の夏に断捨離を行った。40数年も使っていない麻雀牌も捨てることになったが、そのまま捨てるのはもったいないので、わが町の自治会健康麻雀クラブに寄付したところ、3卓囲むには足りないので会員になってほしいとのことから自治会の健康麻雀クラブ（賭けない、飲まない、吸わない）に入会した私は、麻雀をするのは13年ぶりなので参加するからには**老いの時間を楽しむための大らかな麻雀を目指し、自治会会員交流の場であることや相手があつての自分なので、勝ち負けとは違ったところに目線を置き、自分流の麻雀との接し方や楽しみ方を実行することにして現在に至っている。**

●初年度（H29.9~H30.8）の目標として次の3点を掲げて参加した。

- ①何回役満で上がれるか挑戦すること。
- ②実践した麻雀のデータを記録すること。
- ③麻雀について何も勉強していないので基本から勉強すること。

1年間の結果は次の通り

- ①役満は2回和了（国士無双＝確率2325回／1回）。聴牌したが上がれなかったこと1回（国士無双）。四暗刻（2040回／1）及び大三元（2564回／1）を積もれずに相手の振込みで満貫に終わったもの2回。**1年間で5回のチャンスがあった。**
- ②記録データは、麻雀回数172回戦97勝75敗（**勝率56%**）、トップ54回（**トップ率31%**）、勝日数28日・敗日数9日、勝点数8762点ー敗点数4904点＝3858点、（勝点数比率64%）
※私が参加した第2回麻雀大会からの記録もデータに収めた。これによって大会の**個人記録も蓄積したので後で楽しむことも出来る。**
- ③麻雀の基本を学びは、インターネットで土田浩翔プロ雀士「麻雀すべて」のオカルト麻雀、デジタル麻雀、麻雀道、捨て牌詠み等を学ぶ。その他に**表筋・裏筋・疝気筋・跨ぎ筋**を初めて知り、関連の一覧表を作成。

麻雀交流風景から見えるもの

86歳から67歳までの14名である。会員に初心者はおらず大方の人は退職するまで会社等で楽しんできた人が多く、上手な人ばかりで手ごわい人達である。1年間通して判ったことは次のとおりである。

- ★麻雀を通して老いを大らかに楽しむと言うよりも、職場の麻雀と同じように勝負に拘っている人も見掛けられて老人としての大らかさがないことも見受けられる。
- ★高齢者なので行動が遅くれる場合もある。それを急かす言動や、余計なひと言を付け加える人もいる。ゲーム展開は一定のリズムもあるが、ゲームを楽しみ認知症予防の頭の体操として捉えて何も言わずに待つという大らかさが不足している。
- ★一番嫌な風景は、他人が上がり宣言すると自分の牌を直ぐに崩してしまう人が何人も見掛ける。職場の賭けマージャンではなく、地域の交流麻雀で認知症予防の健康麻雀なのだから考え方を切り替えて貰いたいと思う。
- ★この前も一人の年長者の人が麻雀の会場となっている自治会館に来るのに迷って、

私と外の2人が探しに行ったが、本人と電話連絡を取るも判らず、一度家に戻ってから遅れて会場にきた。このことからしても確かに認知機能が劣化していると思うが、本人は毎回楽しみにしているのだ。これに対して一部の人は排除にしようとする意見を持っているのには驚いた。当面様子待ちということで終わったが、ゲームの上では多少の間違ひはあるものの、一生懸命なのだから受け入れてこそ自治会健康麻雀クラブではないかと思ってしまう。

★何しろ大らかな麻雀を通して交流を楽しみ、認知症予防に繋げる健康麻雀であってもらいたいと願うばかり。

●二年度（H30.9~2019.8）は、初年度の目標に次のことを加えて臨んでいる。

- ①役満の目標に加えて振込み回数を減らすことに挑戦すること。
- ②麻雀のデータの記録に振込み回数も記録すること。
- ③麻雀の判らないルール等について何時もインターネットで調べること。

半年の結果は次の通り

- ①四暗刻聴牌1回のみ。役満は出る確率が低いので挑戦することが大事。振込み回数の記録は今年からであるが、ゲーム数に対する振り込みは少ないと感じる。
- ②振り込み回数を記録することで、麻雀は振り込まなくてもマイナスになることが実証された。

H31.3.8 現在、652ゲーム中振込み48回（放銃1回－ゲーム22回、放銃2回－ゲーム5回、放銃1回＋ゲーム16回、**放銃率7%**）、**放銃0回－ゲーム21回（3%）**であることが記録された。

- ③符の計算はゲーム途中で問題になることがしばしばあったので、麻雀連盟の符の計算について初めて勉強する。

麻雀交流風景から見えるもの

この1年半の健康麻雀クラブ運営を見てきて気になるところがある。それは、例会の運営に当たっている一番若い**事務局長に「おんぶにぎっこ」で負担が掛かり過ぎていることから、負担軽減のために会長に次のようなことを進言した。**

★例会の茶菓子は廃止して自分で用意すること。

★大会の賞品も廃止すること。

★各人が出来るところから運営に参加すること。

また、次のことについて私の意見も添えた。

★島町自治会健康麻雀クラブは、老人のボケ防止の健康麻雀で会員を募り自治会会員の交流の場としてオープンしているので、実際に少しボケの人も参加して迷惑を掛けているが、家族にすると本人が好きな麻雀で自治会館に遊びに行っているだけでも安心しているところある。それ故に健康麻雀クラブに迷惑をかけることは目に見えているが、地域での見守りの一つとしておおらかに受け入れていきたいものです。私達も地域の皆さんに支えられているのでお互い様だと思っています。

★和了宣言があったら他人が確認するのは当然ですが、誰かが和了したと宣言するや、他の人が自分の配牌を投げるように崩してしまう人がいるのでエゲツナイト思うことしばしばです。ここは職場の掛け麻雀ではなく、自治会の交流の場なので、黙って自分の配牌を伏せるだけでよいのです。（郷土の会 岡村）

三回目の国士無双を達成！



私が会員になっている、「島町麻雀倶楽部」は自治会区域の会員相互の親睦及び脳活性化トレーニングを図ることを目的に平成27年7月4日に結成された。倶楽部の活動は、「賭けない、飲まない、吸わない」を大原則とし、さいたま市の長寿応援活動の一環として、毎週金曜日の午後に島町自治会館で行っている。

我が家の断捨離で麻雀牌を捨てることになったので「島町麻雀倶楽部」に寄贈したところ、会員が少ないのでと誘われて、平成29年9月から参加するようになった。ボケ防止の健康麻雀なので参加するには何か楽しい目標を立てなくてはと思い、楽しみながら役満を出すことを目標に掲げてカメラを持って参加し、役満が出たら写真に撮り、エッセイの一本でも書けたらと決め込んでいた。

会員は、初心者はおらず、それぞれの方が定年退職するまで会社等で楽しんできた人が多く、上手な人ばかりで手ごわい仲間である。いざ麻雀卓に着けば、配牌の流れを読み取りながら、自分が上がるためにいろいろと頭を使い、3人の相手はどんな上がりを考えているのかを読みとらなくてはならないので、判断力と決断力が問われる。ここがボケ防止に繋がっていくのであろう。

●2017/9/8は、二回目の活動日である。子の時に一、九牌等が8枚あったので、物は試しと思って、国士無双を狙ったら、引き牌がよく次から次に入ってくるので要らない牌はどんどん捨てていく。外の3人は新人の私が国士無双を狙っているとは多分読んでもいないだろうし、私も上がれないと思っているので最後に一筒が頭になって、「北」待ちで聴牌した時に、捨て牌の場を見れば二枚出ており、残り一枚では無理だと思っていたのでハラハラドキドキすることも無かった。国士無双の出現割合0.043%（2325回に1回）で確率は高い。ここでまさかの最後の牌「北」を上手が振り込んでくれた。この時は興奮してしまい、手の内の牌を開いてみなさんに見てもらった。間違いなく国士無双で上がったことが判った時は皆さんも驚いていたが、私は思いも寄らず早く役満の写真が撮れたことの方が嬉しかったことは言うまでもない。

●2018/4/20の一回戦目の親の時に国士無双が聴牌したので、手が震えるほど上がれるかどうかワクワクしていた。誰も国士無双を聴牌しているとは気が付いていないので、案の定、老練の岡部さんが「發」を振り込んでくれた。前は興奮もしなかったが、今回は親の聴牌なので興奮してしまった。



●201/11/22日、最初に運量あったのは、2回戦目に一盃口デンデンでの当たりを見過ごし、チートイに切り替えドラ待ちで子供の満貫を勝ち取ったことだ。その勢いが続き、3回戦の親の時、風・字・1と9牌が8枚あったので、国士無双に挑戦しない手はないと、考えてチャンターの含みを残しながら、真ん中の牌を切り一万、南、九筒がトイツになった。チャンターに持って行くことも考えたが、上がれなくてもいいやという気持ちで九筒を頭に、南を切って押したところ、最後の発を引き牌して「九万」待ちで国士無双が聴牌した。下手の大橋さんはリーチしているが九万を切っているの誰かがそれを見て振り込むのではと考えていたら、下手がリーチ故に振り込んでくれた。これで国士無双上がったのは三回目であるが、h30/4/20岡部以来の事で嬉しかったことは言うまでもない。

●私の性格でどうせ楽しむならば、どうしたら自分らしい楽しみ方が出来るのか、参加した当初から模索してきた。

1、データ麻雀で行くことにして記録し統計を取り始める

2018.9~2019.8 私の島町麻雀クラブ記録

2017.9	試合数A	ゲーム数B	振込数C	振込率D	勝敗数E	勝率%F	得点数G	トップ数H	トップ率%I
2018.8	172回				97勝75敗	56	3858	54	31(56)
2019.8	227回	1260	92	0.073	128勝99敗	56	5149	75	33(59)

2、出現率500/1の以上の役の達成率回数表を作成

		1	2	3
Wリーチ	528回/1	h30/7/20ツモ	h30/8/31宮崎	
小三元	666回/1	h30/3/23山崎		
混老頭	1250回/1			
三色同刻	2000回/1	h31/4/2柴田	R1/7/5柴田	
二盃口	2000回/1	R1/6/7ツモ	R1/8/9ツモ	
チャンカン	2000回/1	R1/10/18宮崎		
三連刻	2500回/1	R1/10/18宮崎		
四暗刻	2040回/1			
国士無双	2325回/1	h29/9/8平田	h30/4/20岡部	R1/11/22大橋
大三元	2564回/1			
四喜和	8333回/1			
字一色	12500回/1			
三カン	20000回/1			
清老頭	55248回/1			
地和	63290回/1			
緑一色	90909回/1			
九蓮宝燈	222222回/1			
天和	330578回/1			
四カン	427350回/1			

※目に見えない「運を育てる」方向で麻雀を打っている。点を線にするゲームなので麻雀は和了のしか方が問題で、私は出現率500/1の以上の役の達成を目指している。達成率表を作成して見ると、如何に難しいものか手に取るようにわかる。頭を使いながら楽しむことが認知症予防に繋がっていると信じている。

麻雀日記 2019.9~2020.8

2020.8.28 ●冷房や麻雀囲むマスク顔 ●先例を忘れ振り込む夏の卓

★今日の主だった感想は次の通り

①何と言ってもきょうの5時からの安倍首相の記者会見である。先日のインターネットで学者が明日は安倍首相が辞任するのでその記事を書いてほしいと新聞社から頼まれていることをインターネットで投稿していたので本当だろうなと思って、その記者会見が待ち遠しかったことは事実である。それから記念すべきは私が島町自治会麻雀クラブに参加して丸3年となることである。そんな中、自治会館に集まって来たのは、添田、岡部、阿部、宮崎、岡村、大橋の6名である。そのために2人抜けと言うことになる。

②今日も前半2回は配牌も引き牌も良く、子の跳満、親の7700点を確保して2回戦で269点でトップも2回取る。後半2回は配牌が良かったものの、引き牌のリズムが狂ってしまい、3回も振り込んでしまった。不注意によるところ大なり。それにしても子の跳満2回上がっていることは運量があったと言える。トータルで144とプラスで終わったことから、8月分もプラスで締めることが出来た。

③今日の4回戦を振り返ると、今回も配牌、引き牌よく運量があったが、後半2回戦は、他家が調子づいてきたことからリズムが狂いだす。今日も後半は引き牌が悪く、上がりを最初からあきらめて国士無双やチャンタを狙うも思い通りには行かずに挫折したことが2回あった。

1回戦東風戦なので振り込まず堅実に手堅くいことにして、目立ったところもなく打点も小さいながら積み立てたら119点でトップとなってしまった。1回戦は振り込まないことが大事。

2回戦この回は配牌、引き牌がよく雲量に恵まれていた。印象に残る子の跳満
ホンイツ・發・白・西・ドラ2



親の時にリーチして7700点上がり、ここでもトップを確保して+150に終わった。



3回戦最初からリーチの親に満貫を振り込んでしまう。これも裏ドラが付いてしまった事が痛かった。そこで奮起してその分を子の跳満で取り返したが、皆さんも調子よく積もられてしまい、最終的に-48に終わった。

トイトイ・中・ドラ3で子の跳満



4回戦この日も配牌は良かったが引き牌が続かず、筒子清一色の聴牌が3段目に入ってからでもそれも8筒で待つか9筒で待つか迷ったが、8筒は場に出ているので、場に出ている9筒で待ったところ、すぐ8筒を引いてきた。選択間違い。結局聴牌のみに終わる。もう一つは上手が5満を切ったので筋を読んで8満切ったらシャボン8満待ちだった。一本取られて終わった。最終的に2回振り込み-79に終わった。

★今日の試合結果

①振込 3 (-12000、-5200、-3900)

② 4戦 2勝2敗+1 4 4に終わる

1回戦 6ゲーム+1 1 9 振込み 0

2回戦 6ゲーム+1 5 0 振込み 0 子跳満 12000

3回戦 7ゲーム-4 8 振込み 1 親満貫-12000 子跳満 12000

4回戦 6ゲーム-7 9 振込み 2 -5200 -3900

★今日の反省点は

●今日は待ちを間違えたのは8筒か9筒にするかで迷い9筒で待ったのが良くなかったのは、8筒で待てば直ぐ積もった。この失敗をこれまでの印象に残った事例から学ぶと、8筒待ちにして2回とも積もって満貫となっている。

●トイトイ行くかチートイで行くかで迷って、トイトイに行き失敗。チートイツイシャテンの場合はどんなことがあってもチートイツで行くべき。トイトイだと聴牌が遅れる。

●萬子のホンイツで上手から5満が出たのでチーして8満を振ったらシャボン待ちの八萬にやられたことが悔やまれる。

2020. 8. 21 ●配牌と引き牌の良き晩夏かな ●冷房や耐えて耐えての東風戦

★今日の主だった感想は次の通り

①東京都で新たに258人の感染を確認 重症者は3人減って33人とか。相も変わらず第2波の感染は続いている。そのために参加者もいつもの添田、岡部、宮崎、阿部、岡村の5人である。今回は一人がお休みできるので時間的な余裕が持てる。今日は最初から東風戦であるから振込みには注意を払ったので24ゲーム中1回の-3900で終わった。それに引き替え、今日は配牌が悪くても引き牌良しで子の満貫を4回上がりトータルとして+318に終わった。

②みなさんどんな手で上がるのかと観察していると意外にも安い手で上がる人もそれなりに入る。自分としても最後聴牌しなくてはと思って白をポンして聴牌してノーテン罰金を払わずに済んだこともあった。それだけ雲量があったともいえる。また、雲量のある時は振り込まないことも確かだ。今日はドラを抱えて何回も下りた。

③今日の4回戦を振り返ると、何しろ配牌よりも引き牌が良く運量があったと思ったのは字牌や一・九牌が8種9牌あったので国士無双を狙い、中牌を切り出して行ったら字牌が重なり出し筒子に絞ってしまったところ、知らぬ間に一鳴き聴牌で子の満貫を上がり、国士無双はどうしたんですかとみなにからかわれてしまった。今日は雲量に恵まれたことは確かだ。

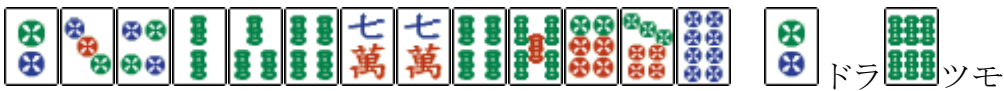
1回戦東風戦にも拘わらず、最初の親の3本積み、次の親が3本積み、次の親は1回のみの時間切れでラス親の私には廻って来なかった。最初の親の積りと次の親の積りで振り込まなくてね-100以上だったが、3番目の親の時に子満貫を上がってトータルよゲーム中-26で終了。

リーチ・ツモ・イーペーコ・ドラ2の子満貫

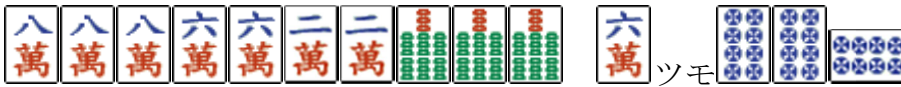


2回戦も同じ席で変わらず。配牌も引き牌が良かったこともあって聴牌も早く、振込みは0で子満貫上がり2回を上がり6ゲーム中+230でトップとなった。

リーチ・ツモ・タイヤオ・ピンフ・ドラ1の子満貫



トイトス・3暗刻の子満貫



リーチ・ツモ・チートイ=6400



3回戦場所も代わり、配牌も引き牌も良く、振込みもなくこまめに上がったので4ゲーム+56で終わった。

4回戦の配牌は意外と悪くかったが、引き牌の良さでカバーしてきた。特に一・九牌や字牌が8種9牌もあったので国士無双を狙い、ドラ筋の中牌から切り捨てていったところ、北北、發發、西西と対子になりだしたので国士無双を諦めて筒子に集約していったところ、引き牌も良く、手始めに發をポンして、筒子で聴牌した。

ホンイツ・一気通貫・發で子の満貫



★今日の試合結果

①振込1 (-3900)

②4戦 3勝1敗+318に終わる

1回戦9ゲーム-26 振込み0 子満貫8000
 2回戦6ゲーム+230 振込み0 子満貫8000 子満貫8000
 3回戦4ゲーム+56 振込み0
 4回戦5ゲーム+58 振込み1 -3900 子満貫8000

★今日の反省点は

- 一・九牌、字牌、風牌が多い時は、最初から国士無双・チャンタに挑戦した。引き牌も良かったので、それらの手も次第にピンフに変化することも多かった。引き牌索子に筒子来るか選択を迫られて一度読み違えて聴牌出来なかった。
- トイトイ行くかチートイで行くかで迷い1索を切ったのが失敗で、その1索を温めていれば四暗刻聴牌していた。一・九牌を捨てる時も場の状況を読むことが大事。
- 3900 振り込んだのも振りテン聴牌にしくななかったことや、ワンチャンス牌だったので無理して降ってしまったことが悔やまれる。

2020.8.14 ●盆休み四人で囲む東南戦 ●ボヤキ出る運なき牌や盆休み

★今日の主だった感想は次の通り

①東京のコロナ新規感染者389人で先週の462人下回ったものの感染者は増え続けている。コロナの事やお盆休みの中の例会であるあるから、何人参加してくれるかと思っていたところ、驚くなかれ、成立ギリギリの4人岡部、宮崎、阿部さん達と私だけである。クーラーを掛けながらの広い部屋の中の一卓で麻雀するのは初めての事でもある。最初は会長の添田さんも遅れて来るのではないということから東風戦で行っていたが、連絡もないので東南戦に切り替え、最後は締め切り時間もあるので東風戦に戻して4回戦(東風戦

2回、東南戦2回)で今日のゲーム終わったが、これまではどこかでお休みがあったのでホッと一息つけたが、ギリギリで東南戦を行うのはシンドイ物がある。

②東南戦だと長丁場なので、この前、自分が親の時に私が安い手で上がったら、何だかんだケチを付けた岡部さんも今日は、私にいったことも忘れてしまい、どんどん安い手で上がっていた。だから人の上がりにはケチなど付ける物でないの。他の皆さんも安い手で上がっているそれでよいのだ。岡部さんを観察していると、私が捨て牌を遅れると、文句を言うが、自分の時とか外の人の方は何も言わない。こういう性格だと思っているので合わせているが、エゲツナイ。

③今日の4回戦を振り返ると、何しろ配牌が悪かったが、我慢しながら引き牌で形を作るので三段以降に聴牌することも多く、無理して上がろうとするので1回戦、2回戦で6回も振り込んでしまった。東南戦では負けても盛り返す機会があるかと思えば、意外と負け癖が突いてしまうので中々勝てない。それでも東南戦では2回戦ともプラスに終わったが、東戦は最初に大きく負けると最後までたたってしまう。トータルとして4回戦36ゲームで-185に終わった。

1回戦(東風戦)も先週から引きずっていた場所なので、精神的にダメかと思ってしまったことがその通りに出てしまった。6ゲーム中3回振り込み(-8000、-5200、-3900)トータル-227で終了。

2回戦(東南戦)も同じ席で変わらず。配牌が悪いが引き牌が良かったこともあって中段以降に何とか聴牌に持ちこんだ。3回振り込み(-2000、-4800、-3900)子満貫上がり1回で何とか12ゲーム+19で終わった。

リーチ、ツモ、表ドラ1、裏ドラ1の子満貫を上げる。頭の三面待ちで3万を積もる



3回戦(東南戦)で場所代わり、配牌も引き牌も良くなりだす。振り込み0で子満貫上がり1回で12ゲーム+27で終わった。

南南の萬子のホンイツで2と5万待ちで、2万を積み、子満貫を上げる



4回戦(東風戦)ここでは最初に振り込んだら挽回のチャンスもないので振り込まないように注意する。振り込み0、6ゲーム-4で終わった。最後は皆さん安上がりの連発だった。

★今日の試合結果

①振込6 (-8000、5200、-3900、-2000、-4800、-3900)

②**4戦 2勝2敗-185に終わる**

1回戦6ゲーム-227 振込み1-8000 -5200 -3900

2回戦12ゲーム+19 振込み1-2000 -4800 -3900 子満貫8000

3回戦12ゲーム+27 振込み0子満貫8000

4回戦6ゲーム-4 振込み0

★今日の反省点は

●一・九牌、字牌、風牌が多かったのが国士無双・チャンタに挑戦したが、途中から流れが変わりチートイツからトイトイに変化させたものの聴牌止まりだった。引き牌の流れが

変わりそれに向けて手作りを再生するのも難しい。

●とにかく配牌を見てどういう手作りをするか決めても、流れが変わり、とんでもない聴牌となってしまうのも麻雀の面白い所なのであろう。

●極力振り込まないようにしているが、勝負している時は仕方ない。

2020. 8. 7 ●夏枯れや運量もなき麻雀牌 ●リーチされて捨て牌を読む団扇かな

★今日の主だった感想は次の通り

①東京のコロナ新規感染者462人と1週間前と同じ状況の続く中での例会となった。休んでいる人も多い。その中で平田さんが添田さんに辞めたいとの連絡があったが、みなさん休んでいる人が多いので、会員は継続してもらうことになったとの報告あり。先日、近藤さんに会った時も、奥さんが3密を考えてダメ出しとか言っていたので今日も参加していない。また、前回、途中、参加した大橋さんも今日は参加していない。本日も岡部、阿部、添田、岡村、宮崎の常連組5名参加である。

②今日の5回戦を振り返ると、**最初から4回戦まで西側の同じ場所で、配牌・引き牌も最悪の場所で振り込まないことを心掛けるも、**自分の甘さもあり、リーチに対し一枚白が切れていたの外に安全牌がなく止も得ず捨てたら一発で子満貫に振り込む。もう一度の子満貫はダメ聴牌三色に振り込んでしまった。振り込んだのはこの2回だった。5回戦目に場所が変わって配牌も引き牌も良く、親満貫も上がりトップも確保できたが最終的トータルでは-209で終わった。

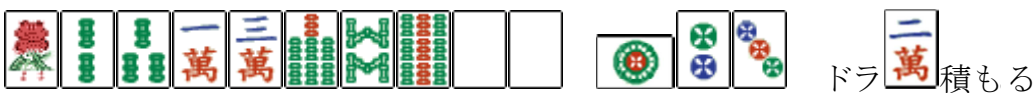
1回戦から配牌・引き牌も最低の場所で中段までメンツウも出来ない。上手の添田さんがリーチしても先に安全牌を切っていることや、筋を読んでも切る牌がないので、場に一枚白が出ていたので、**白を捨てたら一発の子満貫-8000を振り込む。**-27に終わる

2回戦も配牌・引き牌も最悪は続き1回戦目と同じ状況が続く。下手の阿部さんが**ダメ聴牌の三色でドラを抱えていたので子満貫-8000を振り込む。**他家の積り満貫や跳満などを被ったこともあって-152に終わる。

3回戦も配牌・引き牌も最悪は続き状況が続く。今回も振込み0でも-70に終わる

4回戦も配牌・引き牌も最悪は続き状況が続く。今回も振込み0でも-160に終わる
岡部さんが親の時に何とか状況を脱したいと思いで自風北を鳴いて1000点で上がった
ら、彼が嫌味を言いだす。「賭けているのではないから手作りで行くべきだ」という。それ
に対して添田さんも「人それぞれの考えがある」と、宮崎さんも「積り癖をつけるために
上がったのだから」と援護射撃してくれる。**とにかく人の上がりにケチをつけるなんて最
低の人である。**自分の親をさっと流されたことへの嫌味であろうが、常識に掛ける。そん
なこともあっても振込み0で-160に終わる。最後にこの場所はダメだからと代えてと
言って一回休憩を入れる。**逆に他家に付きがあったと言える**

5回戦は、これまでの場所と打って変わり配牌よし、引き牌よしで最初から親で三本積む。
最初はチャンタ、三色、ドラ1で積り6000を確保、



2回目はリーチ・ツモ・ピンフ・ドラ・裏ドラ **親満貫を確保**



残りの試合は振り込まず流すだけにしてトップをキープして+200で終わった。

★今日の試合結果

①振込2回 (-8000、-8000)

②5回戦 1勝4敗-209に終わる

1回戦5ゲーム-27 振込み1-8000

2回戦5ゲーム-152 振込み1-8000

3回戦4ゲーム-70 振込み0

4回戦6ゲーム-160 振込み0

5回戦6ゲーム+200 振込み0 親満貫12000 **トップ**

★今日の反省点は

●一・九牌、字牌、風牌が多かったので国士無双・チャンタに挑戦したが、全部中途半端に終わってしまった。5回戦目の最初はツキも巡り来てチャンタ三色で何とかものにする事が出来た。

●今日は配牌も引き牌も最悪で1回戦から4回戦までは中段までメンツウが揃うことも少なかった。振り込まないことに心掛けたものの、2回も子満貫に振り込んでしまった。1回戦目の白を捨てたのは不用心だったことは否めない。次回から注意しよう。

●聴牌したのもう一巡待つことにしたら積もってしまった。リーチをしていたら一発ツモ、裏ドラ3枚だった。教訓として聴牌したらリーチ。

2020.7.31 ●梅雨晴れや子満貫にてトップ賞●梅雨晴れやダブルも積もる運のつき

★今日の主だった感想は次の通り

①東京のコロナ新規感染者463人という中での麻雀例会も当初、岡部、阿部、添田、岡村、宮崎の5人だったので、宮崎さんが体育部のラジオ体操の準備をするということで4人の東風戦が始まった。途中から大橋さんがひょっこり顔を出したので6人参加の2人抜けして試合を運ぶことになった。

②今日の4回戦を振り返ると、最初から最後の試合まで配牌もよく引き牌も良かったことに尽きる。シャボン待ちでリーチして何回も上がったのでみんながまたシャボンと嘆く声が聞こえる程運がついていたことは間違いない。そのため手作りをする余裕もあり、満貫を5回上がることができ、5勝0敗でそのうちトップを4回確保できた。

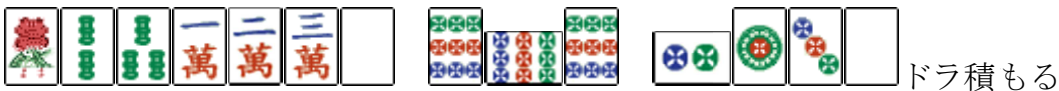
1回戦目は最初から阿部さんに-5200を振り込む。これも最初の方で5・8筒と続けて捨ててからリーチしたので、捨てる牌もないので筋を詠んで2筒を捨てたら1・3筒のカンチャン待ちだった。それでも今日は運が強かったので子満貫でより返し+38でトップとなってしまった。

2回戦目は、2ゲーム目の子の時に5索を積み、9索を切ってダブルリーチ (1/526)。

3順目に8筒を積み子満貫。振込みもなく+をキープ



3回戦目の親の時に配牌が悪いのでチャンタを目指したら引き牌が良く順調に白単騎待ち聴牌。白を積み、チャンタ・三色・ドラドラで親満貫となった。振込みもなくトップキープする。



4回戦目は、勝ち席をキープできたので配牌も引き牌も良く親満貫を1回上がる。この時も役なしのドラ含みのシャボン待ちのリーチでツモ上がりしたことから、みんな感心していた。それなりに運があったと言えるにそれなりに何回か上がったので余裕で振込みもなくトップをキープした。

5回戦目は、最初の親の時にチートイ、タイヤオ、ドラドラの時に3・4・5万のイシャテンの時に4万を引き、5万を捨てて3万待ちのダマ聴牌。下手が振り込んでくれたので親満貫を上がり、後は流すだけでトップをキープして試合は終わった。



★今日の試合結果

①振込1回 (-5200)

②5回戦 5勝0敗507に終わる

1回戦5ゲーム+38	振込み1-5200	子満貫トップ
2回戦6ゲーム+49	振込み0	ダブルリーチ子満貫
3回戦4ゲーム+137	振込み0	親満貫12000 トップ
4回戦5ゲーム+208	振込み0	親満貫12000 トップ
5回戦4ゲーム+75	振込み0	親満貫12000 トップ

★今日の反省点は

●今日は配牌も引き牌も良かったので余裕の手作りができたが、ドラ暗刻で沈没してしまった時もある。そういう時は最初に一面通もあるとそれにこだわってしまい、切り替えが出来なかった。三色をよく狙ったが来ないのでシャボン待ちが多かったが、運が良かったので上がった。悔しかったのは初戦の筋読みをして見事に引っかかったことである。

次回から印象的な上がりと満貫も書き残すことにする。簡略記号は以下。

★三元牌⇒ハナシ (發・中・白) ★字牌⇒トキナシ (東・北・南・西)

★暗刻⇒3一★カンチャン⇒3〇★ペンチャン⇒1レ、9レ★万・索・筒⇒マ・ソ・ツ

★一メンツウ⇒5～、1～、7～ ★対子⇒44、33、ハハ、ナナ、トト、キキ

2020.7.24 ●窓開けて麻雀を打つ梅雨曇り ●梅雨曇り東待ちならず小四喜

★今日の主だった感想は次の通り

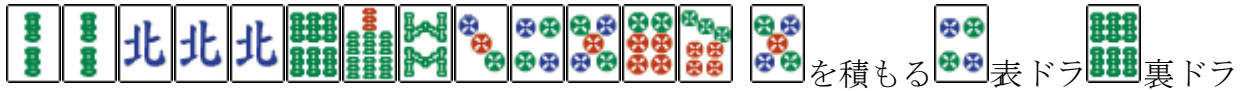
①コロナ感染防止のために当初は参加者4人(岡部、阿部、岡村、宮崎)でスタートしたので、東南戦をすることにして2回の途中で添田さんが途中参加となったので東風戦に戻した。途中で散歩帰りの近藤さんが立ち寄ったが、奥さんに止められているとのこと。片柳さん、柴田さんも同じで、山崎さんは独り身なので当分蜜を避けたいとのこと。当分お休み。従って当面は5人ほどしか集まらないが、8月も開催することになった。

②今日の4回戦を振り返ると、最近印象に残る手作りを楽しむことにして徹しているので、安い手が聴牌しても高い手に代えられるときはそれに向けて切り替えている。今日は配牌も引き牌も悪くリズムに乗れることはあまりなかったと言える。

東南戦の1回目は、阿部さんの調子が良く親で積もられたことや、私も-5200、-2900と放銃したこともあって-168とラストになってしまった。東南戦の2回目を開始したが、途中

で、添田さんが来たので東風戦に切り替えた。善戦はしたものの-5800、-2000と放銃して-56に終わった。東風戦2回目は、場所も変わったこともあってリズム感が出てきて親で満貫を上がり、-2600の振込みだけで済んだのでトップをとり140で終わった。

●本日の印象に残った1は、9索を切ってリーチし、258筒の三面待ちで2順目に5筒を積もる。リーチ、ツモ、表ドラ1裏ドラ1親満貫



●本日の印象に残った2は、安かったが鳴きのジュンチャン3色を目指したが1索を待っていたが来なかったので三色のみに終わった。



東風戦3回目は、親の時に満貫を上げられたが、振込みもなく、踏ん張って-3に抑えてゲーム終了した。

●本日の印象に残ったラストランは、チートイツ崩れのトイトイにして正解だった。東が出れば、満貫だったが5索を上手が振り込んだ。



★今日の試合結果

①振込5回 (-5200、-2900、-5800、-2000、-2600)

②4回戦 1勝3敗-87に終わる

1回戦 9ゲーム-168	振込み2-5200	-2900
2回戦 5ゲーム-56	振込み2-5800	-2000
3回戦 6ゲーム+140	振込み1-2600	親満貫 12000 トップ
4回戦 4ゲーム-3	振込み0	

★今日の反省点は

●今日は配牌も引き牌も良くなかった。国士無双を狙っていたら南が全て捨てられてしまった、789の三色を狙っていたが8万に9万がつけばドラ三で聴牌となったが、9万を全部捨てられてしまい、聴牌できず。小四喜狙うも東待ちならず。

2020.7.17 ●梅雨空やマスクして打つ雀士かな ●プラスして麻雀終わる梅雨の空

★今日の主だった感想は次の通り

①コロナ感染防止のために参加者6人と少なく、添田、岡部、柴田、阿部、岡村、宮崎の6人が参加。二人抜けて行い、最初に私と柴田さんがぬける。それから一回、連続、1回抜けて皆さん4試合となった。岡部さんと宮崎さんが抜けている時にジャン台ゴムをベニヤ板に両面テープで張り付ける。これでジャン台ゴムも動かなくなる。お疲れ様でした。

②今日の4回戦を振り返ると、3回戦まで配牌と引き牌が悪くだましましだましの試合であった。2回戦目は子の満貫を上がったので振込みに注意して何とかプラスに持って行った。特に3回戦は岡部さんが親の跳満積もの連発したため、振込み1000点一回振り込んだだけだが終わってみれば-211一番負けになってしまった。ツキまくる人には逆らないのが鉄則。4回戦は席も変わり、最初の親は嫌いなのでどうなるかと思ったら配牌良し、引き牌よしで親満貫を確保したことが繋がり3本場まで積んだ。最後に印象に残る手とり

目指すことを口癖にみんなに宣言していたのが、その通りの形で子の跳満で締めくり、皆さん全員マイナスで308の一人勝ちとなった。

③岡部さんの三ペコには恐れ入りましたが、そんな中、最終戦で盛り返してプラスに終えたことや、最後の印象に残る納得の上がりが出来たことはツキに尽きるのではと思った一日だった。

●本日の印象に残ったラストランは9万を切ってリーチし、369索の三面待ちで4順目に3索を積もる。リーチ、ツモ、タンヤオ、ピンフ、ドラ3で裏ドラなしの子の跳満



★今日の試合結果

①振込4回 (-2600、-2000、-1000、-1000)

②4回戦 2勝2敗+38に終わる

1回戦6ゲーム-105 振込み1-2600

2回戦4ゲーム+46 振込み1-2000 8000子満貫上がり

3回戦6ゲーム-211 振込み1-1000

4回戦5ゲーム+308 振込み1-1000 12000親満貫 12000子跳満 **トップ**

★今日の反省点は

●当初配牌も悪く1・9字風牌が多かったので9索から捨て牌にしたら次のメンツが揃い789万メンツ、789筒メンツで3色を狙うも、捨て牌をみると3色が出来ていたことが判ったので、3色が出来そうなときは、関係牌の見切るまで持つことが大事と痛感。

●出来合いの3色で1・3・5索5索を切って2索の引っ掛けを狙ったが、上がれなかった。対面の聴牌が2索暗刻ではどうにもならない。この時に3・5索にして5索のクッキを待つのが良いのかと思ってしまった。



●対子が最初から3組あり。後はテンテンバラバラなのでチートイツを狙うも切る牌が重なるというリズム感の悪さがありどうにもならず。捨て牌をみると上がれているのには悔しかった。

2020.7.10 ●窓開けて換気よき梅雨麻雀●梅雨深しシャボン待ちツモ三暗刻

★今日の主だった感想は次の通り

①コロナ感染防止のために参加者七人と少なく、添田、岡部、大橋、柴田、阿部、岡村、宮崎の7人が参加。三人抜けの麻雀となったので必ず試合、お休み試合の連続であった。天気も悪いので高齢者は家族の声を聴いて不参加としたのではとみなさん話していた。コロナ関係が明るくなれば参加者も増えるが、当面はこの人数で行くしかないであろう。今日ものマスク顔で行う。フェイスシールドを皆さん持ってきたが曇るので掛ける人はいなかった。

②今日は4回戦を振り返ると、ツキがあったと言える。1回戦目からリーチの子に振り込んだら裏ドラが乗り満貫で沈み込んだものの、子満貫で取り返し、リーチ棒などを確保したら+21でトップをなってしまった。

2回戦目も子満貫を振り込んだが直ぐに子満貫を積もって取り返したが、子の跳満を積も

られた分のみがマイナスとなってしまった。

3回戦は振込みゼロ、子の清一色の満貫で上がり、それをキープして+82でトップを確保した。この索清一色も7・8筒で聴牌していたが、聴牌を崩して索一色に切り替え成功。

4回戦目は子の満貫を2回上がり、それ守り+163でトップとなった。

●ここで印象に残るのはシャボテン待ちで積り三暗刻の場合は、必ずリーチを掛けるのがセオリーである。前回の時も同じスタイルでつもった。この時は4索と東は残り各1枚だった。



リーチ・4索を積り、三暗刻、白=子の満貫で終わった。東を積もれば跳満である。

★今日の試合結果

①振込2回 (-8000、-8000)

②4回戦 3勝1敗+233に終わる

1回戦5ゲーム+21	振込み1-8000	8000子満貫上がり	トップ
2回戦4ゲーム-33	振込み1-8000	8000子満貫上がり	
3回戦4ゲーム+82	振込み0	8000子満貫上がり	トップ
4回戦5ゲーム+163	振込み0	8000子満貫2回上がり	トップ

★今日の反省点は

●何故か配牌に恵まれたことは確か。引き牌もそれになりに来たことも事実で、それをうまく使い、要らない牌の切り方さえ間違えなければ上がったことは言うまでもないが、一度、ドラ8万8万6万と並んでいた時に5筒が浮いていたので、6万を切るか5筒を切るかの選択の時に、ドラを雀頭にすれば6万を切るべきだったのに、5筒を切ったので流れが筒に来てしまったので上がれなかった。ドラを雀頭にするときには近隣牌をすべてカットすることが懸命である。

●素晴らしいメンホンホンのリャンシャンテンで上手がリーチを掛けた時に筒が捨てられていないので、持ってきた筒を押さえて対子の風牌を切って行った。結局、リーチ者は上がれず。リーチの手の内を見れば、筒は関係なしだったので、この時に強気で行けばメンホンで上がっていたことが判った。ここが麻雀の面白いところだ。

●字牌と一・九牌ばかりで中に対子になっているのものが3組あったのでチートイツを目指していたらイシャテンまでいったが、誰かが槓したら対子の發がドラになり、すぐ發を持って来て暗刻になったので対子をポンポン泣き出し7・8の6・9索待ちにしたが上がれずチートイツのイシャテンの場合は目指したらそれで押し通すことが肝心。

2020.7.3 ●梅雨最中麻雀を打つマスク顔●梅雨深む筋引っ掛けに相手のる

★今日の主だった感想は次の通り

①コロナ感染防止のために4、5、6月と3ヶ月間麻雀例会もお休みだったので、参加される皆さんは待ち遠しかったのではないかと思います。私も続けていないので忘れてしまった部分もあった。宮崎さんの報告だと、須藤さんがディサービスに通うことになり、その先で麻雀教室もあるので退会した旨報告があった。須藤さんは3/27に卓を囲んだのが最後であった。何か寂しさを感じる。

また、コロナ感染防止のためにマスクして、フェースシードを付けながら麻雀に臨んだ。

フェースシードはクラブで会費から買ったとか。今日は会費3ヶ月分1500円を収める。換気を良くするために硝子戸は開けっ放しで行う。

②今日は2卓で1人抜けである。参加者は、片柳、添田、柴田、宮崎、岡部、近藤、大橋、阿部、岡村の9人参加。今回も最初8人だったので南風までという意見もあったが東風戦で行くことになった。

③3ヶ月ぶりの麻雀なので岡部節も余り聞かれず、全体的に和やかに試合も終わった。特記すべきことは5回戦目柴田さんが親の時に跳満を連続2回続けられて三ペコになってしまった。私も振込みゼロで-175となってしまった。それでも6回戦目で盛り返して最終的に+50で終えたのは良かった。

④ゲーム運び、3ヶ月休んでいたこともあって自分打ち方も少し進歩したと思ったのは、上がり優先ではなく、高い手作りを楽しむべく挑戦し続けたこと。一例、二枚替えれば、清一色になるので聴牌を止めてイシャテンで終わったことや、3色同順待ちへと手作りを進めたことも何回も会った。ペンチャンカンチャンは確実に3色同順になるが両面待ちの場合は難しい。今回も積もったものの反対側か来たので跳満が5200点に終わった。

⑤今日はリーチの岡部さんが6・9筒が場に捨てられていたので、筋読みとして3筒を捨てたら引っかけのカンチャン待ちに見事にはまってしまった。そのお返しにシャボンの8筒と3索で待っていたところ、私が事前に6索を切っていたので岡部さんが筋を和んで3索を振り込んでくれた。彼はベテランなのでこうもしないと勝てないし、振り込んでくれない。

⑥振込みも6回、この満貫上がり3回、トップ3回でプラスに終わったのはツキがあったと言える。皆に感謝。

★今日の試合結果

①振込6回 (-2900、-2000、-5200、-1300、-2600)

②6回戦 3勝3敗+50に終わる

1回戦4ゲーム-90	振込み2-2900	-2000		
2回戦4ゲーム+66	振込み1-2900		8000子満貫上がり	トップ
3回戦4ゲーム-31	振込み1-5200			
4回戦4ゲーム+133	振込み1-1300		8000子満貫上がり	トップ
5回戦4ゲーム-175	振込み0			
6回戦5ゲーム+147	振込み1-2600		8000子満貫上がり	トップ

★今日の反省点は

●配牌に恵まれず、引き牌も良くなかったかのであるが、字牌と一・九牌を利用した。国士無双を狙いつつもチャンタに切り替えたが、中々聴牌せず上がり放棄も何回見合った。一度成功したのは、4回戦目の7・8・9索以外は字牌と風牌で聴牌して、頭の西を積もって満貫となったのはラッキーだった。



●相手がリーチしているのに自分もイシャテンで良かったのでど真ん中の6万切ったらシャボンにやられてしまった。乱暴な打ち方なり。

2020.3.27 ●役作り楽しむ卓の弥生かな●一気通貫待てど上がれず桜散る

★今日の主だった感想は次の通り

①今日は参加者も5人、宮崎さんは最初と最後の始末のみで参加せず家に帰ることになった。そこで麻雀倶楽部もコロナウイルス感染拡大のため「さいたま市公共施設利用中止している」ので、4月は休むことになった。宮崎さんが会員に連絡してくれるとのこと。

②珍しく1卓で始まる。添田、阿部、岡村、須藤で始まるも、東風戦ではなく、のんびりと半荘麻雀の東南戦で麻雀を楽しもうということで始まった。添田さんも安倍さんも東風戦は最初に振り込んだら挽回が利かず落ち着かないと思っていることを口に出していた。しかし、大勢の人が参加すると待つ人も出るのでどうしても時間制の東風にならざるを得ない。しかし、確定した人数だったら半荘の東南風戦だと挽回するチャンスもあり、手作りを目指すことも出来るのがメリットでもある。私もそう思う。

③今日は一般ルールの半荘を楽しむことにして始まった。メンバーがおとなしい人たちなので、認知症気味の須藤さんや私などが少し遅くても誰も何も言わないし、須藤さんに対しても優しく言葉を掛けて、本当に老人健康麻雀は時間を気にせず半荘を3回楽しんだ。

④雰囲気良かったので須藤さんもご機嫌でそれなりに楽しんでいて、須藤さんの上がった時の嬉しそうな笑顔がいい。こういうメンバーだと私なども勝ち負けなどどうでもよく自分の思いのままに手作りに挑戦することしばしばだった。

⑤手作りに挑戦し満貫の手作りをしてリーチで臨んだが、須藤さんのカンチャンを一発で振り込んで親満貫となり、その分だけが負けこんでしまったものの、須藤さんの満面の笑みを見ている方が楽しかった。今日も奥さんが連れてき時に、嫁さんがお父さんがどれだけ楽しんでいるのか心配していたというので、ここにきている時は十分楽しんでいるから心配しないでと教えてあげた。前回も参加したのに何も言わずに帰ってしまって、帰り道が判らなくなり、奥さんが探し回ったという。

そのような須藤さんもここにきて麻雀をしている時は最高の幸せを味わっているのではないだろうか。昔は奥さんを鳴かせたことも想像できるが、年老いて麻雀が出来て本当に判ったと思う。須藤さんから麻雀を取ってしまったら何もない人生になってしまう。須藤さんのことを理解したうえで付き合ってもらえたらともう。

⑥今日はいろいろな手作りに挑戦した。一气通貫、3色同順、トイトイ、チートイツ、チンイツ、ホンイツ、チャンタ、ジュンチャン、三暗刻等時間を掛けて手作りに徹したが上がったのはホンイツ三色同順のみであった。

⑦健康麻雀とはのんびりとこういう麻雀の事を言うのであろう。現役時代の職場の麻雀の癖を持ち込む人もなく、上がりと言えば自分牌を投げる人もなく、確認して終わっていた。須藤さんが上がりを数えられないと教えてあげ、和やかな雰囲気麻雀だったので疲れることもなく終わった。

★今日の試合結果

①振込3回 (-2000、-12000)

②3回戦 1勝2敗-104に終わる

1回戦 11ゲーム+21 振込み1 -2000

2回戦 10ゲーム-6 振込み0 8000子満貫上がり

3回戦 11ゲーム-119 振込み1 -12000親満貫振込み、

★今日の反省点は

●配牌に恵まれず、引き牌も良くなかったかのであるが、何とか聴牌したので先制リーチして上がれず。親の時に他家に運量があったので満貫で上がられ親被りになったのが痛かった。

●今日は半荘三回戦だったので夢を追いながら手作りを楽しんだが、**一気に通貫ドラドラ頭23ピンフで出やすい牌なのでリーチしたら、親のカンチャン待ちに一発で振り込んでしまった。これは仕方ないことで相手が須藤さんだったので良かった。**

●今日は満貫になる手が一度きたのでリーチして裏ドラが付きも一回上がったのが良かった。須藤さんに振り込んだ分だけがマイナスになった。

2020.3.20 ●運量の低さに泣きの彼岸かな ●春風や一気に通貫つらぬきぬ

★今日の主だった感想は次の通り

①今日は珍しく1卓で始まる。添田、岡部、阿部、岡村、近藤で始まり、私が最初に抜ける。須藤さん後から来て見ていると思ったら、一言も口きかず帰ってしまったので最後まで5名で行う。宮崎さんはセットと終了のみ来る。須藤さんも一言話してくれればよいのにと。今度からこちらから声を掛けることにする。

②何しろ一択だと落ち着いて麻雀を打てる。マイナスになっても皆さんも高い手出来ず、私も振込み3回も満貫やリーチには振り込んでいないが、親の時に満貫を積もられて沈没することもあった。それでも甘いのはトイトイで開いているのに、字牌を切る時は相手が何をしているのか推測せず何となく切ってしまったことが一回あった。

③一回役として上がったのは99索97654321万234筒の8万待ち、ドラなしリーチである。この時も發發と99索のシャボンだったので234筒が出来る前だったので迷った。發を持っていたら暗刻になっていたのにと。残念なり。

④満貫も上がれないように配牌も引き牌も悪くてどうにもならなかった。マイナスになったがそれなりに楽しめた。

⑤1回戦目岡部さんのゲームを後ろで見えていたら国士無双が聴牌していたが一万待ちも上が、下家が頭で使っていたのであがれず。ここが麻雀の面白いとこだ。こういう風景は良くある。

⑥昨日、**七対子と対々狙いの識別や七対子について土田プロ雀士の講義を勉強したので実践に思っていたので、**四対子にもならずじまいで終わってしまったが、役牌があったので対々を狙うも上手くいかず、役牌のみの上がりとなってしまった。

999索87766中中 鳴き發發發で8万での上がりとなった。

★今日の試合結果

①振込3回 (-1500<-5200<-2900)

②**6回戦 3勝3敗-127に終わる**

1回戦5ゲーム-31 振込み0

2回戦0ゲーム+10 振込み0

3回戦7ゲーム-80 振込み1 -1500 親、

4回戦6ゲーム+20 振込み0

5回戦5ゲーム-90 振込み2 -5200 子、2900 親

6回戦4ゲーム+75 振込み0 **トップ** リーチ一気に通貫上がる (57/1)

★今日の反省点は

●配牌に恵まれず、引き牌も良くなかったかのであるが、何とか聴牌したので先制リーチして上がったが、親の時に他家に運量があったので満貫で上がられ親被りになったのが痛かった。

●今日は夢を追い過ぎてはいけないが3色同順を3回程狙うも一度も上がれなかった。7面待ちのイシャテンが来ないのだからどうにもならず我慢の子だったが、今日の麻雀は落ち着いて楽しめた。その一番は一气通貫を自分の思いで作りに上げて上がったことだ。

●今日は満貫になる手が一度も来なかったのでリーチ棒を3回程持って行かれたように雲量がなかった。

2020. 3. 13 ●運量も下降気味なる弥生かな●花も咲く対面積もる国土無双

★今日の主だった感想は次の通り

①お休みする人も多く、参加者は添田、岡部、片柳、近藤、阿部、須藤、岡村、宮崎等8人のフル回転である。それ故に6試合となってしまった。回転が速いのでゆっくりと休む暇もなかった。全員がマスクしての麻雀である。皆さん家にも仕方ないので参加する人のみ。宮崎さんが麻雀牌を洗ってくれたのでサラサラして滑りやすい。こういう地味な事もやっていただいて感謝あるのみ。

②今日の主役は何と言っても**宮崎さん親の第二試合の国土無双ツモ上がりである。**私も同じ卓にいたのでその被害を受けてしまった。それまでに私が親の時に宮崎さんから親満貫と子満貫を振り込んでもらったので、順調に行けばトップかと思いきや、落とし穴は宮崎さん親の国土無双ツモ上がりで私も8千点返上したことで、宮崎さんにトップを奪われてしまった。彼も役満を上がった割には勝ち点が少ないと愚痴っていたが、私に二万点振り込んでいることや、皆さんにツモ上がりされたので仕方ない。私は国土無双をやっているなどと気が付かず「北」を抑えていたら、待っていたのは「發」であった。

③今日はどうしたことか一回戦から引っ掛け筋に二回とも親満貫と7700点を振り込んでしまった。スタートから読み切れなかったが相手が上手に引っ掛け筋を活用したことに拍手である。一回専科-284であったがそんなに悔いは残らない。

④振り込まないことをモットーにしているが、**今日は何と7回という記録を作ってしまった。**(-12000<-7700<-2000<-1300<-1500<-12000<-2000) これではプラスにはならない。

⑤**満貫も一日で6回も上がるという記録も作った。**満貫はドラや裏ドラが付くので意外とリーチしたり、相手に関されたりするとドラが増えやすく満貫に結びつくことがある。今回も888万ドラ6789索単騎待ち發發發 鳴きポン3万3万3万となったところ、誰かが槓をしたので3万がドラになってしまい、9索が出てドラ6と發で子の跳満となってしまった。

⑥今日は振込みも多かったが、満貫も多かったので何とか勝敗では**4勝2敗に終わったが点数的には-242に終わったことは、皆さんも調子が良く私が下降線に入っていると感じてしまった。**

★今日の試合結果

①振込7回 (-12000<-7700<-2000<-1300<-1500<-12000<-2000)

②6回戦 4勝2敗-242に終わる

1回戦7ゲーム-284 振込み2 -12000 親、-7700 親

2回戦5ゲーム+14 振込み0 親満貫と子満貫上がり

3回戦5ゲーム+69 振込み1 -2000子、子満貫上がり
4回戦6ゲーム-200 振込み3 -1300子、-1500親、-12000親
5回戦4ゲーム+20 振込み1 -2000子、子満貫上がり
6回戦6ゲーム+139 振込み0 トップ親満貫と子満貫上がり

★今日の反省点は

●配牌に恵まれず、引き牌も良くなかったかのであるが、何とか親で聴牌したので先制リーチして上がったが、他家に運量があったので満貫で上がった割合には点数的には一に終わった。雲量のない時はダマ聴牌で上げれる手作りをするか、ダマ聴牌で押し通すことも大事。

●今日は夢を追い過ぎてはいけない。今回も国士無双三シャンテンの時にチャンター行くチャンスもあった。それを無理して夢を追いかけて失敗。捨て場を見ればチャンターで行けば聴牌していたことが悔やまれる。

●今回もそうだったが自分が満貫の時は一步も引かず押し切ることが大事今回も親がリーチしたので下りたものの後で上がり牌を見たら関係なかった。こういうことが多いので、自分が満貫だったら振り込んでも良いから勝負が正解である。

2020.3.6 ●先制のリーチ舐められ落ち椿●夢を追い振込み一発惚けの花

★今日の主だった感想は次の通り

①前回に3月例会をするかどうか、議論になったが休みたい人は休み、参加したい人は参加するという結論に達してからの初日である。参加者は添田、岡部、片柳、近藤、阿部、大橋、須藤、岡村、宮崎等9人である。一人抜けの2卓で行う。宮崎さんは麻雀牌を洗うため2回抜ける。私も1回抜けたので、それを利用して堀崎郵便局に書き初め封筒を買に行き、家に届ける。

②ゲームを始める前に、さいたま市のコロナウイルス感染拡大を防ぐため公共施設の利用規制のお願いや、感染防止のためのマスク、手洗いの励行等の実施要請文書が来ているので、会長が読みあげて例会に参加する会員の皆さんに手洗い等の協力と呼び掛けた。今日は全員がマスクしてゲームに臨んでいる。私と須藤さんが忘れたら宮崎さんが持ってきてくれた。

③岡部さんが戻ってきた途端に口うるささが始まる。これが彼の個性なので仕方ないにして周りの人は気分の良いものではない。人のことなどお構いなしに自分の言いたいことのみ先行するので聞いていても醜い。自分が先に終わると人の後ろにいてどうのこうのと言うので、こちらも適当に合わせているが彼と試合する時は気を使う。私の親で両面待ちなのでリーチしたら、彼の後リーチに一発でチートイ跳満を振り込んでしまう。最後も親リーチして待っていたら鳴きのホンイツに振り込んでしまった。先行リーチだったので残念ながら仕方ない。

④最終回の四回戦目は時間が中途半端だったので南場まで初めて行ったが、雲量のない私には辛いものがあつた。最後の親リーチでリヤメン待ちも上げれず相手の鳴きホンイツに振り込んでしまった。

★今日の試合結果

①振込3回(-2000子、-12000子の跳満、-8000子満)自分が親でリーチして相手に振込。

②4回戦 2勝2敗-45に終わる

1回戦6ゲーム+68 振込み1 -2000子
2回戦5ゲーム+75 振込み0 トップ
3回戦7ゲーム-87 振込み1 -12000子跳満振込み、8000子満貫上がり
4回戦4ゲーム-101 振込み1 -8000子満振込み

★今日の反省点は

●配牌に恵まれず、引き牌も良くなかったかのであるが、何とか親で聴牌したので先制リーチしたものの3回とも後リーチに振り込んでしまった。雲量のない時はダマ聴牌で上げられる手作りするか、1回は2・8等で安いのでカンチャンでリーチしたが相手に振り込んでしまった。カンチャンの場合も両面になるまで待つか、スジ引っ掛けする以外は、ダマ聴牌で押し通すことも大事。

●今日は夢を追い過ぎてもいけない。鳴き清一色一気通貫でみんなに知られてしまい聴牌のみに終わってしまった。二鳴き聴牌だったが頭になる牌の引き牌がなかったのは運量がないことでもある。一気通貫が出来ているので他の牌で待っていれば上がったのでそれで良かったのかとのかと言えれば何とも言えない。

2020.2.27 ●親満へ振り込む対面マスク顔●麻雀もプラスで締める二月かな

★今日の主だった感想は次の通り

①今日は例会を始める前に、新型コロナウイルス肺炎が流行しだしたのでさいたま市からも何やら集会やクラブ活動についても最新の注意を払うために暫く様子を見て下さいとの通知が来たので、麻雀倶楽部としてどう対応するか、事務局長の方から説明があった。それぞれの意見を聞きたいというので、私は埼玉県で武漢から帰ってきた親子二人だけが感染しているのであって身近に迫っていることも考えにくいし、これまでも体調の悪い人は自主的に休んでいるように自己責任で参加したい方は参加できるようにした方が良いのではと意見を出した。様々な考え方が披瀝されたが、三月休むかどうか、やりたい人だけでやってもいいのではと二つの意見の賛否を行ったら半々なので、休みたい人は休むことにして参加したい人は参加するという形で三月も実施することになった。また、3/12の大会は延期して後日行うことになった。ここで判ったことは、皆さん色々な見方をしていることを知りただけでもよかったと思っている。

②岡部さん、堀内さん、遠藤さんがお休みなので三人抜けの二卓で始まった。三人抜けは待つ人にとっては、無駄な時間がありすぎてしまうのでやはり一人抜けが理想化というのは一人抜けだとその人が記録などを付けることが出来る。岡部さんがお休みだったので静かな麻雀例会であった。

③今日の五回戦はで同じ卓になったマーク者の円田さんと柴田さんである。今日の配牌も悪くは無かったので、マーク者と一緒になった場合は極力鳴かず、ダマ聴牌を目指して売って来た。一番愉快だったのは、柴田さんが私の打ち方を遅いとか常に口にするので、最終戦の親の時に、99索頭(ドラ)987筒、987満、123索、13満でダマ聴牌してマンズを沢山捨てていたのでカンチャンの2満を振り込んでくれたので親満が上がったので柴田さんが悔しがっていた。円田さんの時も絶対にリーチの振込みは避けて通過した。

④今日も良く手も悪くても配牌を最初から何をすべきか決めて臨んだのでそれなりに聴牌もしたが、やはり難しいのはチートイの聴牌である。聴牌しても一度も上がれなかったが、振込みが少ないように字牌のドラもそれなりに抑えられた。

⑤須藤さんも特徴のある打ち方をする。槓は嫌いだと言ってそのまま持ちこたえて振込みもせずに終わったが、誰かが話すと俺がやっているのだからと言って怒っていた。後から須藤さんに聞いたら槓は大嫌いなのだと教えてくれた。須藤さんも3月も参加すると息巻いていた。昔は研磨機の機械をうる会社にいたとか。色々聞けばお人好しで話してくれる。

★今日の試合結果

①振込1回(-2000)子ダマ聴牌に振込

②5回戦 3勝2敗+209に終わる

1回戦4ゲーム+26 振込み0

2回戦4ゲーム-60 振込み0

3回戦6ゲーム+216 振込み0 トップ 親・子満貫上がり

4回戦4ゲーム-68 振込み1 -2000

5回戦3ゲーム+95 振込み0 トップ 親満貫上がり

★今日の反省点は

●麻雀は選択のゲームであり、良形待は⇒両面、シャボン(字牌含む)、単騎(字牌)の3種類と言われているので、今日もチートイの波が来ていたので聴牌したものの上がれず。

最初からチートイに拘りすぎて二盃口を逃す場面もあった。

●今回も字・風牌を頭にして何回かローリングまたは安全牌にしたことや、リーチ者への振込みを避けることができた。最初、聴牌の見通しがつかなかったのでポンは避け、最後は本チャンまで持って行ったことが一度あった。

●最初にタンヤオ、ピンフを狙うも配牌が悪すぎて、一色かチャンターを狙うことも何回もあり、それなりに聴牌もした。決断は早くして上がれないと思ったら諦めてベタオリに努める。

2020.2.21 ●マスクして運なし嘆く老雀士●春が来た負け老人のピンフ積み

★今日の主だった感想は次の通り

①平田さんがお休みで二人抜けの3卓ではじまった。卓を決めるのも自分であるので同じ人に何回も当たるケースも多く変り映えがしない。今日は強者の岡部さん、円田さんと二回戦、三回戦の二回も当たったが配牌も良く、二回とも独り勝ちのトップを確保してしまった。三回戦の時に残念だったのは積り四暗刻であったが振り込まれて満貫に終わったことである。とにかくこの二人の時はダマで落とすことが優先される。

②配牌の良さと引き牌の良さに今回は運があつたことは言うまでもない。役牌が来たら大事に扱ってきたので親の時に一鳴き聴牌も出来たし、一色やホンイツも状況を見ながらうてるほど余裕があつたので4勝1敗だが、振り込まず+540点で終了することが出来たと言っても過言ではない。自分にツキがある時はリーチで行くべし、相手が親の時は「ダマ聴牌で落とすべし」を実践できた。

③今回はツキの何物でもないというのは、親がリーチしたのでイシャテンなのに暗刻の東を切って下りたら最後は再度聴牌して終わったので罰金は払わず済んだが親の手を見れば当たり牌がなかったので強気で行けば上がった。これが勝負の阿ヤなのであろう。私に再度聴牌出来たことはツキがあつたことからあろう。

④今回は、1回戦は振込0で-に終わったが、残り4回戦はトップを取れたのはツキの何物でもない。須藤さんも堀内さんも元気に麻雀を楽しめて良かった。これこそが健康麻雀

なり。

★今日の試合結果

①振込なし

②5回戦 4勝1敗+540に終わる

1回戦	4ゲーム-56	振込み0		
2回戦	6ゲーム+252	振込み0	トップ	子満貫・親満貫上がり
3回戦	4ゲーム+137	振込み0	トップ	子満貫上がり
4回戦	5ゲーム+127	振込み0	トップ	子満貫上がり
5回戦	5ゲーム+80	振込み0	トップ	子満貫上がり

★今日の反省点は

●一番は、**麻雀は選択のゲームであり、良形待は⇒両面、シャボン(字牌含む)、単騎(字牌)の3種類と言われているので、**今日のチートイはすべてイシャテンで終わってしまった。積り四暗刻で聴牌したがリーチせずいたら発を振ってくれたので満貫のみに終わった。これについては素直に上がるしかないと判断して上がった。

●**東風戦なので前半のゲームで振り込まないことをモットーにしているので、リーチが掛かったら金持ち喧嘩せずの精神で押し通したことが正解だった。**選択のゲーム故に下りるのであるならばベタ下りは安全牌を使い切るべし。

●最初にタンヤオ、ピンフを狙うも配牌が悪すぎて、一色かチャンターを狙うことも何回もあり、それなりに聴牌もした。**決断は早くして上がれないと思ったら諦めてベタオリに努める。**

●今回も字・風牌を頭にして何回かローリングまたは安全牌にしたことや、**聴牌の見通し**がつかない時のポンは避ける。

2020.2.14 ●四暗刻積も判らぬ惚けの花●マーク者の中で仕留めた春の卓

★今日の主だった感想は次の通り

①**今日は久しぶりに体調が回復して堀内さんが復帰し、**大橋さんがお休みで二人抜けの三卓で始まった。堀内さんも杖を突いて参加してくれた。彼も麻雀をものすごく楽しみにしていたとか。長く休んでいたので打ち方を忘れてしまったと冗談の出る程元気に復帰されるとホッとす。みんなが金曜日を楽しみに麻雀を囲むことは老いの至福である。

②私の**「老人健康麻雀ホームページを開設しました！」**を会長の添田さんから配布していただきインターネットをしている人は、ここに島町麻雀倶楽部規約、麻雀ルール、きめごと、2017年大会、2018年大会記録も掲載してあるので見てくださいとPRさせていただいた。中には余計なお世話だと言いたげな人もいたが、大方は受けてくれた。

③**今日は何と言っても須藤さんの四暗刻ツモ上がりの特記する。**須藤さんも参加には奥さんの送り迎えが必要で、加入して四年経とうとしているが参加者の名前も判らず、場所決めの場合、自分がくじ引きで引き当てた場所も判らないほど記憶力が減退しているが、自分以外のことにはお構いなしが須藤さんの麻雀であり、ツキに乗ると凄い迫力がある。今日も自分で四暗刻を積もったことも判らず、周りの人が数えて驚いてしまった迫力ある麻雀だった。

④**5回戦23ゲームで運量も配牌も良かったこともあって振込み1(ダマ聴牌-2000)で+238で終わった。**2回戦は-2000振込みで-80。3、4、5回戦は運量があったのでこ

こで子の満貫2回、トップ2回を確保することが出来た。

⑤今日は同じ卓になったベテランの円田さん、岡部さんをマークして何回もダマ聴牌で聴牌させ待ち受けた。この二人の時はリーチしても単純には振り込んでくれないので引っ掛け、風牌や字牌で待ったこともあった。**5回目の最終にリーチを1索と中のシャボンにしたら、岡部さんが一発で振り込んで私がトップでゲームが終わった。**二人をマイナスに追い込んだのは痛快だった。

⑤何しろ**配牌を見て上がれそうもない時は、一色にするか、チャンターにするか選択する回数が多く、危険な中牌を最初から切って行ったので今日も2回成功した。**全局の半分はベタオリするゲームであるから、リーチが掛かったら現物優先で下りて、次に風・字牌・一と九牌で下りることは一番の安全策である。

★今日の試合結果

①振込1回(-2000)

②**5回戦 4勝1敗+238に終わる**

1回戦4ゲーム+6	振込み0		
2回戦5ゲーム-80	振込み1	-2000	
3回戦4ゲーム+88	振込み0		
4回戦5ゲーム+98	振込み0	トップ	子満貫上がり
5回戦5ゲーム+126	振込み0	トップ	子満貫上がり

★今日の反省点は

●一番は、**麻雀は選択のゲームであり、良形待は⇒両面、シャボン(字牌含む)、単騎(字牌)の3種類と言われているので、**今日は単騎待ちが2回あった。チートイの西ドラ待ちで聴牌のみ、タンヤオの三索待ちで聴牌のみに終わった。1索と中のシャボンはリーチ一発で和了した。単騎待ちになったのはローリングが出来た事に由来する。今日はこれを念頭に何回も頑張った。

●**東風戦なので前半のゲームで振り込まないことをモットーにしているので、**チートイ聴牌で2万待ちだったがドラが来たので、ドラを捨てていけばタンヤオ、チートイの一発で積もれたのにとすると、残念なり。**選択のゲームに失敗した。**

●最初にタンヤオ、ピンフを狙うも配牌が悪すぎて、一色かチャンターを狙うことも何回もあり、それなりに聴牌もした。安全牌に変化させたこともあった。**決断は早くして上がれないと思ったら諦めてベタオリに努める。**

●今回も字・風牌を頭にして何回かローリングまたは安全牌にしたことや、聴牌の見通しがつかない時のポンを避けた。

2020.2.7 ●親リーチ逃げるが勝ちや寒気来る ●振込みのなき麻雀や春めきぬ

★今日の主だった感想は次の通り

①今日は久しぶりに体調が回復して遠藤さんが復帰したので二人抜けの三卓で始まった。本日は遠藤さんのお菓子の差し入れ、また、堀内さんの奥さんからの退院報告とお菓子の差し入れがあったので、感謝していただいた。堀内さんはリハビリが終えたら参加するという。会員が元気に復帰されるとホッとします。

②**5回戦26ゲームで運量も配牌も良かったので久しぶりに振込み0で終わった。**2回戦はリーチ棒をマイナスしただけ、3回戦に親に連続でして上がられて、その分を取り返すこ

とが出来なかった。それでもトップ3回を確保できたことは運量があったとしか言いようがない。4、5回戦は運量があったのでラス親で上がれることが出来た。

③一回抜けたので須藤節で知られている須藤さんの麻雀を後ろから眺めていると、須藤さんも自分のことしか考えていないことから、自分の聴牌優先で下手にはどんどん鳴かせている傾向有り、他の2人が嘆いていた。自分以外のことにはお構いなしが須藤であることを実感する。牌の捨て方は皆さんと変わらない。

④今日はベテランの柴田さんをマークしているのでダマ聴牌で向かっているが、リズムに乗れなくてぼやいていた。同じ卓になった時はマイナスが多かったようだ。私のリズムが遅いというのも悔しさが滲んでいるとしか思えない。今日も自分の時は長考している場面もあったが誰も何も言わない。プロの麻雀を見ても誰も言わない。ましてや老人健康麻雀なのだから黙って見ることが望ましい。

⑤何しろ配牌を見て上がれそうもない時は、一色にするか、チャンターにするか選択する回数が多く、危険な中牌を最初から切って行ったので何回か成功した。**全局の半分はベタオリするゲームであるから、リーチが掛かったら現物優先で下りて、次に風・字牌・一と九牌で下りることは一番の安全策である。**

⑥ゲームも後片づけが終わってからゲーム中の宮崎さんに26ゲーム振込み0で終わったと伝えると、岡部さんがしみつたれた麻雀という。添田さんが人にはそれぞれの楽しみ方があるのだからとたしなめていた。添田さんの言う通りで、ここで麻雀して楽しむだけでは、それだけのことで終わってしまう。**健康麻雀ゆえに麻雀を深く楽しむにはそれぞれが自分なりに工夫するところに奥行きがあり認知症予防につながっている。**一期一会の世界を自分なりに楽しむことは麻雀に限らず大切なことである。

★今日の試合結果

①振込0回

②5回戦 3勝2敗+383に終わる

1回戦6ゲーム+88 振込み0 トップ 親満貫上がり

2回戦4ゲーム-10 振込み0

3回戦6ゲーム-86 振込み0

4回戦5ゲーム+201 振込み0 トップ

5回戦5ゲーム+190 振込み0 トップ 子満貫上がり、親満貫上がり

★今日の反省点は

●一番は、**麻雀は選択のゲームであり、良形待は⇒両面、シャボン(字牌含む)、単騎(字牌)の3種類と言われているので、**今日は親でドラ西の単騎待ちで2順目に積り親満貫となった。今日はこれを念頭に何回も頑張った。

●前半のゲームで**振り込まないことをモットーにしている**ので、**567筒77ドラ12456789万で3万待ちの聴牌**をしていたが、雲量のある親がリーチしたので9索を引き牌したので、見渡すと場に筋も一枚も出ていないことから、親の捨て牌1、2万を下りた親はチートイ8索の単騎待ちだった。**満貫なので勝負して置けばと悔やまれる。**

●最初にタンヤオ、ピンフを狙ってそれに拘ったので最後に2枚替えれば清一色だったが雲量のある親だったので両面待ちで上がったものの安くなってしまった。捨て牌を見たら清一色で上がっていた。残念。

●今回も字・風牌を頭にして何回かローリングまたは安全牌にした。

2020. 1. 31

★今日の主だった感想は次の通り

- ①今日は休まずの三卓だったのでホッとする暇がなかった。
- ②6回戦の前半は運量も配牌も良かったので連続でトップを確保できたが、後半3回は配牌も運量もなくなってしまったことが判ったので守備に回って正解だった。というのは、2回振り込みが、2000点と2600点だったので、それからは振り込みに注意した。振り込みなくても親のツモ等から-111、-52となることもあったが最終的に+60で終了できた。
- ③岡部さんの話だと、今日は須藤さんの運量があって3人(山崎-62、近藤-149、岡部-18、須藤+229)がマイナスにさせられたという。須藤さんの麻雀は自分のことしか考えていないので、上がったのを岡部さんがきちんと数えたら凄い手であったという。高齢者なのだからお互いに足りないところは手を貸して楽しむことが健康麻雀そのものであり、和気あいあいと試合できたことは嬉しい限りだ。須藤さんが元気に参加され真剣に麻雀に取り組んでいる姿を見ていると、麻雀こそが生きがいになっていることを実感する。
- ④今日はベテランの柴田さんや添田さんがチョンボをして罰金を払った。私もこれまで同じような3回チョンボしている。やはりリーチする前に見直し点検をしないとチョンボになってしまう。リーチや捨て牌の長考を待つことも必要。ここは急かし過ぎる。
- ④後半3回戦は配牌が悪かったのでチャンターを最初から目指したので中牌は最初から切って行った。それでも運量がなく聴牌出来なかったが下りるのは楽だったことは言うまでもない。中でも112233万77889筒99索で聴牌したが、9筒は3枚切れなので止む無くリーチして6索を積もって和了したが悔しかったのは、9筒が切れていなかったら黙っていて跳満で出現率500回以上が出ると期待していたが運量がなかった。
- ⑤今日も宮崎さんは要注意で振り込まないように心が積もられることも多かったことは言うまでもない。後半は三面待ちやシャボンでリーチしても上がれなかった。

★今日の試合結果

①振込2回(ダマ聴牌子-2000、ダマ聴牌子-2600、)

②6回戦 3勝3敗+60に終わる

1回戦6ゲーム+148	振込み0	トップ	子満貫上がり
2回戦4ゲーム+28	振込み0	トップ	
3回戦6ゲーム+68	振込み1	トップ	ダマ聴牌子-2000
4回戦4ゲーム-52	振込み0		
5回戦4ゲーム-111	振込み0		
6回戦4ゲーム-21	振込み1		ダマ聴牌子-2600

★今日の反省点は

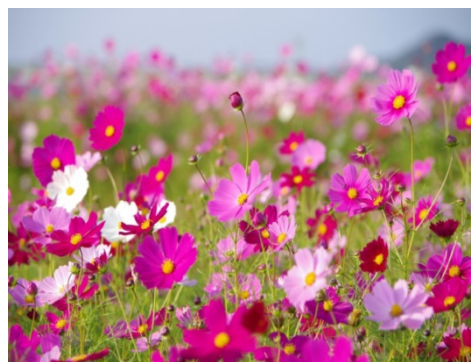
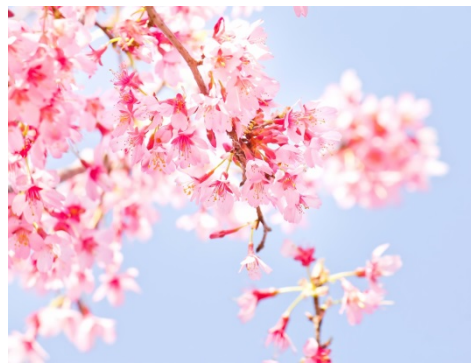
- 一番は、麻雀は選択のゲームであり、対子が4組あったので配牌の悪さを頭に入れて七対子を二回目指したが、聴牌することはなかった。
- 今回は親の時に、配牌も悪く引き牌も悪いので親もあっさり流されてしまった。逆らっても仕方ないのでこちらもおりに力を入れてきた。
- 今回は早めに風・字牌切りを行う。中盤からは風・字牌を頭にして聴牌にこぎつけたこともあった。頭のローリングが利くこともある。

●今回は子・親の一色には手を貸さなかった。

●中・發のシャボンリーチだがもちもちで和了できなかった。

麻雀俳句 (島町麻雀倶楽部)

- ★リーチせずカンチャン積もる寒椿
- ★麻雀は一期一会や年新
- ★麻雀に我をつらぬく去年今年
- ★東風戦早い者勝ち去年今年
- ★一月や負け老人の独り勝ち
- ★何よりも怖い東々初日の出
- ★カンをして他家喜ばす冬の空
- ★無駄花のション牌切る冬厳し
- ★ロンされるよりベタ下りの去年今年
- ★ツキもなく麻雀を打つ師走かな
- ★単騎待ち筋も通らぬ睦月かな
- ★盲牌にヌカ喜びの春の卓
- ★春が来た我に麻雀運つきぬ
- ★リーチ棒戻らぬばかり春は去る
- ★桜咲く両面待ちは即リーチ
- ★春は去り大三元の白足りぬ
- ★春寒し安牌尽きて白を切る
- ★一色には手を貸さぬも春は来ぬ
- ★振りテンに気づかぬリーチ老いの春
- ★聴牌と思ひしやチョンボ春寂し
- ★麻雀に来ると冴え出す惚けの花
- ★ピンフのみそれで嬉しき手毬花
- ★冷房や直ぐ熱くなる老雀士
- ★熟慮の牌も通らぬ炎暑かな
- ★一索かと思えば一筒夏惚けぬ
- ★九索カン国士も終わる冷夏かな
- ★夏雀士役満続き神がかり
- ★念願の役満積る秋の暮
- ★ダマテンでマーク者落とす秋楽し
- ★喰い過ぎてリーチに負ける秋悲し
- ★麻雀は川の流れや秋桜



★四暗刻実らぬ秋や臍をかむ

★聴牌へ頭を使い秋暮れぬ

2020. 1. 31 郷土の会 岡村昭則

2020. 1. 24

★今日の主だった感想は次の通り

①一人抜けの三卓で始まった。

②岡部さんと須藤さんの言い合いがあった。須藤さんの麻雀は自分のことしか考えていないので岡部さんが注意すると、それが気に食わないらしく声を荒げてしまう。岡部さんも須藤さんの状況を知っているもイライラして注意してしまうのだろうが優しく語り掛ければ違うのではと思う。須藤さんが元気に参加され真剣に麻雀に取り組んでいる姿を見ると、麻雀こそが生きがいになっていることを実感する。

③今日は二回目までは配牌も引き牌も良かったがみんな安上がりだったので二回トップになったものの、**三回目は聴牌する度に中切り(同じ宮崎さんに)となりリーチに2回-24000を振り込む。**本当に巡り合わせが悪かった。しかし、ここで振り返るとリーチしているのだから振る牌があったことを思うと自分の甘さがある。

④5回戦目チャンターを最初から目指したので中牌は最初から切って行ったところ、最後ピンフの**9筒ができれば高目聴牌したので、思わずリーチしたが最初に6筒を切っていることに気が付かずチョンボの親の罰金を払った。**その回は挽回して親満を取り返したので何とかトップを確保して+に終わった。

⑤6回目も親の時に子には跳満を積もられて6千点の出費が痛かった。偶然性による戦いで**トップ三回3勝3敗-48に終わったが、それほど沈み込んだわけではないので次回に繋げたい。**

①**振込4回(ダマ聴牌親-5800、トイトイ子満-2560、子跳満-12000、親り-12000)**

②**6回戦 3勝3敗-48に終わる**

1回戦6ゲーム+55	振込み1	トップ	親ダマ振込み5800
2回戦6ゲーム+79	振込み1	トップ	子トイトイ振込み2600
3回戦6ゲーム-165	振込み2		リーチ子跳満と親満振込み
4回戦4ゲーム-10	振込み0		
5回戦5ゲーム+66	振込み0	トップ	親満貫上がる
6回戦4ゲーム-73	振込み0		

★今日の反省点は

●一番は、**麻雀は選択のゲームであり、七対子に二回のチャンスあり、一回目は子リーチ七対子ツモで6400を和了、二回目は七対子崩れのトイトイで北と7筒待ちで7筒が出れば、三連刻であるが、聴牌のみに終わった。た。七対子のドラ待ちの時はダマ子6400、親9600ダマ聴牌で行く。他の時はリーチ。**今回の七対子処理は成功。

●**最終回の親の時に、跳満の親被りが痛かった。これがなければプラスに終わっていたと思うと残念。**

●今回は中が場に1枚出ているので切ったらみんな裏目に手でてしまった。二回とも宮崎さんに振り込む。風・字牌切りには要注意。

●**今回は子・親の一色には手を貸さなかった。**

●メンホンで上がることに夢中で積もっているのに忘れてしまったことがあった。**シャボ**

ンの場合で風牌がある時はリーチ。

2020. 1. 17

★今日の主だった感想は次の通り

- ①今日は当初6人お休みで二人抜けの二卓で始まった。途中でグランドゴルフの添田、片柳さんが参加し3卓となる。
- ②須藤さんも何時も試合が終わると話しかける人もいないので、一人でぼんやりしているので積極的に話しかけるも耳が遠く伝わらないことも多い。丸2年も経つが私の名前も覚えていない。それでも元気に参加され真剣に麻雀に取り組んでいる姿を見ていると、麻雀こそが生きがいになっていることを実感する。
- ③近藤さんも自分が終えたので、他の人の後ろで教えるので、「ニヤニヤ見ているだけにして」と注意する。その人が間違っただけで牌しようとも注意しないことが他の相手に対する礼儀である。麻雀が終わってからあそこはこうだったのではと解説するようにしてもらいたいものだ。
- ④今日も配牌の良さと引牌の良さの偶然性による戦いで、運量もあつたことから **5勝1敗 + 4 5 5** と勝ち上がった。初麻雀からポーカーフェイスで打つように心掛けたので、終わってみれば、自分の過信から子満貫を振り込んでしまったが上出来であった。
- ⑤今日は配牌もそれなりに来ていたことや、引き牌もよく運量があつたので順調に行っていたが、自分のミスで2回振り込んでしまった。このミスは振り込まなくてもよいミスなので今後、修正する必要あり。一番印象に残るのはカン2筒4筒5筒と持っていたので5筒を捨て3筒待ちの三色にしてリーチしたら下から3筒を振り込んでくれた。裏をみたら頭の9筒がドラとなり親満貫となったことだ。

★今日の試合結果

- ① **振込2回** (ダマ聴牌七対子ドラドラ子満-8,000、親鳴きホンイツ-7,700)
- ② **6回戦 5勝1敗 + 4 5 5 に終わる**

1回戦 7ゲーム + 4 1	振込み0	トップ	
2回戦 6ゲーム + 1 7 6	振込み0	トップ	子満貫上がる
3回戦 7ゲーム + 7 8	振込み0	トップ	子満貫上がる
4回戦 5ゲーム + 1 3	振込み1		子満貫上がる 子満貫振込み
5回戦 6ゲーム + 2 0 1	振込み0	トップ	親満貫上がる 2回
6回戦 4ゲーム - 5 4	振込み1		親鳴きホンイツ-7,700 振込み

★今日の反省点は

- 一番は、**麻雀は選択のゲームであり**、七対子はイシャテンの時に捨て牌の切り方が悪くて聴牌を逃し、また、暗刻2つになってしまい、七対子を崩して何とか聴牌のみに終わった。残念。**七対子のドラ待ちの時はダマ子6400、親9600ダマ聴牌で行く。他の時はリーチ。**
- 最終回は自分が勝っているならばダマ聴牌であることを心掛ける。**今日は待ちが1索4索なのでリーチを掛けたらダマ聴牌の人にドラを振り込んでしまった。この場合リーチを掛けずにドラが来たら下りることを心掛ける。
- 親がホンイツをしているので、まだ聴牌していないだろうと読んで同じ色の牌を切ってしまった。7,700を振り込んでしまった。**親の一色には手を貸さないことが鉄則。**

2020. 1. 10

★今日の主だった感想は次の通り

- ①今日は飯泉さん、遠藤さん、堀内さんが、お休みで、一人抜けの三卓で行った。
- ②何と言っても嬉しいのは、皆さんが新しい年を元気に迎えられ今日参加したことである。特に須藤さんが元気に参加され真剣に麻雀に取り組んでいる姿を見ていると、麻雀こそが生きがいになっていることを実感する。家族もここで楽しんでいることには安心していられる。地域老人の交流を図る観点からも健康麻雀は素晴らしい。
- ③岡部さんは自分が終わってしまうと、終わっていない卓の後ろに来て、あれこれと口出しをするので、私も宮崎さんも黙って見なければだめだと念押しする。これがこの人の性格なので仕方がないところもあるが、麻雀が終わってからあそこはこうだったのではと解説するようにしてもらいたいものだ。
- ④配牌の良さと引牌の良さの偶然性による戦いであるので、運量がなければ勝ち上がれない。これは私だけではなく、ここで麻雀を一番よく知っている円田さんも今日は運量がなくマイナスばかりと嘆いていた。12月の私は運量が落ちている月だったが、12/27最後の日に何とかプラスに終えたので、初麻雀は原点に戻ってポーカーフェイスで打つように心掛けたので、終わってみれば、自分の過信から親満貫を振り込んでしまったが初麻雀としては上出来であった。
- ⑤今日は配牌もそれなりに来ていたことや、引き牌もよく運量があったので順調に行くかと思ったが、最後に落とし穴があり、三暗刻聴牌イシャテンなので親が早く3索を捨てていたので2索なしと思ってリーチに振り込んでしまった。中でも記憶に残るのは、捨て牌2索、5索（ドラ）があり、カンチャン7索9索で待っていたら下手が筋を追って振り込んでくれた。

★今日の試合結果

①振込1回（親リーチ聴牌-12000）

②5回戦 4勝1敗+174に終わる

1回戦5ゲーム+112	振込み0	トップ	子満貫上がる
2回戦5ゲーム+70	振込み0	トップ	子満貫上がる
3回戦4ゲーム+32	振込み0		
4回戦4ゲーム+45	振込み0	トップ	子満貫上がる
5回戦5ゲーム-85	振込み1		親満貫振込み

★今日の反省点は

- 一番は、**麻雀は選択のゲームであり**、七対子はイシャテンの時に捨て牌の切り方が悪くて聴牌を2回逃したが、最後は西ドラ待ちで聴牌出来たので自分で積もると思ってリーチしたが流れてしまった。**残念。**
- 何しろ東風戦なので字牌や風牌の切り方には注意しているが、逆に二枚目をチーして聴牌していたものの、リーチが掛かって聴牌崩しになったことがあった。チーして聴牌しても安いならば手の内で楽しむべきだと痛感した。
- 親のリーチには逆らうことなく下りるか、ダマ聴牌を目指すことが正解で立ち向かわないことを痛感した。**今回は自分の手に溺れた感あり。

2019. 12. 27

★今日の主だった感想は次の通り

- ①今日は飯泉さん、遠藤さん、堀内さんが、山崎さん、平田さんがお休みで、二人抜きの二卓で行った。
- ②何と言っても嬉しいのは須藤さんが元気に参加され真剣に麻雀に取り組んでいることだ。これしか楽しみがないというだけあって手作りに夢中なところがいい。家族もここで楽しんでいることには安心していただける。これであってこそ地域の健康麻雀というものだ。
- ③麻雀は配牌の良さと引牌の良さの偶然性による戦いであるが、運量がなければ勝ち上がれない。12月は運量が落ちている月だったのでどこまで落ち込むかと思っていたら、今日は何とかプラスに終えた。
- ④**クラブのルールが喰いタン先付なしの麻雀とはいえ、判らないことがある。第一鳴きに結びついていれば上がれるのに、ここはダメだということで、つつい外のルールと勘違いして今日もチョンボの罰金を取られてしまった。** この麻雀ルールもローカルルールである。今年になって、ありあり全国共通の麻雀ルールを提案したら断られてしまった経緯もある。それは何かというと、女性の加入も認めないように自分たちが職場で行ってきた麻雀そのものを持ち込んでいる方が楽しいに決まっているからであろう。規約の中にも近隣の自治会の人も加入OKになっているが、それも実現していないが、健康麻雀だからこそもっと幅を広げて良いのではと思う。
- ⑤今日も我慢の麻雀だったが最後に子の跳満で上がったのは良かった。發發發 234 筒 77 索 99 索 678 万で6索を切ってリーチしたら下家が9索を一発で振り込んでくれ、その9索が裏ドラになったので子の跳満となって最終日にやっと2勝2敗+で終わることが出来た。

★今日の試合結果

- ①**振込1回 (ダマ聴牌-8000)**
- ②**4回戦 2勝2敗+18に終わる**

1回戦 7ゲーム+13	振込み0 子満貫上がる
2回戦 6ゲーム-67	振込み1 (-8000 ダマ聴牌)
3回戦 5ゲーム-40	振込み0
4回戦 5ゲーム+112	振込み0 トップ 子の跳満上がる

★今日の反省点は

- 一番は、**麻雀は選択のゲームであり**、七対子ドラドラのチートイのイシャテンで最後まで聴牌出来なかった。最初に捨て牌を一度切り間違えたことが尾を引いた、**残念。**
- 何しろ東風戦なので字牌や風牌の切り方には注意しているが、捨て牌の場に北が一枚と思って1索と北のシャボン待ちにしてリーチしたら、北が既にないことに気が付いた。残り1索が一枚のみと判った時はショックだった。
- 今回もチートイがトイトイに変化して聴牌したものの上がれなかった。やはり選択が難しい。
- ドラなし、役牌なし、5万カンチャン待ちのダマ聴牌で両面待ちにするように頑張っていたら積もってしまった。ハプニングもあった。
- 配牌と引き牌もそれなりに来ていたと思うが、最後になって引き牌なしの苦労あり。選択は難しい。運量があればリーチだが下降気味だったので躊躇せざるを得なかった。

2019.12.20 第11回島町自治会健康麻雀クラブ大会

★今日の主だった感想は次の通り

①今日は飯泉さん、遠藤さん、堀内さんがお休みで、一人抜けの三卓で行うので、4回戦の人が5人、5回戦の人が8人という変則麻雀である。そのために成績はそれぞれの回数で割った平均点得点で順位を出す。

②今回も試合前から前回優勝者の岡部さんが圧倒的な得点で優勝したので、今回もその勢いに押されて優勝するのではないかと予想していたら、正しくその通りになった。岡部さんの今回の得点は2位、3位の人に詰め寄せられたが29点差で逃げ切って連続優勝を果たした。

③麻雀は配牌の良さと引牌の良さの偶然性による戦いであるが、運量がなければ勝ち上がれない。というのはこれまで強さを発揮してきた、添田さん、円田さん3期目に入ってから成績が低迷していることからしても見て取れる。前回からブービー賞も取り入れられて面白くなった。

④須藤さんは参加者の名前なども覚えていないが一生懸命自分なりに麻雀を楽しんでいるのだから、口うるさい岡部さんが良かれと思って口出しするのであろうが、言い争うことしばしば。岡部さんも健康麻雀なのだからゆとりを持って黙って見守ってほしいものだ。

⑤大会終了後、忘年会を開催する。そこで宮崎さんから大会のやり方を新しい方向へ提案したが、老人クラブなので、みなさん面倒なことは否定的だった。しかし、各卓のトップ同士の試合をして成績を平準化することも大会を面白くする観点からも一考に値する。手続きを簡単にするために3回までのトップ同士で、単純に4回、5回を組み合わせにすると得点数も平準化すると考えられるので、次回提案して試しても良いのではないかと。 (例：3卓の時、3回目までトップ者が8人とすると4回・5回は東・南卓で行う。西卓はそれ以外の人、トップが休みの場合は2位の一番高い得点の人を補充する)

⑥12月に入って私の麻雀は配牌悪し、引き牌悪し、運量に見放された感あり、その切っ掛けが柴田さんへの清一色に対してリーチして振込みから始まっているので、それ以降、リーチに対して振込みしないようにと心掛けたので今大会もリーチに対して振込みは無かったが、鳴き聴牌に2回、面前ダマ聴牌1回も振り込んでしまう。鳴き聴牌は2回(8000、5200)。面前ダマ聴牌は子満と痛かった。今日も相手が親の時に満貫を積もられることが多く、振込み以上にマイナスになったことが痛かった。配牌も悪かったことや、運量もなかったので挽回のチャンスもなく2勝3敗に終わった。一口に言えば運量がなく我慢の麻雀。

★今日の試合結果

①振込み3回 (鳴き聴牌に-8000、-5200、ダマ聴牌-8000)

②5回戦 2勝3敗-231に終わる

1回戦 5ゲーム-118	振込み1 (-8000 鳴き聴牌)
2回戦 4ゲーム-142	振込み1 (-8000 ダマ聴牌)
3回戦 4ゲーム+40	振込み1 (-5200 鳴き聴牌) 子満貫上がる
4回戦 5ゲーム-55	振込み0
5回戦 6ゲーム+44	振込み0 トップ

★今日の反省点は

●一番は、麻雀は選択のゲームであり、七対子をトイトイに変化させて単騎待ちになってしまい北で待ったが上がれなかった。1~9牌の真ん中だったら上がっていた。残念。

●何しろ東風戦なので字牌や風牌の切り方には注意しているが、鳴きのホンイツ聴牌に字牌を振り込んでしまった。場の特急券を付けさせないように心掛けていたが、思うようには行かない。一鳴きあり東がドラ表示牌だったので警戒せずに東を切ってしまった。

●トイトイの時に加槓してドラを増やし、そのダマ聴牌のタンヤオ、ピンフ、ドラドラに振り込んでしまった。聴牌しているのに加槓してツモ上がりを狙ったが他家を喜ばせてしまった。加槓は時と場合を考えることが必要。

●2・4、6・8の嵌張は、相手が使いやすい3や7を待つ形なので、できれば外すべきだが、それで聴牌したのでリーチせず積もるか、リヤメンにするべく待っている間に待ち牌をつられてしまった。選択は難しい。運量があればリーチだが運量が下降気味だったので躊躇せざるを得なかった。

●最初から配牌が悪く、引き牌も悪かったのが上がりに向かわず。それでも相手に積もられてこともあって振込み以上のマイナスになった。

休み	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	6回戦	計	平均	順位	勝敗
岡部	120	27	-37	65	128		303	60.6	優勝	4勝1敗
柴田	31	151	-25	17	100		274	54.8	2	4勝1敗
片柳	59	0	94	-27	146		272	54.4	3	4勝1敗
宮崎	38	-9	-134	198			93	23.25	4	2勝2敗
山崎	-18	49		-45	65		51	12.75	5	2勝2敗
添田	-13	13	119	10	-69		60	12	6	3勝2敗
円田	130	12	5	-43	-73		31	6.2	7	4勝1敗
平田	-163	79	90		7		13	3.25	8	3勝1敗
大橋	-7		51	-100	22		-34	-8.5	9	2勝2敗
阿部	-43	72	-17	-108	32		-64	-12.8	10	2勝3敗
岡村	-118	-142	40	-55	44		-231	-46.2	11	2勝3敗
近藤		-134	-146	184	-96		-192	-48	ブービー賞	1勝3敗
須藤	-16	-118	-40	-96	-306		-576	-115.2	13	0勝5敗

各大会成績得点順位表(平均点順位による)

氏名/回	R9.20	氏名/回	R12.20	氏名/回	R23.21	氏名/回	R26.20	順位	
岡部 5	738	岡部 5	303					1	昨年の優勝者
近藤 5	262	柴田 5	274					2	31.9.20 片柳 333
山崎 5	128	片柳 5	272					3	30.12.21 添田 369
堀内 5	89	宮崎 4	93					4	31.3.22 円田 236
岡村 5	71	山崎 4	51					5	R1.7.21 円田 457
片柳 5	43	添田 5	60					6	昨年の準優勝
阿部 5	39	円田 5	31					7	31.9.20 宮崎 260
円田 5	-56	平田 4	13					8	30.12.21 岡部 344
添田 5	-75	大橋 4	-34					9	31.3.22 平田 192
柴田 5	-203	阿部 5	-64					10	R1.7.21 山崎 403

平田 5	-509	岡村 5	-231					11	昨年の合計得点順位
須藤 5	-527	近藤 4	-192					12	1 位円田 915
		須藤 5	-576					13	2 位添田 640
								14	3 位岡村 443
	0		0		0		0		

各大会合計平均得点順位表

氏名/回	R19. 20	R112. 20	R23. 21	R26. 20	計	大会平均	回平均	勝 敗	勝率%	順位
岡部 10	147.6	60.6			208.2			9 勝 1 敗	90	1
片柳 10	8.6	54.4			63			6 勝 4 敗	60	2
山崎 9	25.6	12.8			38.4			5 勝 4 敗	56	3
宮崎 4		23.3			23.3			2 勝 2 敗	50	4
堀内 5	17.8				17.8			2 勝 3 敗	40	5
柴田 10	-40.6	54.8			14.2			6 勝 4 敗	60	6
近藤 9	52.4	-48			4.4			5 勝 4 敗	56	7
添田 10	-15	12			-3			5 勝 5 敗	50	8
円田 10	-11.2	6.2			-5			6 勝 4 敗	60	9
阿部 10	7.8	-12.8			-5			6 勝 4 敗	60	10
大橋 4		-8.5			-8.5			2 勝 2 敗	50	11
岡村 10	14.2	-46.2			-32			5 勝 5 敗	50	12
平田 9	-101.8	3.3			-98.5			3 勝 6 敗	33	13
須藤 10	-105.4	-115.2			-220.6			0 勝 10 敗	0	14

2019. 12. 13

★今日の主だった感想は次の通り。

①今日は飯泉さん、遠藤さん、堀内さん、平田さんがお休みで、一人抜けの三卓二時半以降は山崎さんも帰るので三人抜けの変則麻雀となる。途中で休みを入れる人もあり、変則的な落ち着かない麻雀となった。私も最後は抜ける。というのは、今日は、宮崎さんから頼まれた会員名簿に新しい二名を書き加えたら、前のように一枚に収まらないということで、私がパソコンを持ち込み、宮崎さんの資料に手を加えて何とか一覧表にして印刷も前と同じような大きさで出すようにした。これは表の縦と横をピクセルで調整して印刷範囲ギリギリまで持って行くように調整した。それを宮崎さんのUSBに登録して終わり。そこで規則とか、ルールブックも彼のUSBに移せばよかったが、パソコンを片づけてしまったから気が付いたので、名刺を渡してからメールを打ってもらうことにした。その後、メールが来たのでそれらも生の原稿で送って置く。

②今日もまた振込みしないようにと心掛けたのでリーチに対して振込みは無かったが、鳴き聴牌に3回、面前ダマ聴牌1回も振り込んでしまう。鳴き聴牌は3回(1000、1500、2600)と安かったが、面前ダマ聴牌は親満と痛かった。それよりも今日は親の時に満貫を積まれることが多く、振込み以上にマイナスになったことが痛かった。配牌も悪かったことや、

運量がなかったが、一番麻雀を知っている円田さんからダマ聴牌の子満貫を振り込んでもらったのは嬉しかった。挽回のチャンスもなく1勝4敗に終わった。一口に言えば運量がなく我慢の麻雀だった。

③麻雀は選択のゲームであり、運量に左右されるゲームである。1筒と9索のシャボンで待つか、どちらも残り一枚の時に、7索をもって来たのでカンチャン8索ドラ待ちにして9索を一枚切ってリーチしたが積もれず。シャボンにしていれば最後のピンを振った人がいた。また、裸単騎になりドラ隣の3万で待つか發で待つか迷ったが、發も一枚、三万も一枚なので發を選択したら直ぐに三万が来るという運量の無さにはがっかりしてしまった。どちらも残り枚数を数えて積もることでリーチしたが結局は聴牌のみに終わった。

④終盤の親の時は早く聴牌していないと、相手が安い上がることが多い。今日も二回程こちらがもたもたしている間に1000点で上がられてしまった。

⑤今日も見たのだが、人がロンというとすぐに自分の牌を崩してしまう人が多い。職場のお金を掛けている麻雀ではないのだから、自分の手は伏せるだけにしてもらいたいものだ。

⑥大会賞品を現金でどうかとの意見が出たが私は反対する。円田さんもお金でのやりとりはまずいという反対する。岡部さんみたいにいつも同じようなトイレットペーパーや洗剤、ティッシュペーパーを貰っても使わないという人もいた。本当は使っているのであろうが、用意する人や大会の楽しみとしての一つの余興であることを判っていない。それ故にどんな賞品であれ貰って喜ぶことが健康麻雀ではないのと思ってしまう。

★今日の試合結果

①振込み4回（鳴き聴牌に-1000、-1500、-2600、メンホンダマ聴牌-12000）

②5回戦 1勝4敗-210に終わる

1回戦 4ゲーム-56	振込み1(-1000 鳴き聴牌)
2回戦 5ゲーム+86	振込み1(-1500 鳴き聴牌) トップ
3回戦 5ゲーム-66	振込み1(-2600 鳴き聴牌)
4回戦 5ゲーム-73	振込み1(-12000 メンホンダマ聴牌)
5回戦 4ゲーム-101	振込み0

★今日の反省点は

●一番は、麻雀は選択のゲームであり、1・9のシャボンも残り枚数によるが、出やすいので次回からこちらで待つことにした。単騎の場合も真ん中の牌で待つことにした。

●何しろ東風戦なので字牌や風牌の切り方には注意しているが、面前のメンホン聴牌に字牌を振り込んでしまった。親には特急券を付けさせないように心掛けているが、思うようには行かない。

●チートイツの波が来ていたが上手く乗れなかったが。捨て牌を見たらチートイツで上がっていたのには選択を誤ったと実感した。チートイツの場合、ドラで待つということは積もる以外ないのでリーチで行くべき。

●今日もローリングして上手く乗り切ったところあり。振込みもなかった。

●最初から配牌が悪く上がりに向かわずチャンターや、染めてが多かったが、狙うも上がれず。

2019.12.6

★今日の主だった感想は次の通り。

①今日は飯泉さん、堀内さん、片柳さん、遠藤さん、添田さん、山崎さんがお休み。二人余りで今日は2卓で行う。久しぶりに柴田さん参加。

②今日もまた振込みしないようにと心掛けたもののリーチに3回、鳴き聴牌に1回も振り込んでしまう。**酷かったのは自分が親で、一气通貫聴牌で変わりようがないので先制リーチしたら、鳴き聴牌にドラを振り込んでしまい、子の倍満を払った事だ。子の満貫は2・3筒と切って子がリーチしたのでまさか1筒はないと思ったら一盃口崩しだった。配牌も悪かったことや、運量がなかったことから3回とも「おりうち」振込みになってしまった。**挽回のチャンスもなく1勝4敗に終わった。一口に言えば運量がなく我慢の麻雀だった。

③麻雀は選択のゲームであり、運量に左右されるゲームである。単騎待で6筒・中の時に6筒は当たりそうなので中を捨てたら、それから3順目に中が来た。**結局は聴牌のみに終わった。**

⑤ダマ聴牌で3回あがったものの、リーチしていれば状況が変わっていたかもしれないが、その判断がむずかしい。最後まで2・3・4筒、1・1・2・3索、1・2・3万の時に1筒と4万を引くことを願って我慢したらが、終盤に入ってしまったので4索が出たのでピンフで上がってしまった。

★今日の試合結果

①**振込み4回** (鳴き聴牌に-16000、リーチ-1300、リーチ-3900 リーチ-8000)

②**5回戦 1勝4敗-307に終わる**

1回戦4ゲーム+93 振込み0 トップ

2回戦6ゲーム-97 振込み0

3回戦5ゲーム-176 振込み2(子倍満-16000、-1300)

4回戦5ゲーム-31 振込み1(-3900)

5回戦5ゲーム-106 振込み1(子満貫-8000)

★今日の反省点は

●一番は、**麻雀は選択のゲームであり、6筒と中のどちらを切るか。6筒はど真ん中で当たり筋なので敬遠して中を切ったら3順目に中が来た。悔やまれる。**

●何しろ東風戦なので字牌や風牌の切り方には注意しているが、うっかりして親に鳴かせたので、その時はゴメンと周りの人に謝る。**親には特急券を付けさせないことが大事だ。**

●今日の親の時に一气通貫の先制リーチで鳴き清一色に振り込んだのは仕方ない。運がなかったとしか言いようがない。こちらがリーチして振り込んだのはこれのみ。のこりの3回振り込みは「おりうち」である。

チートイツの波が来ていたが上手く乗れなかったが、メンホンドラドラで一回上がったのでよしとする。リヤメンを狙って上がれず。捨て牌を見たらチートイツで上がっていたのには選択を誤ったと実感した。チートイツの場合、**ドラで待つということは積もる以外ないのでリーチで行くべき。**

●今日もローリングして上手く乗り切ったところあり。振込みもなかった。

●最初から配牌が悪く上がりに向かわずチャンタ一等何回も狙うも上がれず。

11月29日

★今日の主だった感想は次の通り。

①今日は飯泉さん、堀内さん、柴田さん、遠藤さんがお休み。大橋さんが加入したので、

今日は3卓でフル回転。

②今日もまた振込みしないようにと心掛けたもののリーチや鳴き聴牌に4回も振り込んでしまう。満貫振込みは1回のみで後は安かったので、挽回のチャンスありで何とか踏ん張って4勝1敗に終わった。一口に言えば運量がなく我慢の麻雀だった。

③何しろ対戦した相手が安い手で上がるので、こちらもそれに合わせたこともあって勝つには勝ったものの、4勝したものの毎回+39を上回ることも無かった。

④麻雀は選択のゲームであり、運量に左右されるゲームである。246索のカンチャンでは6索を切って3索待ちにしたらリーチ一発で振り込んでくれた。次に246万のカンチャンで同じように6万を切ってリーチしたら、何と最初に持ってきたのは5万であり、ショックだった。雲量がなかったとしか言いようがない。結局は上がれなかった。

⑤4回戦目に萬子のチートイ、ドラドラ、単騎東で待っていたら上手が暗刻の東を安全牌として捨て牌してくれたので子供の跳満で上がったのは嬉しかった。これでも皆さんに親や子で満貫を積もられているので大きな勝にはつながらなかった。今日もチートイで3度ほど聴牌出来たが上がれないやはりチートイは難しい。やはり我慢の麻雀だった。

★今日の試合結果

①振込み4回（リー2000、ダマ聴牌1000、リー2600、鳴き聴牌8000）

②4回戦 4勝1敗+79に終わる

1回戦5ゲーム-34 振込み2 (-2000、-2600)

2回戦4ゲーム+13 振込み1 (-2600)

3回戦5ゲーム+26 振込み0

4回戦6ゲーム+35 振込み0 子跳満12000が+に寄与

5回戦5ゲーム+39 振込み1 (-8000)

★今日の反省点は

●一番は、麻雀は選択のゲームであり、両面カンチャンの場合どちらにするか、場の状況を見て選択したが、一回は成功し、一回は上がりを残した。

●何しろ東風戦なので字牌や風牌の切り方には注意しているが、うっかりして親に鳴かせたので、その時はゴメンと周りの人に謝る。やはり役牌を鳴くことが大事だ。

●今日もチートイツの波が来ていたが上手く乗れなかったが、メンホンドラドラで一回上がれたのでよしとする。リヤメンを狙って上がれず。捨て牌を見たらチートイツで上がっていたのには選択を誤ったと実感した。チートイツの場合、ドラで待つということは積もる以外ないのでリーチで行くべき。

●今日もローリングして上手く乗り切ったところあり。振込みもなかった。

●最初から配牌が悪かったので何を狙うのかはっきりしている。チャンターを狙うも上がれず。

2019.11.22

★今日の主だった感想は次の通り。

①今日は堀内さん、柴田さん、遠藤さんがお休み。宮崎さんは文化祭準備終了次第参加。それに今日から大橋さんが加入で、今日は2卓で3人抜けのゲームが始まったが、岡部さんが途中から帰ったこと、最後は山崎さんと私が帰ることで宮崎さんを入れて最後まで出来るようにした。

②今日こそは振込みしないように心掛けたので4回戦を戦ったが振込0だった。9月27日以来の事である。リーチに対しては安全牌を探して何とか擦り抜けることが出来たのは、一口に言えば運量があったからにはほかならない。

③今日最初に運量あったのは、2回戦目に一盃口デンデンでの当たりを見過ごし、チートイに切り替えドラ待ちで子供の満貫を勝ち取ったことだ。

④その勢いが続き、3回戦の親の時、風・字・1と9牌が8枚あったので、国士無双に挑戦しない手はないと、考えてチャンターの含みを残しながら、真ん中の牌を切り一万、南、九筒がトイツなのでチャンター持って行くことも考えたが、上がれなくてもいいやという気持ちで一万、九筒を切って押したところ、最後の発を引き牌して九万待ちで国士無双が聴牌した。下手の大橋さんはリーチしているが九万を切っているの誰かがそれを見て振り込むのではと考えていたら、下手がリーチ故に振り込んでくれた。これで国士無双を上がったのは三回目であるが、h30/4/20岡部以来の事で嬉しかったことは言うまでもない。

⑤4回戦目も子供満貫で上がったので無理をせずにしていたら跳満や親満を積もられたりしたが、振込みも無かったので+19に終わり、素晴らしい一日だった。

★今日の試合結果

①振込み0

②4回戦でトップ2回、4勝0敗+588に終わる

1回戦5ゲーム+6 振込み0

2回戦5ゲーム+106 振込み0 トップ 子満8000上がる

3回戦5ゲーム+457 振込み0 トップ 親国士無双役満+48000

4回戦5ゲーム+19 振込み0 子満貫の8000

今日の反省点は

●一番は、麻雀は選択のゲームであり、相手リーチの時に筋を追って安全牌として捨てることは基本であるが、リーチ牌やその周辺の捨て牌が何枚あるか、その前後の牌の枚数も



数えるれ余裕があったので筋ではないが、それなりに捨て牌からみて通るだろうとの推測で通過したこともしばしばあった。

●何しろ字牌や風牌の切り方には注意しているので、鳴かすにも自分が聴牌する時以外は場を見ながら切っている。今回親が北を空ポンしそうになって取り消したことから、東を振らずに持ちこたえたら西だったようだ。特に親の東には注意して鳴かれないようにしている。自分が聴牌しても親が強いと見たらそのまま沈没。

●今日もチートイツの波が来ていたが上手く乗れなかった。一度は子でドラ待ち聴牌を上がれたが、2回目はチートイツでいくか、両面で行くか迷ってしまい失敗した。チートイツの場合、ドラで待つということは積もる以外ないのでリーチで行くべき。

●今日もローリングして上手く乗り切ったところあり。振込みもなかった。

●最初の手牌から何を狙うのかはっきりしているので周囲に読まれたこともしばしばあった。やはり手の内で行くことが基本。

2019. 11. 15

★今日の主だった感想は次の通り。

①今日は堀内さんと柴田さんがお休みというので、今日は2卓で2人抜けのゲームが始まったが、最後は山崎さんと私が帰ることで入れ替え無しで最後まで出来るようにした。

②今日も振込みに注意することを心掛けたのであるが、前回同様に4回リーチに振り込んだ。しかし、東風戦では振込み回数が多いと、回復を目指しても追いつかない。また、3回戦目の親の時に下家の跳満に6000払い、下家が親の時に満貫4000を続けて積もられマイナス1万点の減点は回復不可能だった。

③今日一番残念だったのは、1回戦目の親の時に四暗刻を聴牌していた時に、運悪く子に満を振り込んだことである。

④2回戦の時に親跳満が上がった時は、4索・6索を切って6索—8索のカンチャン待ちにしたところ、筋を読んで7索を振り込んでくれた。今回はシャボン待ちを回避してカン端牌のカンチャン待ちにして正解だった。積り三暗刻の時はシャボンで待ってもよし。

★今日の試合結果

①振込み4回となった。(−2900 親リーチ、−8000 子リーチ、−2000 親リーチ、−3200 子リーチ)

②4回戦でトップ2回、2勝2敗+49に終わる

1回戦7ゲーム−139 振込み3(−2900、−8000、−2000) 子に満貫振り込む

2回戦5ゲーム+184 振込み0 トップ 親跳満18000を上がり

3回戦5ゲーム−149 振込み1(−3200)

4回戦4ゲーム+153 振込み0 トップ 親満12000を上がり

★今日の反省点は

●麻雀は選択のゲームであり、相手リーチの時に筋を追って暗刻の1筒と2索のどちらかを切ることになるが、8索など索が多く捨てられていたので2索を切って振り込む。1筒を選択して置けばとダイヤオもつかないので悔やんだ。

●今日は親の四暗刻聴牌で運量なく子リーチの満貫を振り込んだのは仕方ないが一番残念な事であった。以前にも一度同じことがあった。

●何しろ字牌や風牌の切り方には注意しているので、鳴かすにも自分が聴牌する時以外は場を見ながら切っているが、特に親の東には注意しているものの二回程鳴かれてしまい、外の人に謝った。

●今日もチートイツの波が来ていたが上手く乗れなかった。一度親でドラ待ちの聴牌していた。そこでリーチを掛けるべきなのに、ダメ聴牌で行き積もってしまった。上がったことから、ドラで待つということは積もる以外ないのでこういう時はリーチで行くべき。

●今日もローリングして聴牌できずに終わったが、振込みもなかった

2019. 11. 8

★今日の主だった感想は次の通り。

①今日は堀内さんが足の骨折で当分お休みというので、今日は2卓で始まったが、途中から阿部さんが病院帰りに参加してくれたので1回終了後から3卓となった。飯泉さん、遠

藤さん、堀内さんの3人が今年いっぱい参加できないことから3卓ぎりぎりで行うことになった。来週も円田さんがお休みするので2卓になる

②一期一会の世界で面白いのは、今日も最初の配牌を見て手牌を育てることを目指す。最初の配牌でどの程度の役作りが出来るのか予測できるようになったので、創造力を働かせながら行う。東風戦なのでまず振り込まないことに心掛けるも、今回は28回ゲームで6回の振込みであるが安いものばかりだったので、比較的運量があったと言える。チートイツの波が何回も押し寄せてきたが、上手くコントロールできたのは2回のみ。東風戦ゆえに振込み回数を少なくすることに力点を置いているが、ダマ聴牌は別にしてもリーチ振込みが2回は多すぎる。

③先制リーチする前に、手直しできるものは無理してリーチせず待った。また、カンチャンはリーチせず自分で積もったこともあり。先制リーチして振り込んだことなし。北と二万のシャボンもローリングして振込みを防ぐ余裕があった。

④今日も振込みに注意することを心掛けたのであるが、2回リーチ、ダマ聴に2回振り込んだ。しかし、どれもリーチのみ手牌だったので大怪我もせず。又、ダマ聴牌も安いものばかりでオオ怪我はしなかった。

★今日の試合結果

①振込み4回。(−2000 親リーチ、−2000 親リーチ、−1500 親ダマ聴、−2600 親ダマ聴)

②6回戦でトップ3回、4勝2敗+266に終わる

1回戦7ゲーム+152 振込み0 トップ、親満貫12000上がる。

2回戦5ゲーム+74 振込み1 (−2000)

3回戦4ゲーム+83 振込み0 トップ、子で満貫8000上がる。

4回戦4ゲーム−10 振込み1 (−2000)

5回戦4ゲーム+0 振込み1 (−1500)

6回戦4ゲーム−33 振込み1 (−2600)

★今日の反省点は

●一番は、麻雀は選択のゲームであり、運量がある時は選択を間違えても元に戻るが、運量がない時は上がりを目指さないで待つて振り込まないで終るしかない。

●今日はリーチがかかったら振り込まないことにして下りたことが+を確保できた。

●チーしている場合は、リーチがかかったら無理して一色やチャンターを狙わず下りることも大事。関係牌を切らないようにするも、それ以外は難しいのでドラがない限り安いのでつつい無理して切ってしまうことが多いことか。

2019.10.25

★今日の主だった感想は次の通り。

①今日は土砂降りの雨なので、須藤さんを添田さんと向かいに行き、帰りは私が送って行ったこともあって落ち着いて打てなかったことは確かだ。どうして落ち着いた選択が出来なかったのか、今日は反省することばかり。

②前回私が上がった、麻雀クラブとして初めて出現した、三連刻と一色三順(2ハン)はローカル役なのでルールに取り入れるか、検討してもらうために一式の資料を添えて皆さんに配布して、検討した結果、会長判断で取り入れることになった。そもそも島町麻雀クラブの喰いタンなし、後付けなし)もローカルルールである。確率的に出現率2500回に

1 回出るか出ないかの役なので受け入れてくれたので、手役を作ることに主眼を置いている私としては嬉しい限りだ。

③一期一会の世界で面白いのは、今日も最初の配牌を見て手牌を育てることを目指す。最初の配牌でどの程度の役作りが出来るのか予測できるようになったので、創造力を働かせながら行う。東風戦なのでまず振り込まないことに心掛けるも、今回は28回ゲームで、まちが悪いのに焦って先制リーチを掛けたものの珍しく、振込み5回と最多を記録してしまった。

★今日の試合結果

①振込み5回（-3900×3回、-12000×2回）

②6回戦でトップ2回、2勝4敗-198に終わる

1回戦 4ゲーム+103	振込み0	トップ、
2回戦 7ゲーム+57	振込み1	トップ、(-3900)
3回戦 4ゲーム-50	振込み0	
4回戦 5ゲーム-247	振込み2	(-3900、-12000)
5回戦 4ゲーム-40	振込み2	(-12000、-3900)
6回戦 4ゲーム-20	振込み0	

★今日の反省点は

●一番残念だったのは、麻雀は選択のゲームであり、難しいというのは、リーチ出来る聴牌になっても変えられるのであるならば、リーチせず待つことの大事さが今回身に染み

た。

●面前聴牌で東を待っていたが待ちきれず東・東、5筒7筒で（5筒ドラ）リーチした。冷静になっているならばリーチせず、手が変わるまで待つ。今回は何故か焦っていたのか思えない。その結果として5筒振込み親満貫となった。待っていれば5筒を持ってきたことや、東を切った人もいたので、リーチについては手代わりできるのであれば、それまでダマ聴牌で行くべき。今日は冷静さを失っていた。

●三色同刻も聴牌しているのに何を血迷ったのか、上がったもののタイヤオにして崩してしまったへまもしてしまった。念には念をいれること。

●チーしている場合は、一色やチャンターをしている場合は関係牌を切らないようにするも、それ以外は難しいのでドラがない限り安いのでつつい無理して切ってしまうことが多いことか。次回から振込みをしないよう心掛ける。

2019.10.18

★今日の主だった感想は次の通り。

①麻雀は一期一会の世界で面白い。今日も最初の配牌を見て手牌を育てることを目指す。最初の配牌でどの程度の役作りが出来るのか予測できるようになったので、創造力を働かせながら行う。東風戦なのでまず振り込まないことに心掛ける。今回は33回ゲームで、積極的に先制リーチを掛けたものの珍しく振込み3回してしまうが運量が良く+で終わる。

②ローカル役ではあるが、三連刻・三暗刻・チャンカンを一組としたゲームであがった。クラブ初めての事で三連刻や一色三順についていろいろ意見が出た。今回は三連刻（2ハン）として換算した。この役はクラブとしてどう扱うか議論要。

2019/10/18 ダンヤオ・三連刻・三暗刻・チャンカン・ドラ1 = 跳満

★宮崎6索加積



③偶然にも**出現率低い** 1/2000 のチャンカン、1/2500 の三連刻と、珍しい役を一緒に出会えてことが最高だった。

★今日の試合結果

①**振込み3回** (-3900、-16000(子の倍満)、-8000)

②**6回戦でトップ3回、4勝2敗+234に終わる**

1回戦 7 ゲーム+201 振込み0 **トップ**、子の跳満上がる

2回戦 4 ゲーム+20 振込み0

3回戦 4 ゲーム-179 振込み3 (-3900、-16000、-8000)

4回戦 5 ゲーム+181 振込み0 **トップ**、子の跳満上がる

5回戦 5 ゲーム+50 振込み0 **トップ**、

6回戦 8 ゲーム-39 振込み0

★今日の反省点は

●一番残念だったのは、**麻雀は選択のゲームであり、難しい**というのは、リヤメン待ちが二組あり、どちらを残すかの選択を誤り、配牌が途切れて聴牌しなかった。

●**面前、カンチャンでリーチか、シャボンでリーチかの選択はいつも迷う**。5・5筒と7・7筒のシャボンのところに9筒を引いてきた。場に8筒も出ているので確率的にシャボンを選び失敗。カンチャンの7・9筒を選べば積もれたことを反省する。8筒は端牌で出やすいことを頭に入れておくこと。

●**親でメンチンの聴牌をダマ聴にしていた所へ、下家が筒一色をやっている筒を持って来たので逃げるわけにもいかず捨て牌したら子の倍満に振り込んでしまった。これは勝負で仕方なし。**

2019.10.11

★今日の主だった感想は次の通り。

①10/4、お休みをしたので何か麻雀することに新鮮さを感じる。**今日も最初の配牌を見て手牌を育てることを目指す**。今回も意識的に手牌づくりに努めたことは言うまでもない。最近は最初の配牌でどの程度の役作りが出来るのか予測できるようになったので、創造力を働かせながら行う。**東風戦なのでまず振り込まないことに心掛けたが、今回は34回ゲームで、積極的に先制リーチを掛けて親の満貫を2回も上がった反面、リーチして振込み4回してしまう。**

②東風戦の中で、振り込まないことを中心に、今日も**「場を平たくする」**する観点を心がけて打ってきた。先制即リーチしてラッキーにも親満貫を2回積もった。今回も風・役牌を使って何回も聴牌した。風・役牌は大事に使い、最後は安全牌として活用、ローリングも1回ほどした。東風戦なので東は早く切ると鳴かれるので最後の方で切るのがよいと思っていたが、リーチに対して最後に聴牌したので安全牌と考えていたので場に出ていない東を捨て牌したら振り込んでしまった。

③今日はチートイツやトイツついていた。**ベテランの円田さんが「ホンイツ、トイトイ、**

東、發」の子跳満を振り込みとなった。うれしいね。次もホンイツのみで上がったが、拒否してトイトイで聴牌させたが、上がれなかった。しかし、正解だったと思っている。

④ベテランの円田、岡部さんと一緒になったので二人には振り込まないように心掛け、親の時に満貫2回あがり三人をマイナスに追い込み独り勝ちしたのは痛快だった。

★今日の試合結果

振込みも4回これまでの最高。(−2560、−1600、−3980、−2560)

6回戦でトップ1回、3勝3敗+300に終わる

1回戦6ゲーム+49 振込み0

2回戦6ゲーム−2 振込み1 (−2560)

3回戦5ゲーム+39 振込み2 (−1600、−3840)

4回戦6ゲーム−39 振込み0

5回戦7ゲーム+289 振込み1 トップ (−2560)、親満貫12000と子跳満12000上がり

6回戦4ゲーム−36 振込み0

★今日の反省点は

●一番残念だったのは、麻雀は選択のゲームであり、難しいというのは、チートイツでリャンシャンテンから牌の切り方を間違えて捨て牌では上がっているが手の内が聴牌しなかったこと。新しい牌が重なることを真面に見せられた。

●面前、789(筒・満)で(索78)ピンフ、3色同順を目指リーチしたら6索で和了(2000)したが、ダマ聴牌で9索を待ちにして(3900)にすべきか迷うところなり。

●上家がリーチしている時に、自分も高い聴牌となったのでション牌の東を危ないと思いながら切って振込み。やはりリーチやホンイツ等はション牌の捨て牌しないことが大事。

2019.9.27

★今日の主だった感想は次の通り。

①今日は、第10回島町麻雀クラブ大会成績結果表を皆さんに配布する。みなさん自分の結果が判り、それなりに納得していた。大会にブービー賞を加えたところ、平田さんが發該当者になり喜んでいて。今日も13名参加の1人抜けで行う。6回目は私も+しているので自主的に抜けて早帰りをする。10/4、10/18はお休みを通告して置く。東風戦なのでまず振り込まないことに心掛けたお陰で振込み0に終わった。

②片桐さんが親でリーチしている時に、円田さんが9筒を捨てたら当たりといことをいだったので円田さんが牌を崩してしまった。当たりということは私も耳にしており、私もドラを持って来て聴牌していたのがっかりしていた。よく見ると1万と四万シャボン待ち。だから9筒を当たりとは言わないと言い張った。私も聞いていたので聴牌を逃しがっかりしていたので、私も当たりと片柳さんが言っていたことを主張すると、耳が可笑しいのではと言って来たのでカチンとくる。遠田さんの猛烈な抗議で会場が白けてしまった。そこでノーゲームに収めてやり直しをする。今回のことは遠田さんの言うとおりであるが、円田さんも配牌を投げることはない。マナー違反である。こういう人たちが相手なので東風戦ゆえに振込み回数を少なくすることに力点を置いている。今回、久しぶりに25ゲーム戦振り込み0であった。

③先制即リーチしてラッキーにも振込みなし。柴田さんと私と相性がよいのか、今日も柴田さんから勝ち上がってしまう。前回、柴田さんの大三元を私が阻止したことを口にして

いた。

★今日の試合結果

振込み0。

5回戦でトップ2回、4勝1敗+189に終わる。

1回戦5ゲーム+24 振込み0

2回戦5ゲーム+45 振込み0

3回戦5ゲーム-70 振込み0

4回戦5ゲーム+80 振込み0

5回戦5ゲーム+110 振込み0 子満貫上がる

★今日の反省点は

●一番残念だったのは、**麻雀は選択のゲームであり、難しいというのは、中段以降に出来あい3色同順でリヤメンをチーすれば聴牌。**チーするどうか迷ったのでチーせずに行くことにして手の内作りをするも引き牌を待っていたが聴牌しなかった。

●面前、タイヤオ、ピン牌フ、3色同順を目指すも難しい、今回も何回も挑戦したが、3色同順には至らなかった。

●振込みがなくても-70というように親の時に跳満を積もられてしまった。これが痛かった。

2019.9.20

★今日の主だった感想は次の通り。

①今日は、第10回島町麻雀クラブ大会である。宮崎さんは肩の手術後もあり、審判役で三卓始まった。麻雀クラブの規約が8月1日から施行されたので、大会にブービー賞を加えた。トップ、2位、3位、ブービーに賞品をだす。今日の麻雀の試合運びは、先の和了に目を奪われてしまうことの多い中で、**手牌を育てるということを目指し、最後は東、筒一色で和了した。**今回も意識的に手牌づくりに努めたことは言うまでもない。

②東風戦なのでまず振り込まないことに心掛けたが、今日は3回も振り込んでしまった。岡部さんの運量が強く5勝0敗で初優勝した。やはりムラツケを出さなければ麻雀が上手い。12人中7人がプラス。負け越した人が6人、全敗が2人。

③試合後、懇親会を開き宮崎さんから役員を来年4月から代える方向で提案があり、話が進んだ。全員参加というが、実際に出来ない人もいることから会員全てを含めてグループ制を提案した。私も引き受けることを宣言して懇親会を途中で帰ってきた。私も自分なりに宮崎さんの負担を減らすように会長へ提案して賞品の買だし、お茶菓子は自分で用意するなど改善してきたし、麻雀ルールの見直し、規則改正にも加わって来た。大会ではパソコンを持ち込み、記録も取っている。来年から始まる年間最優秀者を決めるのも記録が物をいう。大会の記録を全て引き受けている。**それなりに会のために尽くしている。岡部さんは私が一人で引っ掻き回しているとなじるが、自分は何をしてきたか聞きたい。**

④柴田さんから9/6の試合で、本来、上がれないのに、岡部さんが上がれるというので鳴き一通の1000点で上がった。そのことを今日も口に出していた。最終回、柴田さん親の時に、東、筒一色の全部鳴いて単騎待ちにしていたら柴田さんは大三元をイシャテンで私に南を振り込んで終わった。またしてもやられたかという顔に悔しさが溢れていた。

★今日の試合結果

①振込みも3回。(−2700、−4200、−1000)

②5回戦でトップ1回、3勝2敗+71終わる。

1回戦7ゲーム+15 振込み1(−2700)

2回戦5ゲーム−82 振込み1(−4200)

3回戦7ゲーム+138 振込み0

4回戦7ゲーム−50 振込み1(−1000)

5回戦6ゲーム+50 振込み0

★今日の反省点は

●一番残念だったのは、**大会なので早や上がり基本だ**。東、一色の両面待ちで(3・4索=3900)聴牌していたところへ4索を引き牌したので、これまで通り両面で行くべきか、3索を切って、ホンイツ・東・トイトイ(8000)に行くべきか悩んでトイトイを選んだら次の引き牌は2索であった。聴牌のみに終わってしまった。麻雀は選択のゲームであり、難しい。

●面前、タイヤオ、ピンフ、3色同順を目指すも難しい、今回も何回も挑戦したが、3色同順には至らなかった。

2019.9.13

★今日の主だった感想は次の通り。

①今日は三卓でぎりぎりの人数で始まったが、私に鹿児島に墓参りに行っている息子から携帯電話に掛かってきた。細かいことも話せないの、四試合目の途中だったのでそれを終わらせてから帰ることにした。それから以降は三人残りになる。申し訳ない。その電話で早く終わらせるために振り込みもした。何とか終わって急いで家に帰る。

②新しい麻雀クラブの規約が九月一日から施行しているので、大会にブービー賞を加えて賞品購入することを宣言してもらった。トップ700円、2位、3位、ブービーは400円、参加賞ティッシュペーパー1箱

③今日の麻雀の試合運びは、先の和了に目を奪われてしまうことの多い中で、**手牌を育てるということを目指し、**最後は**タイヤオ三色同順で和了した**。東風戦なのでまず振り込まないことに心掛けたが、鳴きの東や發に振り込んでしまった。岡部さんが何でか知らないが、突然あんたがルールの変更を呼び掛けたり、ルール確認に走ったり一人でかきまわしているとか呟いている。宮崎さんも疑問点を持っているのでこちらが改善できれば思って動いていることや改善で会長にも進言していることも判らないので無視する。

④東風戦なので、最初の配牌を見て何ができるのか、早く決めて掛かかっているが、時には選択を誤り聴牌出来ないケースもあった。手役が出来ない場合は、役牌をなるべく早く揃えて一鳴き聴牌して上がることを狙うようになった。

⑤**親の時に**タイヤオ3色同順を手役作りしてダマ聴牌で山崎さん振込み和了は嬉しかった。また、**親の時に**柴田さんが1500点で和了し流されてしまった。そのお返しに柴田さんが親の時に子の跳満で6000点利息を付けて返してもらった時は爽快だった。

★今日の試合結果

①振込みも2回。(−1500、−5800)

②4回戦でトップ1回、3勝1敗+72終わる。

1回戦6ゲーム+7 振込み0

2回戦5ゲーム+94 振込み0 トップ 子跳満上がり

3回戦6ゲーム+31 振込み1 (-1500)

4回戦6ゲーム-60 振込み1 (-5800)

★今日の反省点は

- 一番残念だったのは、両面待ちが2つありどちらで待つかの選択が難しい、今回も選択を間違えて聴牌出来なかったこともあった。
- 他家がリーチの時は、東風戦では自分打点と上がりやすさを考えて決断する。下りる時はベタオリが鉄則で我慢の子。
- 最初から上がり手の構成が出来ないほど悪い場面も何回かあった。字牌や一九牌を残して相手に振り込まないように心掛けてきた。
- 最後まで聴牌に持つて行く努力しながら下りることを心掛けてきた。

2019.9.6

★今日の主だった感想は次の通り。

- ①今日は3卓だが、途中で添田さんの出入りがあり、途中で3人余りの2卓に変わり、最後は添田さんが戻り3卓になるという変則であったが、私は運よく6試合を消化できた。
- ②私も麻雀例会に参加して今日から3周年目に入る。これまでの1年間のそれなりの数値的なまとめを表にして会員に配った。反応もまちまちで中には、岡部さんは「あんたの記録には興味ないわ」と返してくれた。麻雀の楽しみ方には麻雀をするだけでなくこういう楽しみ方もあると、披瀝したに過ぎないが、これも私のこだわりである。といのは、**島町自治会健康麻雀クラブは「飲まない、吸わない、賭けない」の三原則**があるので、たった12時15分から17時までの時間帯の中で、参加して交流を図りながら如何に麻雀を楽しむかが健康麻雀なのである。
- ③2年間もお付き合いして来ると、様々な考えの持ち主がいることも判って来る。中でも大病した人や物忘れするようになった人もここで好きな麻雀が出来る時間の幸せを感じている人もいる。大方はここで唯楽しく過ごせれば「良」という人が殆であるが、阿部さんは自分の考え方を持って麻雀を楽しんでいる。島町自治会麻雀クラブの東風戦の短期決戦の中で、偶然性に支配され機会も少ないゲームの中で、役満のみならず手創り役を目指した阿部さんには感動してしまう。阿部さんは**8/23に四暗刻**を和了したばかりなのに、驚くなかれ、それから僅か二週間しか経っていないのに**9/6には大三元**を和了した。目先の和了に目を奪われてしまうことの多い中で、**手牌を育てることが麻雀の本質だと思っている、私も出現率500回に1回以上の役に挑戦している。**阿部さんの話を聞くと、今回の大三元も白、三万四万のリヤメン待ちにところで三万を引いたので「小三元」でもよいが、**目先の聴牌ではなく、志を高く持つ打ち方**を選び三万と白のシャボンにして、白を積もりあげて**大三元**を和了したとのこと。これには感動しました。この考え方を取れるのには、和了できるかどうかの問題ではなく創造力、創り出す力を働かせたことです。麻雀は自分の中に隠された可能性、能力を引き出すことでチャンスがある手牌は失敗を恐れずにどこまでも追いかけていきたいものです。阿部さんに次回は何の役満を狙いますか問えば、「緑一色」（9万回に1回出現率）と応えてくれた。私も一度挑戦してイシャテンで終わったことがある。お互いに**目先の聴牌ではなく、志を高く持つ打ち方**をした**ものだ。**

④東風戦の中で、今日も「**場を平たくする**」する観点を心がけて打ってきた。5回戦までは振込みもなく終わったが、最終回に落とし穴があった。添田さんの親の東々の鳴きで一色と思っていたら全然違うドラ待ち聴牌-12000振込み、その分を取り返したが他家のツモ上がりが多くついに-90に終わった。以前にも添田さんには同じ手でやられた。

⑤東風戦なので、最初の配牌を見て何ができるのか、点のみであったら何を指すのか、多少なりとも線があったら何を指すのか、早く決めて掛かるようにしているが、手役が出来ない場合は、役牌をなるべく早く揃えて一鳴き聴牌して親落としを狙うようにし、**運量のある親落としを狙うのは簡単な手が一番。**

★今日の試合結果

①振込みも1回。(-12000)

②6回戦で**トップ3回、5勝1敗+276**に終わる。

1回戦6ゲーム+70 振込み0 **トップ**

2回戦5ゲーム+4 振込み0

3回戦5ゲーム+25 振込み0

4回戦6ゲーム+200 振込み0 **トップ** 親満貫上がり 12000

5回戦6ゲーム+67 振込み0 **トップ**

6回戦6ゲーム-90 振込み1 (-12000)

★今日の反省点は

●一番残念だったのは、添田さんに以前にもやれた、親の時に東々の鳴きで一色に見せか外のドラで待っている落とし穴にはまってしまった。今回は私が3・6・9索と三面待ちなのでリーチしたら運悪くドラを持ってきたので振り込んだ。仕方なし。**相手が親の時はやはりダマ聴牌とローリングか。**

●他家がリーチの時は、東風戦では自分打点と上がりやすさを考えて決断する。下りる時は**ベタオリが鉄則で我慢の子。**

●最初から上がり手の構成が出来ないほど悪い場面も何回かあった。純チャン三色が二回イシャテンで終わった。字牌や一九牌を残して相手に振り込まない

麻雀俳句 2019.9～2020.8

- 2020.8.28 ●冷房や麻雀囲むマスク顔 ●先例を忘れ振り込む夏の卓
 2020.8.21 ●配牌と引き牌の良き晩夏かな ●冷房や耐えて耐えての東風戦
 2020.8.14 ●盆休み四人で囲む東南戦 ●ボヤキ出る運なき牌や盆休み
 2020.8.7 ●夏枯れや運量もなき麻雀牌 ●リーチされて捨て牌を読む団扇かな
 2020.7.31 ●梅雨晴れや子満貫にてトップ賞 ●梅雨晴れやダブリーも積もる運のつき
 2020.7.24 ●窓開けて麻雀を打つ梅雨曇り ●梅雨曇り東待ちならず小四喜
 2020.7.17 ●梅雨空やマスクして打つ雀士かな ●プラスして麻雀終わる梅雨の空
 2020.7.10 ●窓開けて換気よき梅雨麻雀 ●梅雨深しシャボン待ちツモ三暗刻
 2020.7.3 ●梅雨最中麻雀を打つマスク顔 ●梅雨深む筋引っ掛けに相手のる
 2020.3.27 ●役作り楽しむ卓の弥生かな ●一気通貫待てど上がれず桜散る
 2020.3.20 ●運量の低さに泣きの彼岸かな ●春風や一気通貫つらぬきぬ
 2020.3.13 ●運量も下降気味なる弥生かな ●花も咲く対面積もる国士無双
 2020.3.6 ●先制のリーチ舐められ落ち椿 ●夢を追い振込み一発惚けの花
 2020.2.21 ●マスクして運なし嘆く老雀士 ●春が来た負け老人のピンフ積も
 2020.2.14 ●四暗刻積も判らぬ惚けの花 ●マーク者の中で仕留めた春の卓
 2020.2.7 ●親リーチ逃げるが勝ちや寒気来る ●振込みのなき麻雀や春めきぬ
 2020.1.31

- ★リーチせずカンチャン積もる寒椿
- ★麻雀に我をつらぬく去年今年
- ★一月や負け老人の独り勝ち
- ★カンをして他家喜ばす冬の空
- ★ロンされるよりベタ下りの去年今年
- ★単騎待ち筋も通らぬ睦月かな
- ★春が来た我に麻雀運つきぬ
- ★桜咲く両面待ちは即リーチ
- ★春寒し安牌尽きて白を切る
- ★振りテンに気づかぬリーチ老いの春
- ★麻雀に来ると冴え出す惚けの花
- ★冷房や直ぐ熱くなる老雀士
- ★一索かと思えば一筒夏惚けぬ
- ★夏雀士役満続き神がかり
- ★ダマテンでマーク者落とす秋楽し
- ★麻雀は川の流れや秋桜
- ★聴牌へ頭を使い秋暮れぬ

- ★麻雀は一期一会や年新
- ★東風戦早い者勝ち去年今年
- ★何よりも怖い東々初日の出
- ★無駄花のション牌切る冬厳し
- ★ツキもなく麻雀を打つ師走かな
- ★盲牌にヌカ喜びの春の卓
- ★リーチ棒戻らぬばかり春は去る
- ★春は去り大三元の白足りぬ
- ★一色には手を貸さぬも春は来ぬ
- ★聴牌と思ひしやチョンボ春寂し
- ★ピンフのみそれで嬉しき手毬花
- ★熟慮の牌も通らぬ炎暑かな
- ★九索カン国士も終わる冷夏かな
- ★念願の役満積る秋の暮
- ★喰い過ぎてリーチに負ける秋悲し
- ★四暗刻実らぬ秋や臍をかむ

2020.1.31 郷土の会 岡村昭則

私が俳句を詠むようになったのは、今は亡き絵はがき作家の登山家から山に登るだけではもったいない。何か自分を表現するものを持つことによってもっと登山が楽しくなるからと進められてから独学で勉強して40年を経過してしまった。俳句は今でも日課として20数句詠んでいることから、麻雀会でも雰囲気を詠みながら楽しんでいる。

出現確率500回／1以上の役の達成回数表				
	1	2	3	4
Wリーチ	526回/1	h30/7/20 ツモ	h30/8/31 宮崎	R1/7/31 ツモ
小三元	666回/1	h30/3/23 山崎		
混老頭	1250回/1			
三色同刻	2000回/1	h31/4/2 柴田	R1/7/5 柴田	
二盃口	2000回/1	R1/6/7 ツモ	R1/8/9 ツモ	R2/10/16 添田
チャンカン	2000回/1	R1/10/18 宮崎		
三連刻	2500回/1	R1/10/18 宮崎	R2/10/9 円田	
四暗刻	2040回/1			
国士無双	2325回/1	h29/9/8 平田	h30/4/20 岡部	R1/11/22 大橋
大三元	2564回/1			
四喜和	8333回/1			
字一色	12500回/1			
三カン	20000回/1			
清老頭	55248回/1			
地和	63290回/1			
緑一色	90909回/1			
九蓮宝燈	222222回/1			
天和	330578回/1			
四カン	427350回/1			

2017.9～2018.8 出現確率500回／1以上の達成役

<p>H29.9.8 平田さん振込み</p> <p>H30.3.23 山崎さん發振込み跳満小三元</p> <p>●ダブルリーチ H30.7.20</p> <p>★一・四・七索三面の単騎待ち、ドラなし ★結果は3順目四索ツモ3,900点</p>	<p>H30.4.20 岡部さん振込み</p> <p>H30.8.31</p> <p>★カン八万待ち、ドラ東二枚の順 ★結果は5順目宮崎さん八万振込み満貫</p>
---	---

2018.9～2019.8 出現確率500回／1以上の達成役

<p>2019/6/7 積もる4筒で満貫二盃口</p> <p>2019/4/2 柴田さん八筒振込みで満貫三色同刻</p>	<p>2019/8/9 積もる5索親満貫二盃口</p> <p>2019/7/5 柴田さん九筒振込みで満貫三色同刻</p>
--	--

退職者会麻雀大会に復帰

退職者会麻雀大会は私が定年退職した時から、私の同僚が年2回（春・秋）に大会を主催してから、後輩たちに引き継がれて今日に至っている。第一回大会は主催者側の一人として参加して第一回の名誉ある覇者となったので、私は他の同僚とハイキングクラブを立ち上げて活動しだしてからは麻雀大会とは縁遠くなってしまい、私も地元の健康麻雀倶楽部に参加するまで麻雀をすることもなかった。それがどうしてか、健康麻雀倶楽部に参加してから間もなくのこと、退職者会麻雀大会を運営し、パソコンによる集計を担当していた同僚が急逝したことから、退職者会で長年にわたって新聞の発行を担当してきた私に集計を担当してくれないかと声が掛かり、島町健康麻雀倶楽部に参加していることもあって快く引き受けてしまった。ここの麻雀は現役時代の麻雀を引き継いできているが、退職者の懇親をはかる場所であることから、雰囲気は女性も参加していることもあってか、親切で大らかな事は島町健康麻雀クラブの比ではない。現役時代の真剣勝負をする人は大会終了後、みなさん残って3卓ほど囲んでいる。

また、退職者会上部団体が年一度懇親会を兼ねて健康麻雀を開くことになったので、都心で一番集合しやすい私達の退職者会が会場の確保と集計を引き受けることになった。退職者会の役員で麻雀が出来る役員が3人しかいないので、実行委員会に私以外の二人に出席してもらっている。懇親会麻雀なのでプロ麻雀が採用している何でもアリ麻雀の見本を私に作ってほしいとの要請があり、区部会親睦健康麻雀大会「ありありルール」の実例集を6ページで作し、区部会交流健康麻雀マナー10カ条を作成して実行委員会にこれで行くことを了解してもらった。

初めての区部会親睦健康麻雀大会なので40名近い人数が集まり、個人戦と団体戦を行うので、その集計の仕方も個人戦は島町健康麻雀倶楽部で実践しているので別に問題ないが、団体戦は初めてのことなので段取りに苦労した。まずは個人戦もグループごとに参加するのでグループ別にして1回戦ごとに3回戦までグループの合計を出す①②③。団体戦はグループ名のみで第1表に①②③を記入し、同じ表第2表を作って置き、そこへも同じ

第1回区部会健康麻雀大会団体戦

	1回戦	2回戦	3回戦	計	順位	メンバーナンバー
太田	1,282	1,102	1,062	3,446	1	1. 2. 3. 4
港A	1,228	1,192	874	3,294	2	5. 6. 7. 8
練馬	1,087	1,272	886	3,245	3	9. 10. 11. 12
渋谷	857	949	1,177	2,983	4	13. 14. 15. 16
江戸川	704	1,127	1,092	2,923	5	17. 18. 19. 20
合同	1,103	982	800	2,885	6	21. 22. 23. 24
港B	1,311	515	1,026	2,852	7	25. 26. 27. 28
中央	882	825	983	2,690	8	29. 30. 31. 32
品川	546	1,036	1,100	2,682	9	33. 34. 35. 36
合計	9,000	9,000	9,000	27,000		
	9,000	9,000	9,000	27,000		

ように記入していく。団体戦第1表（メンバーナンバーを記入して置く）と個人戦は計算式で繋がっているためソ

ーターを掛けられない。そのために独立した第2表にソーターを掛けてまずは団体戦の順位を決める。

それから個人戦の1番から最後までの人得点にソーターを掛けて個人戦の優勝者をだす。いろいろと試行錯誤したが第一回大会を乗り切ったのでこの方式で行くことになった。集計担当者の前任者が急逝しなければ、私の出番もなかったと思う。

第一回区部会健康麻雀大会

第1回区部会健康麻雀大会個人戦(2018.7.21)						
	1回戦	2回戦	3回戦	計	平均	順位
13 港A 中西正博	292	804	491	1587	529	1
31 江戸川 塚山守人	308	489	370	1167	389	2
9 太田 美原 清	261	339	516	1116	372	3
8 練馬 佐藤義彦	404	461	220	1085	361.6667	4
33 合同葛飾 桐原幹和	575	261	154	990	330	5
25 中央 石井 浩	487	253	189	929	309.6667	6
2 品川 宮森孝夫	168	494	240	902	300.6667	7
22 渋谷 二見廣文	318	317	246	881	293.6667	8
20 港B 伊藤昌子	535	182	142	859	286.3333	9
24 渋谷 和泉龍之介	447	241	161	849	283	10
7 練馬 山本欣司	195	291	357	843	281	11
10 太田 岡田千賀子	240	370	210	820	273.3333	12
23 渋谷 中村良一	99	276	444	819	273	13
29 江戸川 鈴木哲男	148	167	493	808	269.3333	14
28 中央 山田寿郎	215	299	273	787	262.3333	15
11 太田 永瀬伸子	393	172	211	776	258.6667	16
6 練馬 石井伸吾	202	310	262	774	258	17
19 港B 関口真喜子	321	181	256	758	252.6667	18
16 港A 岡村昭則	375	172	189	736	245.3333	19
12 太田 安島光男	388	221	125	734	244.6667	20
3 品川 和波宣雄	204	180	305	689	229.6667	21
18 港B 窪島博子	126	253	278	657	219	22
36 合同渋谷 杉本淑江	304	160	190	654	218	23
30 江戸川 増田 昭	213	130	301	644	214.6667	24
34 合同中野 小出英了	62	424	145	631	210.3333	25
35 合同港 竹山敏夫	162	137	311	610	203.3333	26
並木	119	221	267	607	202.3333	27
14 港A 濱口辰夫	373	61	155	589	196.3333	28
17 港B 古谷明夫	329	-101	350	578	192.6667	29
26 中央 加藤健一	203	175	192	570	190	30
5 練馬 島田孝二	286	210	47	543	181	31
4 品川 阿部清知	55	141	288	484	161.3333	32
21 渋谷 峯岸利津子	-7	115	326	434	144.6667	33
27 中央 井上裕子	-23	98	329	404	134.6667	34
15 港A 日野麻美	188	155	39	382	127.3333	35
32 江戸川 楠田正治	35	341	-72	304	101.3333	36
合 計	9,000	9,000	9,000	27,000		

第1回区部会健康麻雀大会団体戦

	1回戦	2回戦	3回戦	計	順位
太田	1,282	1,102	1,062	3,446	1
港A	1,228	1,192	874	3,294	2
練馬	1,087	1,272	886	3,245	3
渋谷	857	949	1,177	2,983	4
江戸川	704	1,127	1,092	2,923	5
合同	1,103	982	800	2,885	6
港B	1,311	515	1,026	2,852	7
中央	882	825	983	2,690	8
品川	546	1,036	1,100	2,682	9
合計	9,000	9,000	9,000	27,000	



役員挨拶



競技責任者挨拶

第25回親睦麻雀大会

(H31. 2. 23)

退職者会会員交流事業として、H18. 2. 25 第1回親睦麻雀大会は35名の参加を得て開催されました。それから13年後に平成最後の第25回という区切りのよい大会に男性17名、女性3名の参加をいただき、3回戦にわたり熱戦が繰り広げられました。優勝は井上衛さん、2位は松田嘉孝さん、3位は伊東昌子さん、頑張りま賞は三田裕幸さんでした。



米寿の西村年弘さんや85歳の吉井實さんも参加されて楽しんでいました。

追伸、大変悲しいお知らせですが、これまで麻雀大会にパソコンを持ち込んで参加者の得点計算を一手に引き受けてくれた高橋昭伍さん及び、昨年2月17日第23回麻雀大会で22万2千回に1回しか出ない九蓮宝燈（門前で「1112345678999+X」の形をあがった時に成立する）を成し遂げた中西正博さんが亡くなられたことを並木文雄事務局次長から報告されました。参加された皆さんも突然の悲しい報告に言葉もありませんでした。

ここに謹んでお悔やみ申し上げます。合掌

九蓮宝燈を達成した中西さんの死を悼む

(H31. 2. 23)

岡村昭則

麻雀を知らない人はゲームの中に、九蓮宝燈という22万2千回に1回しか出ない役があることも知らないと思うが、どんな役かと言えば、門前で「1112345678999+X」の形をあげた時に成立する役満である。



★元来は9面張の形でしか九蓮宝燈として認められなかったが、現在一般的なルールでは待ちの形は問われず、最終的な和了形が上の牌姿になっていれば九蓮宝燈として認められている。



九蓮宝燈(チューレンポートウ)は役満の王様とも呼ばれ、一生に一度出会えるか出会えないかといわれている、役満の中でも最も難しく、天和(テンホウ)と同様に出したら死ぬ(それ程運を使ってしまう)とまで言われている役です。映画「麻雀放浪記」の登場人物がチューレンを出して大往生しました。大ヒットした映画でもあり、その影響でチューレンを和了したら死ぬという言い伝えが有名になったとか。1969年の阿佐田哲也の小説「麻雀放浪記」は昭和中期の麻雀ブームのきっかけを作った有名作品。もちろん全国で数えれば麻雀は日々膨大な数の対局が行われており、天和と同じく九蓮宝燈もそこそこの数が出現しているため、これを上がっただけで死ぬという事は無いが、都市伝説としては非常に有名な話である。

★直木賞作家で雀聖と呼ばれていた阿佐田哲也さんも、日本プロ麻雀連盟最高顧問(初代会長でミスター麻雀と呼ばれた小島武夫プロ雀士も、九蓮宝燈達成後に亡くなったことから麻雀ファンの間では、死因は「九蓮宝燈(ちゅうれんぽうとう)」ではないかとまことしやかにささやかれている。しかし、小島武夫プロは長いプロ生活の中で、ちなみに九蓮宝燈は生涯で5回上がっており、その内2回は公式戦である。公式記録に残る初めての九蓮宝燈も本人が上がっていることからしても都市伝説とは関係ない。一生に一回出るか出ないかの確率的に難しいのが九蓮宝燈である。どのプロ雀士にとっても一度は実現させたい役満でもあるが体験したことのないプロが多い。

★港区退職者会会員交流事業として親睦麻雀大会を開催して13年になるが、H30. 2. 18 第23回親睦麻雀大会で、夢の役満「九蓮宝燈」を実現させたのが我々の仲間である、中西正博さんである。みなさんもお存じ中西さんは第20回麻雀大会に初参加で優勝したように、常に大会では優勝か準優勝の素晴らしい麻雀センスを持った人である。特に昨年は第1回区部会健康麻雀大会個人戦で優勝し、団体戦では彼を中心にして4名で戦い準優勝を果たしているように、どの大会でも彼の存在は大きかった。平成最後の第25回港区職員退職者会親睦麻雀に誰しも中西さんが参加すると思っていたのに、何と悲報を聞いてしまい、参加者全員が余りの悲しさにため息をつき絶句したことは言うまでもない。「★冬北斗友の九蓮宝燈忘れまじ」と一句捧げて追悼の言葉とします。合掌

第23回港区職員退職者会麻雀大会

(H30. 2. 17=22名参加)



★職員退職者会会員交流促進事業として、平成18年2月25日第1回大会を開催して以来12年経ちましたが、一生に一度出るか出ないかの役満「九蓮宝燈」が出たのは初めてのことであり、参加者一同驚きと感動の渦でした。おめでとうございます。

振り込まれた方もまさかと思って頭の中が真っ白になったと事でしょうが、あなたがいてこそ役満「九蓮宝燈」が成立したのであり、手助けしたことの誇りを持っていただければ幸いです。

★第23回麻雀大会の優勝者は、勿論、役満「九蓮宝燈」を聴牌して、上がった中西さんです。入賞された方々を紹介します。



第2回区部会健康麻雀大会個人戦(2019.7.21)

	1回戦	2回戦	3回戦	計	平均	順位
1 中央 石井 浩	29	42	26	97	32.33333	1
34 品川G 宮森 孝夫	26	26	-5	47	15.66667	2
38 葛飾G 千嶋 明夫	25	-24	34	35	11.66667	3
40 葛飾G 財津 正勝	17	28	-12	33	11	4
36 品川G 沼田 隆	50	-8	-10	32	10.66667	5
31 江戸川 塚山 守人	-8	4	34	30	10	6
22 渋谷B 浅見 さく子	42	-12	-5	25	8.333333	7
32 江戸川 楠田 正治	-2	35	-9	24	8	8
8 港A 古谷 明夫	-11	40	-7	22	7.333333	9
2 中央 井上 裕子	-13	48	-14	21	7	10
5 港A 天野 芳雄	2	-14	32	20	6.66667	11
18 渋谷A 和泉龍ノ助	-18	39	-4	17	5.66667	12
20 渋谷A 山下 乃武	22	-41	36	17	5.66667	13
21 渋谷B 川越 寿樹	-1	-13	28	14	4.66667	14
30 江戸川 増田 昭	-14	-4	32	14	4.66667	15
23 渋谷B 行徳 厚子	-10	-8	27	9	3	16
6 港A 浜口 辰夫	-14	35	-13	8	2.66667	17
11 港B 窪島 博子	-3	-15	21	3	1	18
35 品川G 和波 宣雄	35	-14	-19	2	0.66667	19
25 練馬 石井 伸吾	24	-11	-12	1	0.333333	20
39 葛飾G 野村 進	-5	15	-9	1	0.333333	21
4 中央 豊田 正文	-17	-11	23	-5	-1.66667	22
14 太田 木曾 邦夫	-1	0	-4	-5	-1.66667	23
7 港A 岡村 昭則	-23	26	-14	-11	-3.66667	24
12 港B 関口 真喜子	-22	1	9	-12	-4	25
27 練馬 中村 悦子	2	-5	-9	-12	-4	26
37 葛飾G 桐原 幹和	-29	29	-15	-15	-5	27
26 練馬 島田 孝二	-10	-4	-3	-17	-5.66667	28
3 中央 山田 寿郎	-4	-13	-2	-19	-6.33333	29
9 港B 竹山 敏夫	-5	-6	-10	-21	-7	30
28 練馬 片山 光広	0	2	-25	-23	-7.66667	31
16 太田 永瀬 伸子	-5	-24	0	-29	-9.66667	32
29 江戸川 鈴木 哲男	-2	-17	-10	-29	-9.66667	33
15 太田 岡田千賀子	-12	-11	-8	-31	-10.3333	34
33 品川G 阿部 清知	-18	-7	-8	-33	-11	35
24 渋谷B 杉本 淑江	-6	-8	-20	-34	-11.3333	36
17 渋谷A 二郎	-12	-25	-2	-39	-13	37
10 港B 竹内 峯夫	21	-20	-42	-41	-13.6667	38
19 渋谷A 中村 良一	-22	-22	-3	-47	-15.6667	39
13 太田 安島 光男	-8	-33	-8	-49	-16.3333	40

第二回区部会健康麻雀大会団体戦 (2019. 7. 21)

	1回戦	2回戦	3回戦	計	順位	メンバーナンバー
1 中央	-5	66	33	94	1	
10 葛飾G	8	48	-2	54	2	
9 品川G	93	-3	-42	48	3	
2 港A	-46	87	-2	39	4	
8 江戸川	-26	18	47	39	5	
6 渋谷B	25	-41	30	14	6	
7 練馬	16	-18	-49	-51	7	
5 渋谷A	-30	-49	27	-52	8	
3 港B	-9	-40	-22	-71	9	
4 太田	-26	-68	-20	-114	10	
合 計	0	0	0	0		

第26回退職者会麻雀大会 (R1.9.26)

順位	1	2	3	合計
優勝 天野芳雄	48	2	55	105
2位 大橋康仁	30	-18	32	44
3位 加藤 武	6	27	-7	26
3位 竹山敏夫	-5	-3	34	26
5位 一ノ瀬光雄	52	-19	-8	25
6位 岡村昭則	-7	-6	32	19
7位 福島範房	5	25	-14	16
8位 松田嘉孝	-10	-1	26	15
9位 窪島博子	42	-12	-21	9
10位 高橋央	-22	34	-4	8
11位 石井昇	-23	28	-4	1
12位 伊藤昌子	-22	29	-10	-3
13位 西健司	38	-11	-34	-7
14位 大崎信重	-1	1	-22	-22
15位 竹内峯夫	-6	-22	0	-28
16位 内山誠一郎	-31	0	0	-31
17位 西村年弘	-9	-29	-1	-39
18位 濱口辰夫	-25	0	-21	-46
19位 並木文雄	-27	-10	-13	-50
20位 高橋紘紀	-33	-15	-20	-68
計	0	0	0	0

港区職員退職者会常任幹事
天野芳雄さんの急逝を悼む

私と天野さんの繋がり、天野さんが家を見て替える時に、我が家をリフォームした設計事務所を紹介しことがご縁です。

その後、天野さんは、定年退職を迎えられたのも、職場の方々のお陰なので退職者会で活動しようと直ぐに参加してくれました。退職者会も今や加入率も50%を切る中で役員になり率先して、いきいき交流会、総会運営、区部会・退職者会の麻雀交流会等を受け持って活動されていました。次の世代を担う、頼もしい若手のホープとして誰しも認めていたところです。

その天野さんが67歳という若さで、突然、旅立ってしまうなんて誰も思っていないことでした。唯々、悔しくて涙にくれるばかりです。

天野さんの御霊が安らかなことを祈りつつ

★オリオンや君の悔しさ忘れまじ

と一句捧げて追悼の言葉とします。合掌

令和2年1月31日
岡村昭則



令和元年9月28日第26回親睦麻雀大会 優勝 天野芳雄さん 令和2年1月27日逝去

港区職員退職者会第27回親睦麻雀大会(2020. 2. 22)

	1	2	3	合計	平均	順位
西 健司	-3	39	29	65		優勝
伊藤 昌子	30	-35	46	41		2
大橋 康仁	-1	34	-1	32		3
井上 衛	0	3	27	30		4
高橋 央	22	-11	18	29		5
濱口 辰夫	26	-20	20	26		6
竹内 峯夫	-13	33	-1	19		7
並木 文雄	-17	32	4	19		8
窪島 博子	-8	32	-7	17		9
三田 裕幸	-17	-1	32	14		10
岡村 昭則	42	-19	-12	11		11
古谷 明夫	44	-27	-7	10		12
竹山 敏夫	29	-13	-8	8		13
吉村 和夫	-33	47	-27	-13		14
小椋 正夫	0	-13	-4	-17		15
大崎 信重	1	-4	-16	-19		16
吉井 實	-13	-8	-8	-29		17
関口 真喜子	-6	-5	-19	-30		18
井上 和夫	-6	-15	-10	-31		19
石井 昇	-15	7	-25	-33		20
高橋 紘紀	-7	-12	-14	-33		21
福島 範房	-9	-21	-5	-35		22
一ノ瀬 光雄	-17	-13	-9	-39		23
内山 誠一郎	-29	-10	-3	-42		24
計	0	0	0	0		



★何時も思っていることだが、私が地元の健康麻雀倶楽部に麻雀牌を寄付したことで、15年ぶりに麻雀が復活したことにより、退職者会の麻雀大会に参加するようになった。とはいうものの、記録担当者が亡くなってしまい、代わりに記録担当者引き受けたことが始まり。大会には昔から共に麻雀をした仲間もいることもあってか、地元の健康麻雀倶楽部とは違った感覚でのんびりと麻雀を楽しむことができるのだ。ここでは現役時代と同じレート、チップや25000点の30000点返しで東南戦あることには変わらないが、女性も参加していることもあって、何故かみんながのんびり麻雀を楽しんでいる風景は地元の健康麻雀倶楽部には見られない。例えば、迷って長考してもみんな黙って受け入れている。点数など判らなくても仲間が教えてくれる。誰かが上がったら自分の牌を崩すような人はいない。参加した当初から勝者と敗者の差がどれくらいなのか見ていたが、みなさんがベテランなのでそれほど差がないことも判った。反面、チップで差が出ることも判った。

★さて、今回の親睦麻雀大会を開催するにあたって、高齢者ばかりなのでコロナウイルスの問題からどうするかという問題もあったが、皆さんが楽しみにしていることから開催することになった。残念ながら90歳の先輩と喘息の持病を持っている80歳の常連メンバーがドクターストップとなってしまった。また、今回はこれまで退職者会で麻雀担当をしていた、67歳の天野芳雄さんが亡くなったので、彼の方も引き継いでの退職者会親睦麻雀大会でもある。私は集計兼広報担当なので、ここでは参加者をお持て成しして楽しんでもらうことを主眼にしている。ゲームは参加するにあたって勝敗に拘らず、上がれなくてもよいから配牌をみて、形を作り上げることの追及に主体を置いて参加してきた。相手には振り込まないという原則をたてながら、ピンフ、タンヤオはさておき、一気通貫、三色同刻、三色同順、トイトイ、チャンター、ジュンチャン、清一色、ホンイツ、三暗刻、小三元、国士無双等に挑戦してきた。成功したものもあれば、最後は下りることが多くなるものの、機械が混ぜ合わせるので偏りもあり、自分のイメージ通りにことが運ぶこともあり、そんな時は本当にうれしくなる。昔の同僚たちなので相手が素晴らしい手で上がると、みんながおめでとうと言葉を掛けるのがいい。勝っても負けても大差がないので、ここに参加する人も殆どリピターばかりである。

★今日のゲームを振り返ると、スジ引っ掛けに2回振り込んだ。第一ゲームは配牌の良さから何となくトップを取ってしまったものの、第二ゲームは相手も総入れ替えなので、また、雲量のある人とあたり、満貫の親被りが二回もあると、25000点の30000点返しは挽回も難しくなる。第三ゲームは後悔していることが一つある。雲量のある人の先制リーチ2回ともスジ引っ掛けにあっているので3回目の先行リーチも8索以外何も出ていないので、リーチは安全牌捨て難を乗り越えた。その次にこちらが聴牌（満貫）したので、五索しか切る牌がない。引っ掛けを思って何もないので下りてしまった。明けてビックリしたのはチートイツで北単騎であった。満貫の手は勝負すべきとつくづく思った。

★今日はフルメンバーとなったので三ゲーム目を休む時間もなく集計するのにゲームが終わってから始めたので18枚の表をチェックしながら書き込んでいくのに時間がかかってしまった。ゲーム代の清算が終わり、表彰式が終わると私の役目も終わり、担当者としてはホッとして終わった。

区部会交流麻雀に港区退職者会実行委員亡き天野さんと私（岡村）でルールなどを作って例題も作成し第1回から実行してきましたが、そのUSBが破損のため、資料がありませんのでコピーを添えます。

区部会交流健康麻雀マナー十カ条

1. 「自分に厳しく人に優しく」を心がけましょう。
2. ゲームを始める前には「よろしくおねがいます」ゲームが終わったら「ありがとうございました」と挨拶しましょう。
3. 牌がセットされたら、対局相手がツモり易いように、牌山を右斜め前に出し、配牌が始まったらドラをめくる前にリンシャン牌が崩れないように下段に下ろしましょう。
4. 「ポン」「チー」「カン」「リーチ」「ツモ」「ロン」の発声は明確に行いましょう。
5. 「先ヅモ」をしたり、「牌」を強く叩きつけることは厳に慎み、捨て牌は六枚切りにしましょう。
6. ゲーム中は自分の手牌を手前に伏せてはいけません。例えリーチをかけていても。
7. 捨て牌が河に着いた時点で、その牌を捨てたと判断します。（たとえまだ手から離れていなくても）ですから一旦捨てたと判断された牌を取り替えることは出来ません。
8. 流局した場合、聴牌（テンパイ）している人だけが手牌を前に倒して皆に確認してもらうこと。ノーテンの人は必ず手前に伏せてください。
9. アガったときは、牌を見易く並べてから倒すようにしましょう。
10. 点棒の受け渡しが終わるまでは手牌と牌山を崩さないように、又、「点棒の受け渡し」は、静かに丁寧にしましょう。

区部会交流健康麻雀ルール

【全般のルール】

1. 食いタン・後ヅケは「有り」とする。
2. 時間制50分（東場～）半荘を1回戦とする。
3. 王牌は必ず14牌残すものとする。
4. 途中流局は「無し」とする。（九種九牌・四風連打・四人リーチ・ドボンなど）
5. ダブロン・三家和は「無し」とし、上家優先とする。
6. 大明カンの嶺上開花はツモあがりで3人払いとする。

【点数に関するルール】

1. 30,000点持ち、30,000点返しとする。（健康麻雀なので実数で行く＝パソコン処理もスムーズに行く）
点数表記入-8300は-83、+12300は+123

ここはパソコン担当者として譲れない
2. 七対子は租点を子1,600点(25*4=1002004008001600)、
親2,400点(25*615030060012002400)とする。
3. 30符6翻は子の場合計算上7,700点となるが、`大衆的ルール`に合せて満貫とする。
親の場合も同等の考え方とする。
4. ピンフ・ツモであがった場合、例外的に20符2翻で計算する。
5. ゲーム終了時に残った供託点棒はトップ取りとする。

【リーチに関するルール】

1. リーチ宣言は打牌までの間に明確に発声し捨て牌を横にする。リーチ棒（1,000点）は早めに供託する。
2. リーチ後のツモリ牌は暗カンすることが出来る。
3. フリテンリーチは「有り」とする。（但しツモ以外和了出来ない）
4. リーチ後の選択上がりは「有り」とする。（但しツモ以外和了できない）
5. リーチ後1巡以内の一発は「有り」とし、裏ドラにも反映する。
但し、1巡内にチー・ボン・カンが発生した時点で「一発」の権利は消滅する。
6. リーチ後ツモる機会が全く無くなっても、河底以外はリーチがかけられる。

【終局の際のルール】

1. 形式聴牌及び当たり牌が1枚も残っていない空聴牌は「有り」とする。
2. ノーテン罰符は場3,000点とする。
3. 流局時の積み棒は100点棒1本とする。連チャンは一本場にツキ300点
4. 5本場からの2翻しばりは「無し」とする。
5. 河底牌は、ボン・チー・カンが出来ない。
6. 全員ノーテンの場合、親は流れる。
7. 流し満貫は「なし」とする。

【役満に関するルール】

1. 役満の得点は4倍満とする。
2. ダブル役満は「無し」とする。数え役満はなし。
3. 次の役は役満として認めない。
イ) 十三不塔（シーサンプト一）
ロ) 大車輪（ダイシャリン）
ハ) 人和（レンホウ）
4. 国士無双の場合、他家の暗カン牌であがることは出来ない。
5. 役満のパオ（責任払い）は大三元と大四喜にのみ適用される。

※最後の確定牌をポン・明カンさせた者は、ツモあがりの場合全額払い、ロンあがりの場合放銃者と折半で

【チョンボに関するルール】

1. チョンボをした場合、親子に関わらず9,000点を場に払い、他の3人が均等に受け取る。
2. チョンボが複数の場合、それぞれが支払う。
3. チョンボが確定した場合、そのゲームはノーゲームとなる。リーチ棒は出した人に戻し、積み場は増やさず親も移動しない。
4. 次のような場合にチョンボが成立する。
 - イ) ノーテンなのにリーチをして流局となった場合。
 - ロ) あがりを宣言し手牌を公開したが正当でなかった場合。
 - ハ) あがりを宣言した者が、他家の確認を受ける前に手牌を崩してあがりの正否を不明にした場合。
- ニ) 自分もしくは他家の手牌を倒したり、積み牌を崩してゲーム続行を不可能にした場合。

【あがり放棄に関するルール】

1. 多牌・少牌をした場合。気が付いた時点で宣言する必要がある。
 2. 先ツモをした場合「あがり放棄」を宣告される場合がある。
 3. 他家の手牌や王牌を覗いた場合。
 4. ポン、チー、カンを間違えた場合は、1000点罰符とする（供託）。そのままゲームを続行する。（ただし同巡内でのロン・ポン・カン・チーはできない）ポン、チー、カンの発声後のロンは認める。
 5. 間違えてロンまたはツモと発声したが倒牌の前に取り消した場合。
- ※アがり放棄となった者はテンパイ及びリーチしていてもノーテン扱いで、ポン・チー・カンはできない。

老人健康麻雀ホームページを開設しました！

アドレスは下記の通り

[http://www.ina-ikigai.net/HP/okamura/yamanobori/oinomajyann_1_copy\(1\).htm](http://www.ina-ikigai.net/HP/okamura/yamanobori/oinomajyann_1_copy(1).htm)

老人健康麻雀

自治会健康麻雀クラブ決め事 麻雀ルール1 麻雀ルール2 ルールの決め事 2017年度大会 2018年度大会

出現率500/1達成件数

麻雀日記

私の老人健康麻雀参加の原点

2017年5月に病み上がりの妻が我が家の断捨離を行った。天袋から40数年も使っていない麻雀牌も出てきたので捨てることにした。そのまま捨てるのはもったいないので、2週間前に配布された「島町自治会だより」に「大丈夫ですか？記憶力、簡単な暗算、指先の動きなど・麻雀で、脳活トレーニング、認知症予防！！」という見出しで部員大募集の案内記事が掲載されていたことを思い出し、自治会の麻雀クラブに寄付することにした。

5月末の活動日の自治会館に麻雀バイを持っていくと、喜んで受け取ってくれた。これで無駄なく使われることになったので私もほっとした。麻雀は20代から60歳定年退職まで時々楽しんできたので、試しにと誘われた時は後期高齢者になっても昔の牌の切り方が蘇ってくる。私の麻雀は相手に振り込まないことをモットーにしている基本的な麻雀の打ち方である。終わってみれば、プラスで終わった。その時に、メンバーが足りないのも会員になってと誘われてしまう。そこで9月から参加することにして、退職後、15年ぶりに麻雀をすることになったのが、老人健康麻雀参加の原点である。それに伴って退職者会麻雀大会にも参加して記録を担当している。

●私の性格でどうせ楽しむならば、どうしたら自分らしい楽しみ方が出来るのか、参加した当初から模索して下記の3点に絞って実践している。

- 1、麻雀を基本から勉強すること
- 2、データ麻雀で行くことにして例会の記録を取ること
- 3、出現率500回に1回以上の役の達成を目指すこと

2018.9~2019.8私の島町麻雀クラブ記録

2017.9.8	試合数A	ゲーム数B	振込数C	振込率D	勝敗数E	勝率%F	得点数G	トップ数H	トップ率%I
2018.8	172回				97勝75敗	56	3858	54	31(56)
2019.8	227回	1260	92	0.073	128勝99敗	56	5149	75	33(59)
2020.8									
2021.8									
2022.8									

※D振込み率=C÷B、F勝率=E勝÷A、Iトップ率=H÷A(勝数トップ率=H÷E勝数)

★2019年9月~2020年8月

2019.9~2020.8私の島町麻雀クラブ記録

毎月参加日数	試合回数A	ゲーム数B	振込数C	振込率D	勝敗数E	勝率%F	得点数G	トップ数H	トップ率%I	勝数トップ率
9月計4日	20	114	6	0.053	15勝5敗	0.75	608	7	0.35	0.47
10月計3日	18	95	12	0.126	9勝9敗	0.50	336	6	0.33	0.67
11月計4日	19	94	12	0.128	14勝5敗	0.74	982	6	0.32	0.43
12月4計	19	94	12	0.128	6勝13敗	0.32	-730	4	0.21	0.67
1月計	23	117	9	0.077	15勝8敗	0.65	641	13	0.57	0.86
2月計										

2020.1月分島町自治会健康麻雀クラブ例会成績表(ゲーム数、振込数、得点)

トップ	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	6回戦	計	勝敗	振込率	トップ
1月10日	5=0+112	5=0+70	4=0+32	4=1+45	5=1-85		23=1+174	4勝1敗	0.043	3
1月17日	7=0+41	6=0+176	7=0+78	5=1+13	6=0+201	4=1-54	35=2+455	5勝1敗	0.057	4
1月24日	6=1+55	6=1+79	6=2-185	4=0-10	5=0+88	4=0-73	31=4-48	3勝3敗	0.098	3
1月31日	6=0+143	4=0+28	6=1+68	4=0-52	4=0-111	4=1-21	28=2+60	3勝3敗	0.071	3
1月計							117=9+641	15勝3敗	0.077	13
2月07日	6=0+88	4=0-10	6=0-86	5=0+201	5=0+190		26=0+383	3勝2敗	0	3



ホーム

登山

スキー

俳句

随筆

新聞編集

美術鑑賞

パソコン

社交ダンス

学園生活

作品集

老人健康麻雀